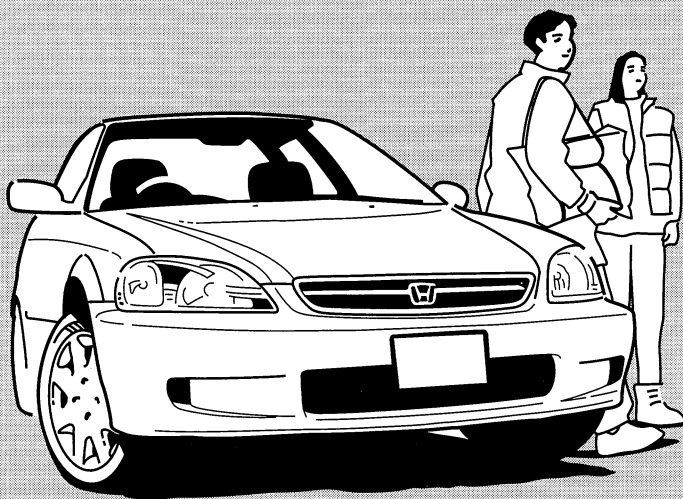


このたびはホンダ車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **CIVIC** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前にかならずお読みください。



- 運転はルールを守り、マナーよく。
- ・ シートベルトを着用しましょう。
- ・ 法定速度を守りましょう。
- ・ 子供やお年寄りをいたわりましょう。
- ・ 駐停車は、ルールに従いましょう。
- ・ 迷惑運転はやめましょう。
- ・ 自然環境保護に気をくばりましょう。

- 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。

- 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。

- お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

- ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読 6 ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル

階層ごとにデザインを変えています

ヘッダー

ページの内容を示しています

ページ

インデックス
(→4ページ)

7. 車との上手なつきあい方

積雪・寒冷時の取り扱い

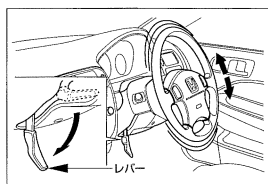


ハンドル・バックミラーの調節

デルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。

レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

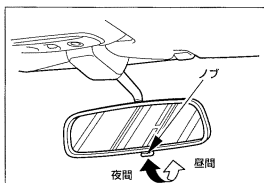
知 識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。

ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

- 格納するとき、エンジン室を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

説明文

装置／機構について

解説

操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページです。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次と対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6～9)



名称から探すとき



さくいん
(P.240～249)

目 次

◆安全ドライブのための必読 6 ポイント

1. お出かけ前に 12 2. お子さまに思いやりを 14
3. 正しい知識で燃費運転 16 4. オートマチック車の注意ポイント 18
5. 駐車や停車はしっかりと 22 6. こんなことにも注意しよう 24

11

1. 車を運転する前に

- ・各部の開閉 30 ・シートの調節 44
・ハンドル・バックミラーの調節 50 ・シートベルト 54

29



2. 車を運転するときに

- ・メーター 64 ・表示灯 66 ・警告灯 70
・スイッチの使いかた 76 ・運転のしかた 84

63



3. 安全装備

- ・SRSエアバッグシステム 106 ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 114
・リミテッドスリップコントロール(LSD) 116 ・その他の安全装備 117

105



4. ドライブを快適にする装備

- ・エアコン 120 ・オーディオ 136 ・室内装備品 160

119



5. 万一のとき

- ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 168 ・故障したとき 170 ・事故が起きたとき 172
・けん引 174 ・パンクしたとき 178 ・オーバーヒートしたとき 188
・電気系統が異常のとき 190

167



6. 車の手入れ

- ・点検・整備について 206 ・日常の手入れ 208 ・車にあった部品の使用 216

205



7. 車との上手なつきあいかた

- ・積雪・寒冷時の取り扱い 218 ・こんなときは 228

217



・サービスデータ

232

・さくいん

240

・こんなことでお困りのとき

巻末

ビジュアル目次

サンルーフスイッチ タイプ別注文装備 42

ライト／方向指示器スイッチ 78、79

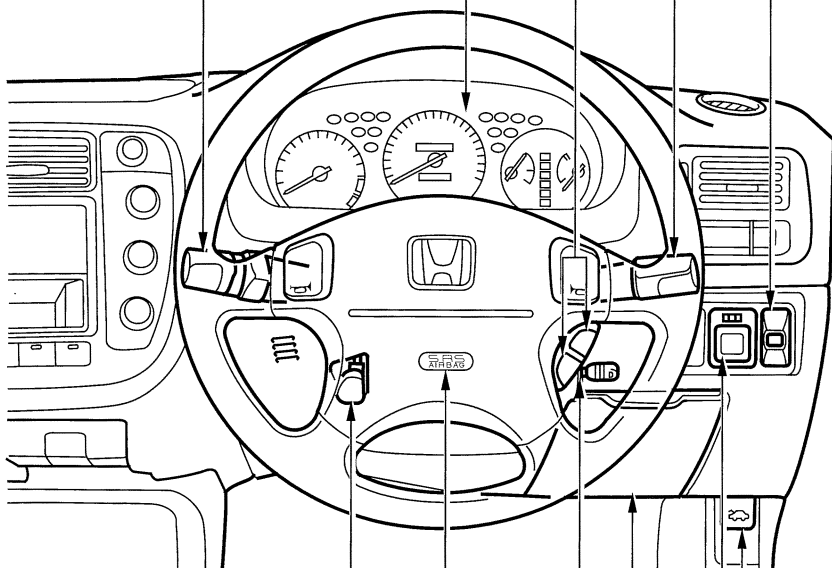
モードスイッチ タイプ別装備 92

メーター 64

表示灯 66

警告灯 70

ワイパー／ウォッシャースイッチ 80



チルトステアリングレバー 50

SRSエアバッグシステム(運転席用) 106

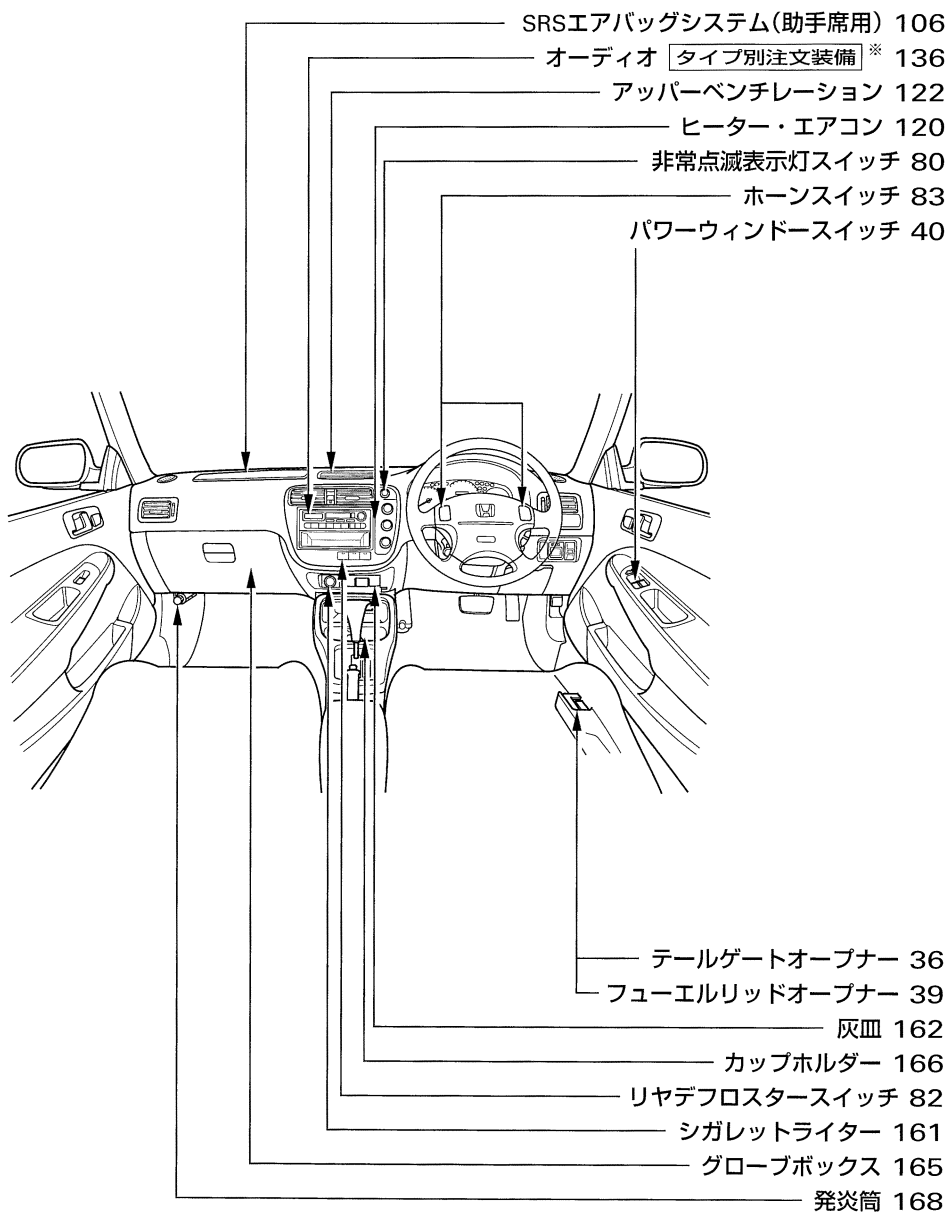
エンジンスイッチ 76

コインポケット 165

ヒューズボックス 192

ドアミラー調節スイッチ 53

ボンネット解錠ノブ 34



※ナビゲーションシステム装備車については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

ビジュアル目次

シートベルト(チャイルドシート固定機構付き) 60

室内灯 160

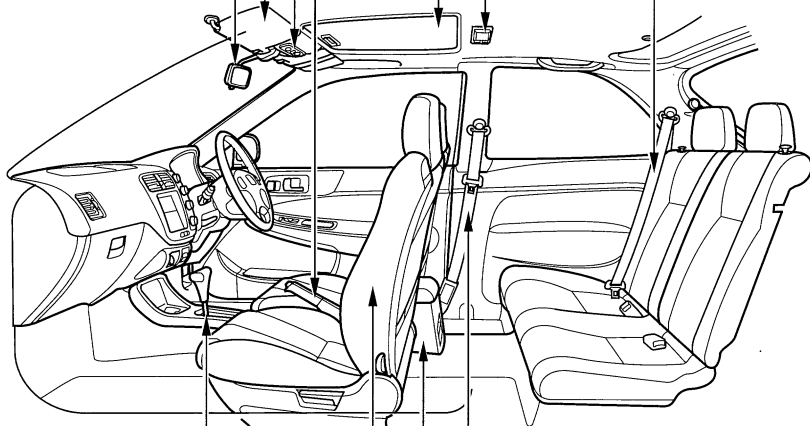
サンルーフ タイプ別注文装備 42

パーキングブレーキ 86

スポットランプ タイプ別装備 160

サンバイザー 163

ルームミラー 51



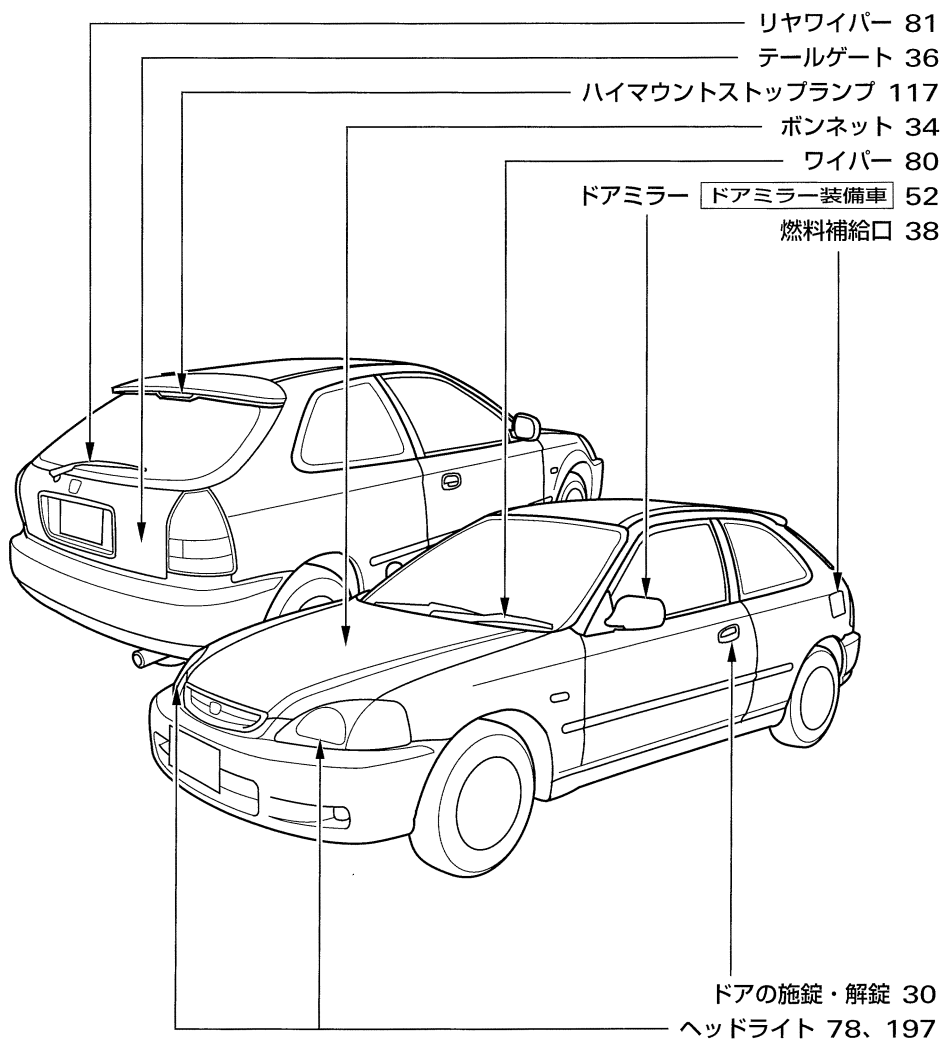
セレクトレバー オートマチック車 90、94

チェンジレバー マニュアル車 88

シート 46

コンソールボックス タイプ別装備 165

シートベルト 54



安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。



- お出かけまえに…………… 12
- お子さまに思いやりを…………… 14
- 正しい知識で最適運転…………… 16
- オートマチック車の注意ポイント… 18
- 駐車や停車はしっかりと…………… 22
- こんなことにも注意をしよう…………… 24

安全ドライブのための必読6ポイント

1 お出かけまえに…

点検をわすれずに。

＜メンテナンスノート参照＞

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、ホンダの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気付いたら、ホンダプリモ店で点検を受けてください。（音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時…）
- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

＜54ページ参照＞

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



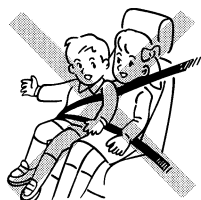
- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



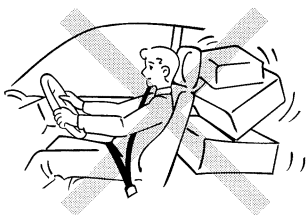
運転のさまたげになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。
ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

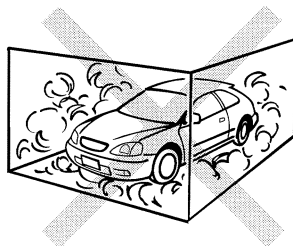
後方視界をさまたげたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。

車内や屋内などに排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気付いたらホンダプリモ店で点検を受けてください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

安全ドライブのための必読6ポイント

2 お子さまに思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

- 助手席にのせるのは避けましょう。
 - ・ 不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
 - ・ インstrumentパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。

お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



- お子さまの首やあごにシートベルトがあたる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。

シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。

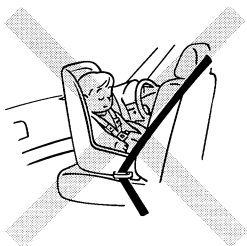
ご購入、ご使用に際してはホンダプリモ店にご相談ください。

《選択の目安》

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
ベビーシート	～10	～75	～12か月
チャイルドシート	7～16	65～100	4か月～4才
ジュニアシート	15～32	100～135	4才～10才

- 助手席にはベビーシートを取り付け
ないでください。また、チャイルド
シートを後ろ向きに取り付けないで
ください。

- ・エアバッグが膨らむ際、ベビーシ
ートや、チャイルドシートの背面
に強い衝撃を受け危険です。
- ・やむをえずチャイルドシートを前
向きに取り付ける場合は、エアバ
ッグから遠ざけるため、シートを
一番後ろに下げてください。

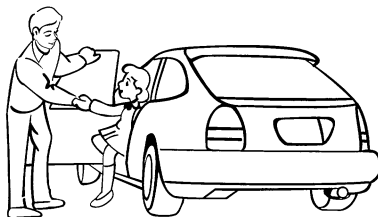


ドア、ウィンドー、サンルーフ、
シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、
気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチ
は、“OFF”にしておきましょう。
＜40ページ参照＞
- 走行中、一時停止のときなど、窓や
サンルーフから手や頭、物などを出
さないよう、注意してください。
思わぬ障害物で事故のおそれがあり
ます。

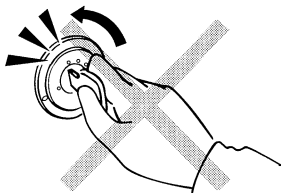
車から離れるときは、お子さま
も一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでく
ださい。
- ・炎天下の車内は、高温になり危険
です。
- ・お子さまのいたずらにより車の発
進、火災などの思わぬ事故につな
がるおそれがあります。



正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。

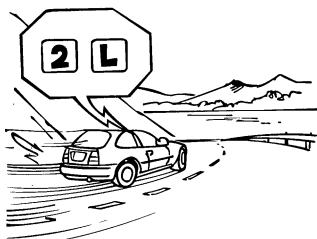


長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。

オートマチック車は④または⑤を使ってください。ホンダマルチマチック車は、Sモードにするか⑥を使ってください。

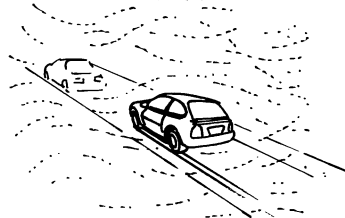
SiRタイプは⑦を使うとさらに強いブレーキ力が得られます。



* エンジンブレーキ：走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよくききます。

霧が出たときは。

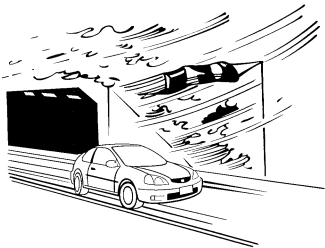
- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→228ページ



水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。
＜70ページ参照＞

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<97ページ参照>

オートマチックについて
CIVICのオートマチックには、タイプにより下記の種類があります。

タイプ	種 類
Ri、VTi	ホンダマルチマチック
EL	6 ポジション 4 速オートマチック
SiR	7 ポジション 4 速オートマチック

ホンダマルチマチックは、2つの可変ブリーに金属ベルトを組み合わせ、低速から高速まで無段階に変速するオートマチックトランスミッションです。

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。
これをクリープ現象といいます。
- ホンダマルチマチック車は、燃費向上や停車時の振動およびブレーキ踏力の低減のため、ブレーキペダルを踏んでいるときのクリープ力を弱く設定しています。また、後退時のクリープ力も弱く設定していますのでアクセルペダル操作は慎重に行ってください。

キックダウンとは

-  または  (ホンダマルチマチック車は または ) で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に変速比が変わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。
これをキックダウンといいます。

1 ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンをはけるまえに。

- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。



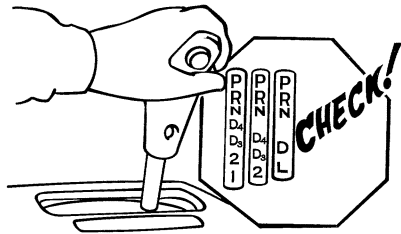
3 エンジンをはけるととき。

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。



4 スタートするとき。

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。



- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキをもどしてください。

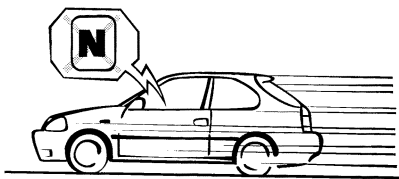


安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →16ページ

6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
万一、セレクトレバーがR以外入っているとき、思わぬ急発進のもとになります。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがR以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- 後退したあとは、すぐRからNにもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、Rに入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、Rに入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、Rからのセレクトレバー操作はできません。

- ・エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。

- ・セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- R以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

R以外では、キーが“1”から“0”に回りません。

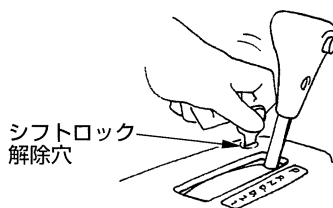
- Rに入るとチャイムが鳴ります。

- ・セレクトレバーがRのときにチャイムが鳴り、Rに入っていることを運転者に知らせます。

- ・車外の人には音が聞こえませんが、ご注意ください。

- 万一、Rからセレクトレバーが操作できないときは：

- ・エンジンスイッチからキーを抜き、
- ・キーをシフトロック解除穴に差し込み、
- ・キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。

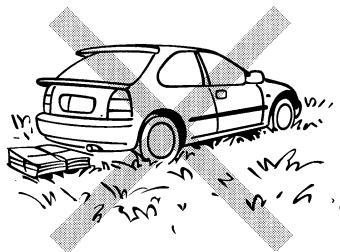


5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



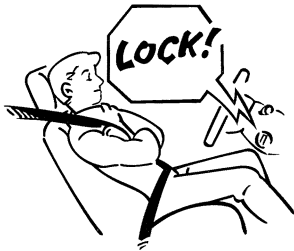
仮眠するときはエンジンを止める。

●エンジンを必ず止めてください。

無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用した移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

	マニュアル車	オートマチック車
上り坂	1	P
下り坂	R	
平地		

さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも 注意をしよう

タバコの吸いがらは火を消して。

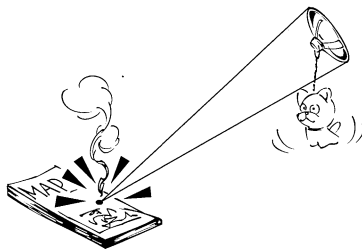
- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

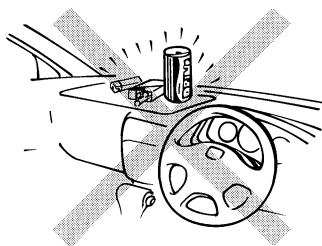
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。

視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



ハンドルをいっぱいに回した状態をつづけない。

- ハンドルをいっぱいに回した状態から、さらに回そうとする力をかけつづけないでください。

パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- ホンダ純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。

・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。

・ホンダが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。

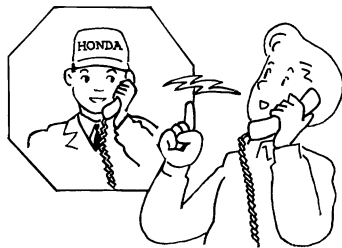
- ホイールは、CIVIC専用品をご使用ください。

専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

ホンダプリモ店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダプリモ店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



安全ドライブのための必読6ポイント

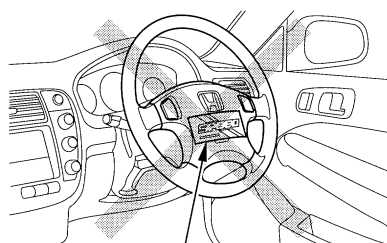
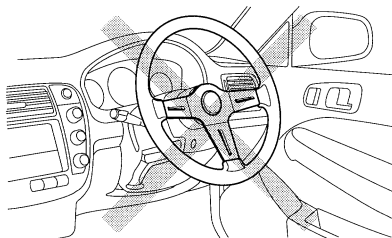
- 運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

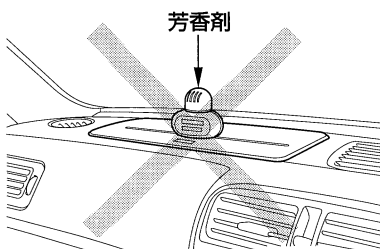
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物がとぶことがあります危険です。
- ・次の場合は、必ず、ホンダプリモ店にご相談ください。

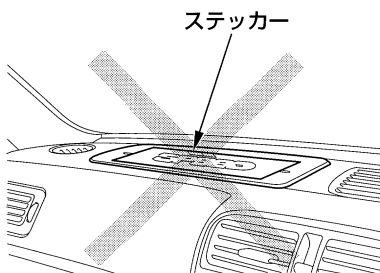
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



芳香剤



ステッカー

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

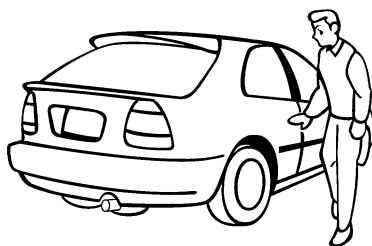
車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。



- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。



車を運転する前に

●各部の開閉

キー	30
ドアの施錠・解錠	30
ボンネット	34
テールゲート	36
燃料補給口	38
パワーウィンドー	40
サンルーフ	42

●シートの調節

正しい運転姿勢	44
フロントシート	46
リヤシート	49

●ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング	50
ルームミラー	51
ドアミラー	52

●シートベルト

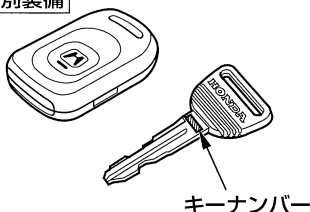
シートベルト	54
着用のしかた	58
チャイルドシート固定機構	60

各部の開閉

キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアの施錠・解錠、テールゲートの解錠に使えます。

キーレスエントリー用発信器
タイプ別装備



キーレスエントリー用発信器はドアの施錠・解錠がキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →32ページ

知 識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダプリモ店へご連絡いただければ、購入することができます。

キーレスエントリー用発信器を紛失したときは、ホンダプリモ店へご連絡ください。

ドアの施錠・解錠

⚠ 注意

- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

知 識

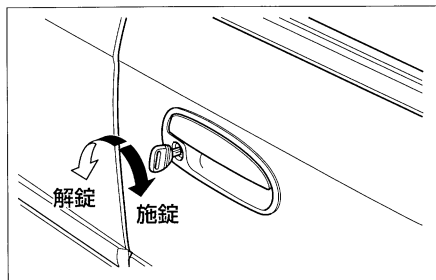
- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。

パワードアロック

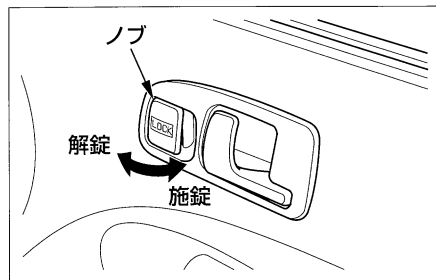
運転席ドアを施錠(解錠)すると、助手席ドアも同時に施錠(解錠)します。

**●車外から行う場合**

キーを確実に差し込んで回します。

**●車内から行う場合**

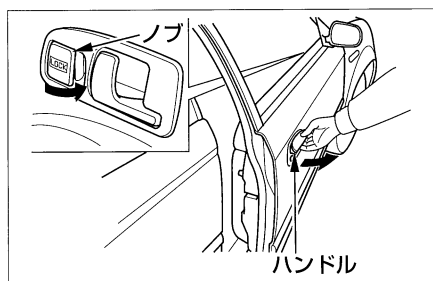
ノブを矢印の方向に動かします。

**●キーを使わないで施錠する場合****知 識**

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ①ドアのハンドルを引いたままノブを施錠の方向に動かします。



- ②ドアを閉めます。

助手席ドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

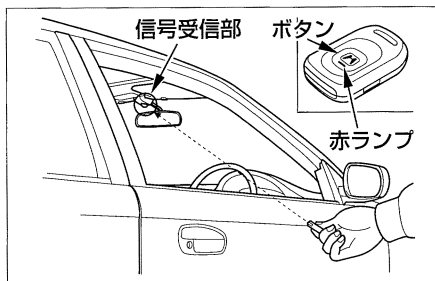
●キーレスエントリー **タイプ別装備**

ドアの施錠・解錠がキーを使わずにできます。



発信器をルームミラー上部にある信号受信部に向け、ボタンを押します。

ボタンを押すとすべてのドアが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。



🎓 知 識

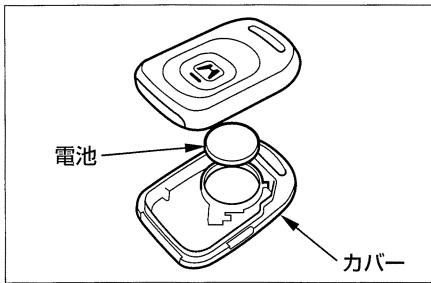
- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
- 確実に作動させるため、発信器はドアガラスより50cm以内の距離で使ってください。
- 蛍光灯の下などでは、正常に作動しないことがあります。異常ではありません。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、キーレスエントリーは作動しません。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。



発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。ボタンを押したときに赤ランプが点灯しない場合は電池切れです。電池を交換してください。

使用電池……………ボタン電池CR2032

カバーに傷を付けないようにコイン等に布を巻いてカバーを外し、電池を交換します。



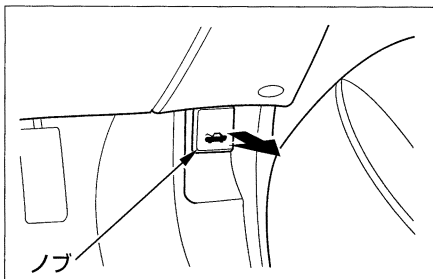
知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池はホンダ販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

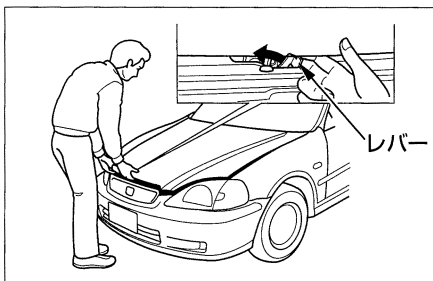
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



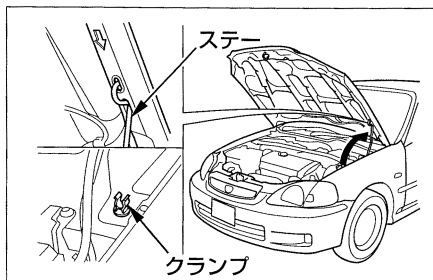
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを左へ押しながら開けます。



🎓 知識

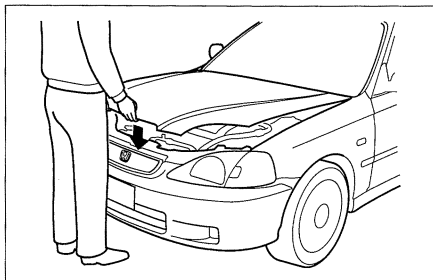
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

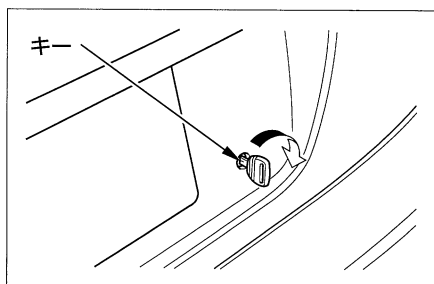
- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていな
いままですり進むと開くことが
あります。走行前に必ず確認して
ください。

テールゲート

●解錠

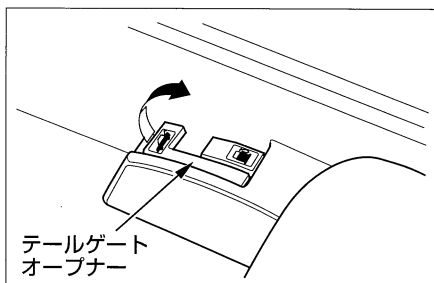
車外から行う場合

キーを確実に差し込んで右に回します。



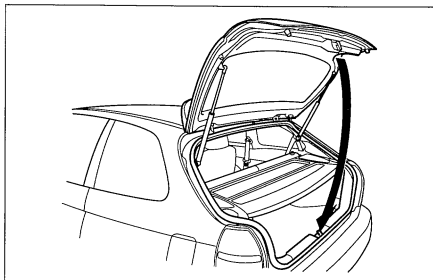
車内から行う場合

運転席右下にあるテールゲートオープナーを引き上げます。



●施錠

テールゲートを閉めれば施錠できます。





⚠ 注意

- テールゲートを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。
やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをすることがあります。

🎓 知識

- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

使用燃料：

SiR	無鉛プレミアム ガソリン (無鉛ハイオク)
VTi Ri EL	無鉛ガソリン

タンク容量：45 ℓ

警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・ エンジンは必ず止めてください。
 - ・ タバコなどの火気を近づけないでください。

アドバイス

- 有鉛ガソリンを使うと、触媒装置などを損ないます。また、粗悪ガソリンや不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

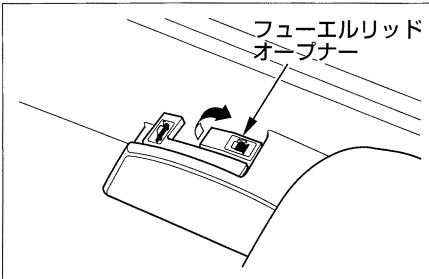
知識

- **SiR**
無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合には、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。

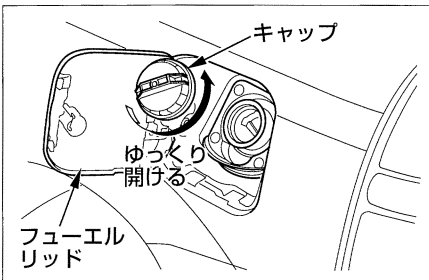


●開けかた

- ①運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げてリッドを開けます。



- ②キャップをゆっくり回して開けます。



⚠注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。



開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席ウィンドーも操作できます。

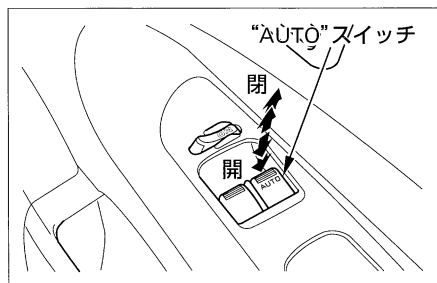
●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●助手席ウィンドーの開閉

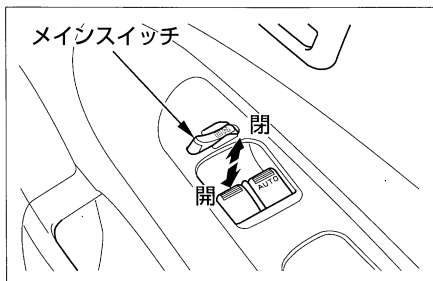
メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

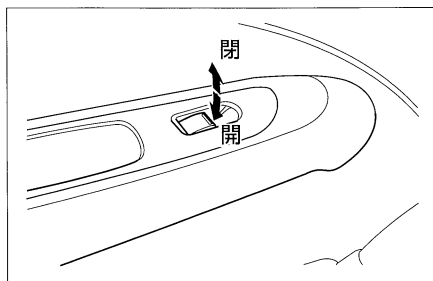
開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。

・運転席ドアスイッチ



・助手席ドアスイッチ



助手席ウィンドーを動かなくしたいとき (メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、助手席ウィンドーは作動しません。



⚠ 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知 識

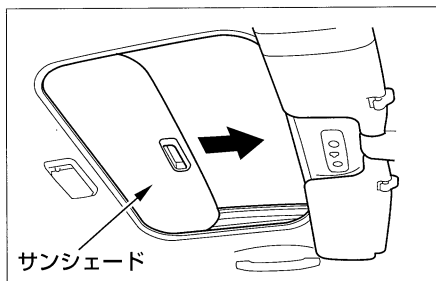
- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

サンルーフ

タイプ別注文装備

●サンシェード(遮光板)

サンシェードは手動で開閉します。
サンルーフを開ける場合は同時に作動します。サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全開できません。



🎓 知識

- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出ることがあります。

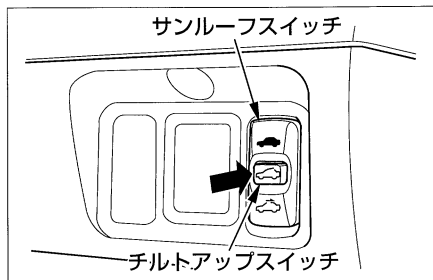
●開閉

エンジンスイッチが“II”のときサンルーフの開閉ができます。



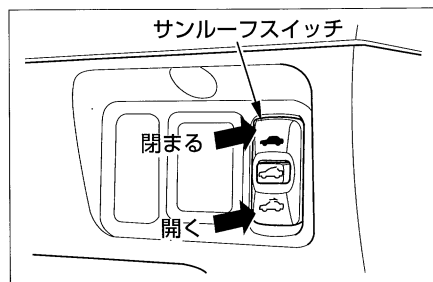
チルトアップ操作

チルトアップスイッチを押すと、サンルーフ後部が上がります(チルトアップ状態)。サンルーフスイッチの上部を押すと閉まります。



開閉操作

サンルーフスイッチを押している間、サンルーフが作動します。





⚠ 警告

- サンルーフを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
サンルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。
思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- サンルーフが全開、全閉またはチルトアップした後は作動スイッチを押し続けしないでください。故障の原因となります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させしないでください。
- サンルーフが作動しないとき

→203ページ

🏠 知 識

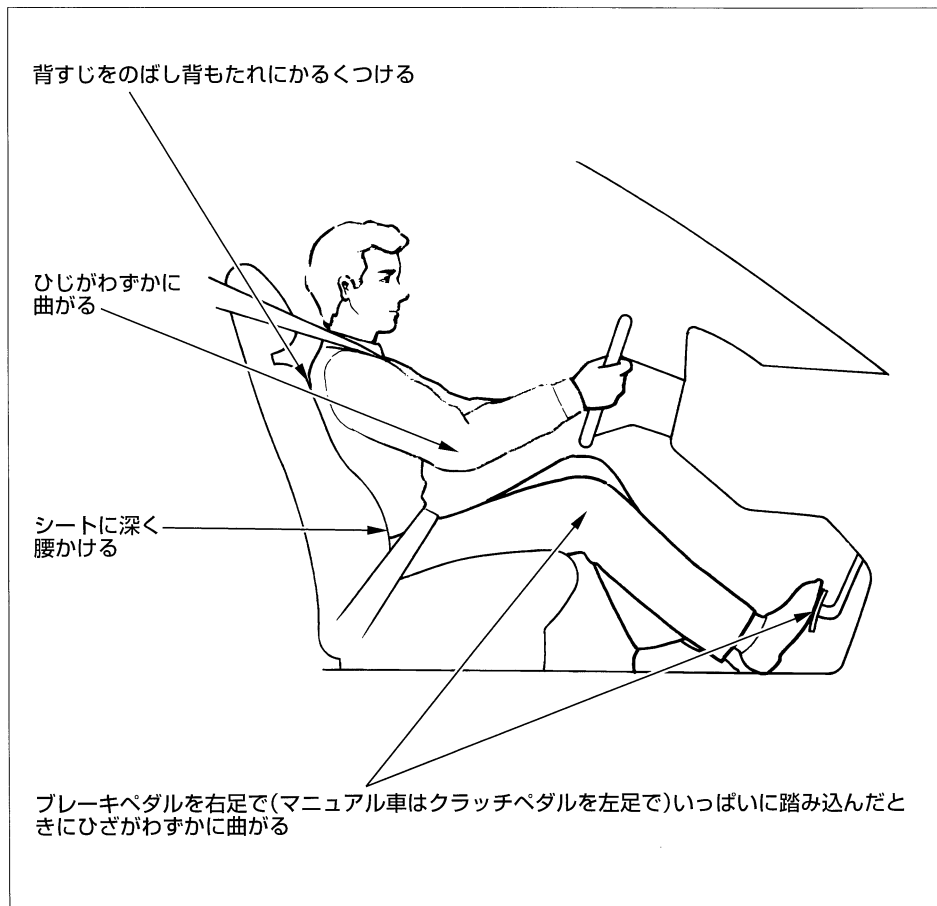
- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込み、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

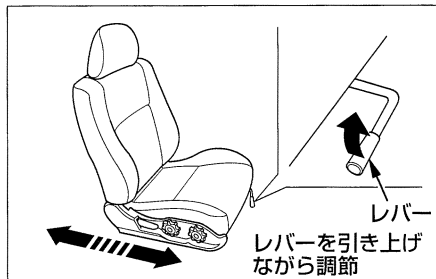
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- エアバッグに必要以上に近づくと、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠ 注意

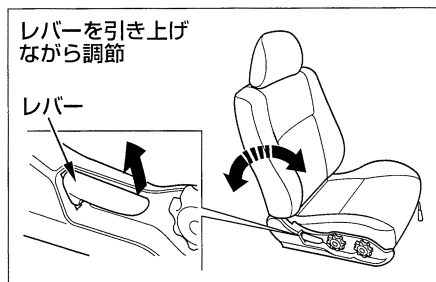
- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシート

●前後位置の調節



●背もたれの調節

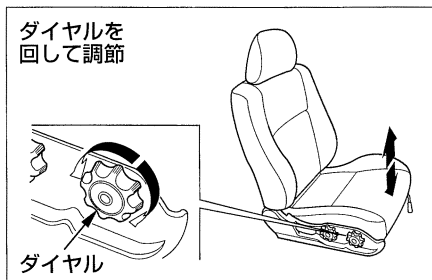


●高さの調節(運転席のみ)

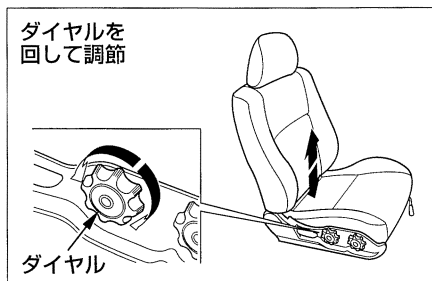
タイプ別装備

前側と後側それぞれ独立して行えます。

前側



後側





●ヘッドレストの調節

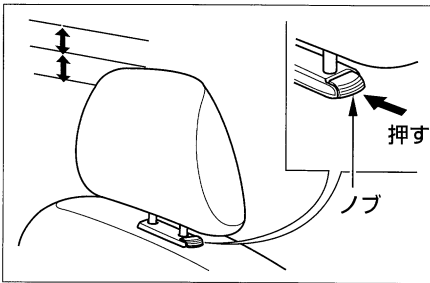
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときには、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときにはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。

衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

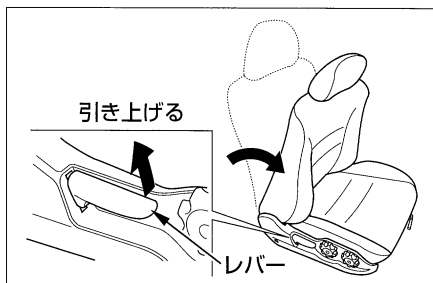
走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●後席への乗り降り

乗り降りの際はシートベルトに足を引っかけないようにしてください。

運転席

レバーを引き上げると、背もたれが前へ倒れます。

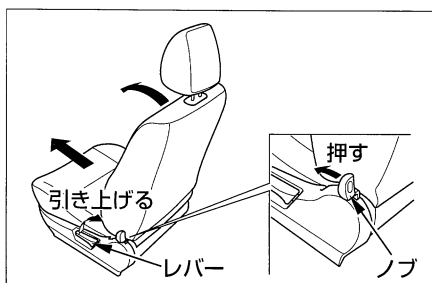


助手席(ウォークイン機構)

背もたれを前に倒すと同時に、助手席全体が前へ移動して乗り降りがしやすくなります。



レバーを引き上げるか、ノブを前へ押します。



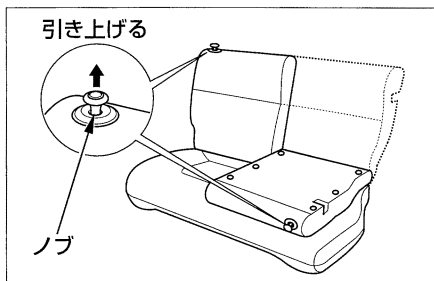


リヤシート

●背もたれの倒しかた

ノブを引き上げ、背もたれを前に倒します。

片側ずつ独立して行えます。



●起こしかた

後ろへ押しつけて固定します。

⚠ 注意

- 倒した背もたれの上や荷室には人を乗せて走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

🎓 知識

- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれではさみ込まないようにしましょう。はさまれると正しく着用できません。
- 背もたれを起こしたときは、背もたれを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

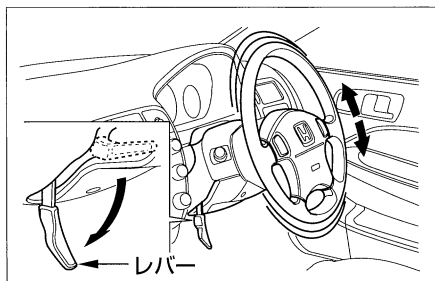
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



⚠ 注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。



ルームミラー

知 識

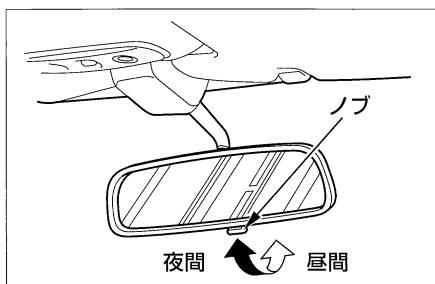
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

ドアミラー

ドアミラー装備車

知識

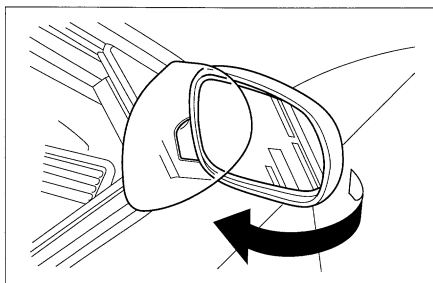
- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

●格納のしかた

ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。

手動格納式

タイプ別装備





電動格納式

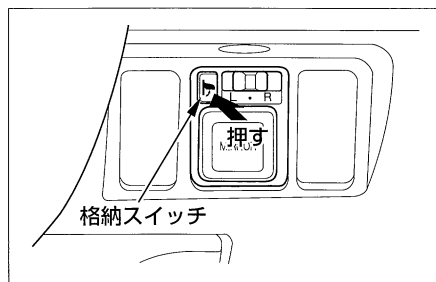
タイプ別装備

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。



格納スイッチを押すごとに“ON” ↔ “OFF”が切り換わります。

	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		



エンジンスイッチが“0”または“1”のときは手で操作ができます。

知識

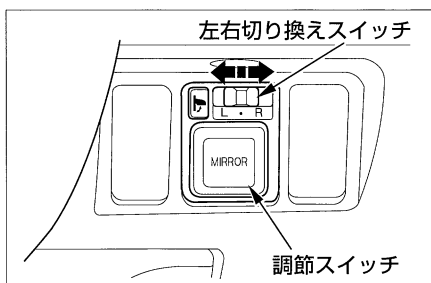
- 次の場合は手で操作しても、ミラーは自動的に格納スイッチの状態に戻ります。
 - ・ エンジンスイッチが“II”のとき
 - ・ 手で操作したあとにエンジンスイッチを“II”にしたとき

●角度調節のしかた

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。



- ① 左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ② 調節スイッチで角度を調節します。



直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

特に前席は、法律でも義務づけられています。





⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。
また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。

⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。
ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。
ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。
ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中の女性や疾患のあるかたのベルトの着用は、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師にご相談ください。

●三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

チャイルドシート固定機構

(後席外側 2 座席)

→60ページ

●二点式シートベルト

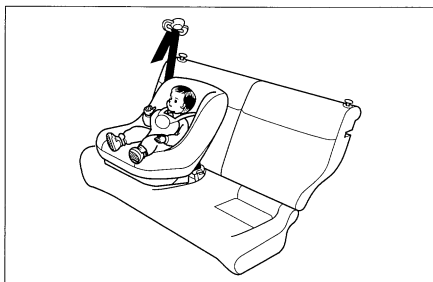
体にあわせてベルトの長さを調節します。

●お子さまを乗せるときは

- ・お子さまは、後席に乘坐シートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。

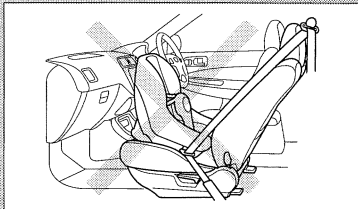




⚠ 警告

- 助手席にはベビーシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず前向きに取り付ける場合は、エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



🎓 知識

- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。ご購入、ご使用に際してはホンダプリモ店にご相談ください。

《選択の目安》

	体重(kg)	身長(cm)	参考年令
ベビーシート	～10	～75	～12か月
チャイルドシート	7～16	65～100	4か月～4才
ジュニアシート	15～32	100～135	4才～10才

● シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。
- ・ また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。
- ・ シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

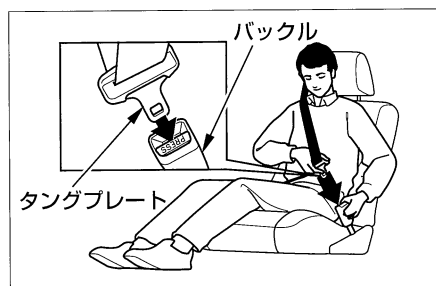
①正しい運転姿勢でシートにすわります。

(→44ページ)

②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



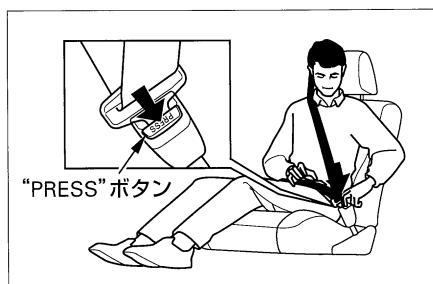
④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。

⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように引き、たるみがないように身体に密着させます。



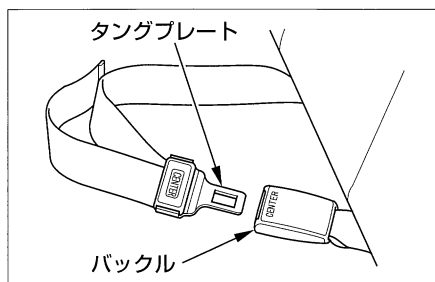
⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。

ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。

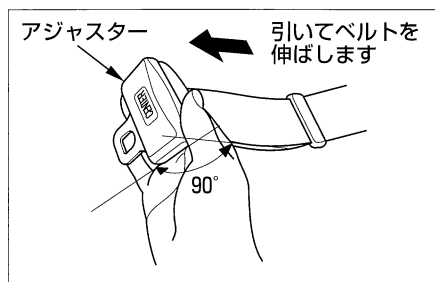


**●二点式シートベルト** **タイプ別装備**

タングプレートを差し込む相手を間違えないようにしてください。タングプレートとバックルに“CENTER”(センター)の表示があります。



- ①アジャスターを図のようにし、ベルトを引いて必要な長さより少し長めにします。



- ②ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③腰骨にかかるようにベルトを図のように引き、腰部に密着させます。



- ④外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。

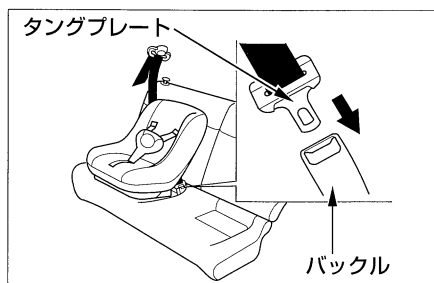
外したベルトはタングプレートとバックルを結合しておきます。

チャイルドシート固定機構 (後席外側 2 座席)

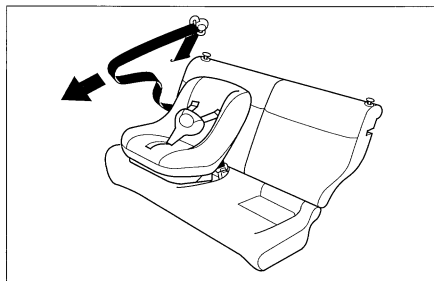
後席外側の三点式シートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かないようにできるため、チャイルドシートなどを固定するのに便利です。

後席にチャイルドシートなどを取り付けるとき

- ①チャイルドシートなどをシートメーカーの取扱説明書にしたがって取り付けます。(ベルトにねじれがないことを確認します。)
- ②タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。





- ④ベルトを少し巻き取らせます。“カチカチ”と音がしますが、これはチャイルドシート固定機構の作動音です。このとき、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出してください。
- ⑤チャイルドシートなどに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

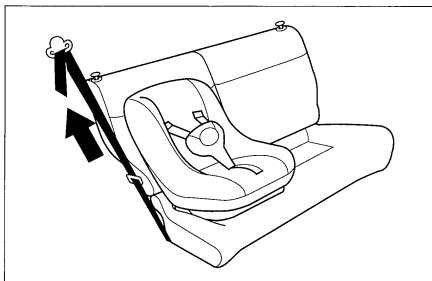


知識

- チャイルドシートなどを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

解除のしかた

ベルトを外し、いっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



知識

- シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

2

車を運転するときに

●メーター 64

●表示灯 66

●警告灯 70

警告灯の電球切れの点検 75

●スイッチの使いかた

エンジンスイッチ 76

ライトスイッチ 78

方向指示器(ウィンカー)

スイッチ 79

非常点滅表示灯(ハザード)

スイッチ 80

ワイパー/ウォッシャー

スイッチ 80

リヤデフロスタースイッチ 82

ホーンスイッチ 83

●運転のしかた

エンジンのかけかた 84

パーキングブレーキ 86

チェンジレバーの操作 88

セレクトレバーの操作 90・94

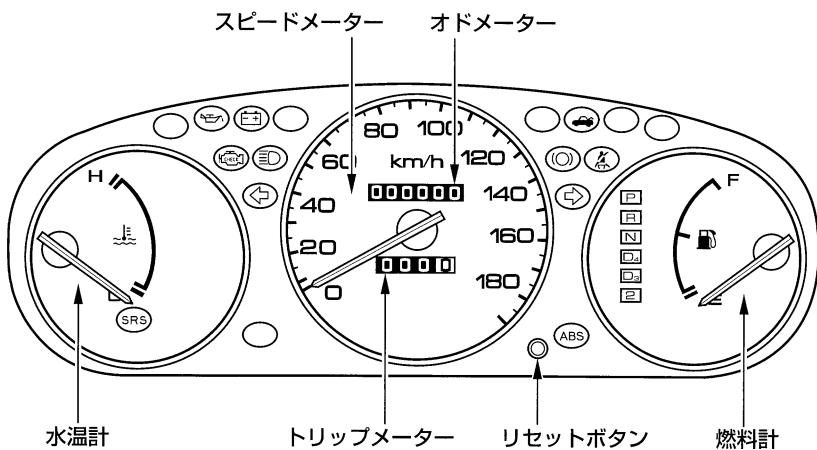
オートマチック車の運転の

しかた 97

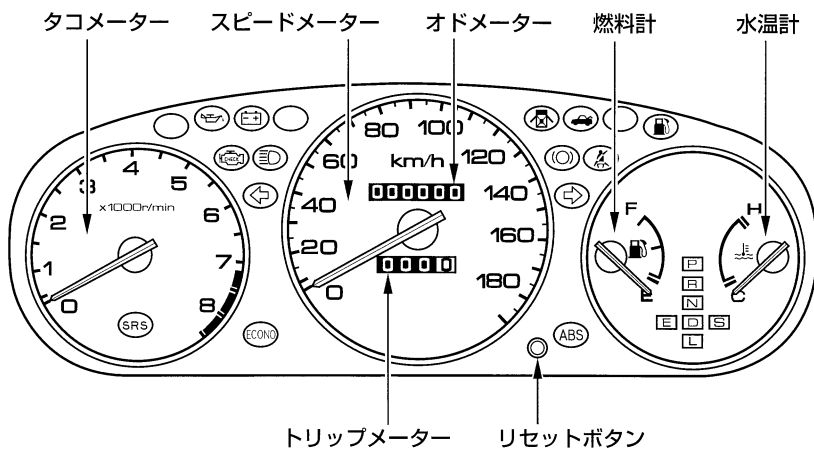
メーター

イラストは代表例を掲載しています。

タコメーター非装備車



タコメーター装備車





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

Ri、VTi、SiR

1分間あたりのエンジン回転数を示します。



アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

タイプ		限界回転数 (rpm)
Ri		6,800
VTi		7,200
SiR	AT	7,700
	MT	8,200

AT：オートマチック車

MT：マニュアル車

- オートマチック車：Ri

停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

区間距離(km)を知りたいときは、リセットボタンを押して“0”に戻して使います。

右端の数字は100mの単位です。

燃料計

エンジンスイッチの位置に関係なく常に燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →38ページ



知識

- 燃料補給後、エンジンスイッチを“II”にしてから正しい量を示すまで、しばらく時間がかかります。

水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は“H”の目盛より下側をさすのが正常です。



アドバイス

- 針が“H”の目盛に入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

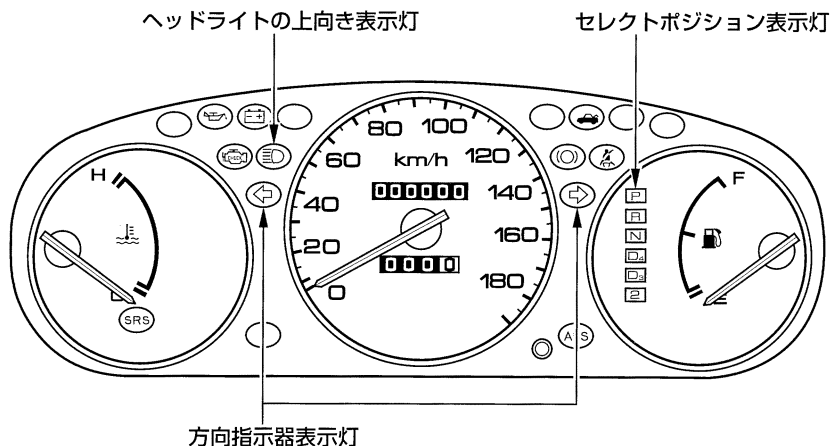
オーバーヒートしたとき

→188ページ

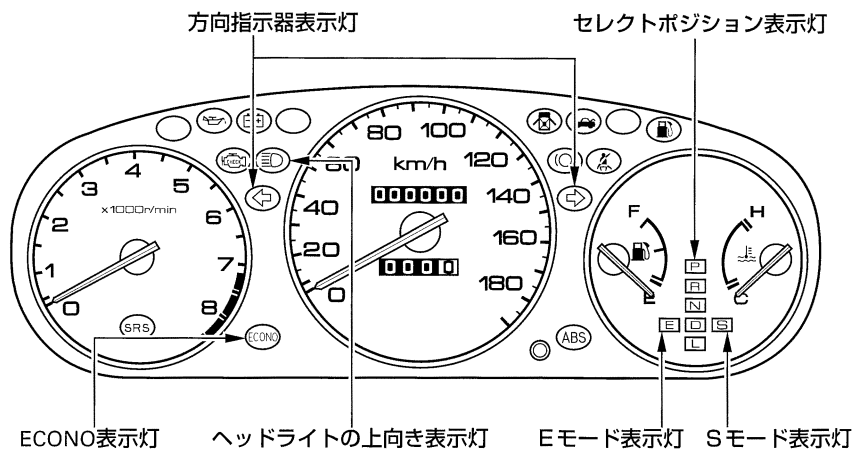
表示灯

イラストは代表例を掲載しています。

タコメーター非装備車

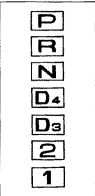
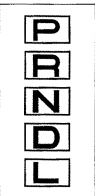


タコメーター装備車





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ			
	EL	Ri	VTi	SiR
 方向指示器表示灯	○	○	○	○
 ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯	○	○	○	○
 (SiR)  (EL) セレクトポジション 表示灯 ※  (Ri) (VTi)				
 Sモード表示灯 ※		○	○	
 Eモード表示灯 ※		○	○	
 ECONO(エコノ)表示灯			○	

○：標準装備

※：オートマチック車



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換 →195ページ

電球(バルブ)のワット数

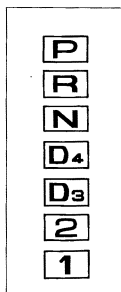
→234ページ



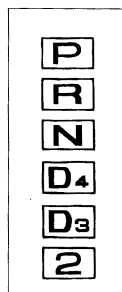
ヘッドライトの上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。

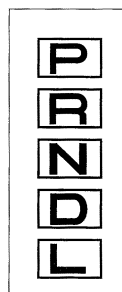
(SiR)



(EL)



(Ri, VTi)



セレクトポジション表示灯

オートマチック車

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

Ri、VTi、SiR

トランスミッションが異常のときには、
D₄(Ri、VTiタイプはD)が点滅します。

トランスミッション警告灯 →74ページ

**Sモード表示灯****オートマチック車：Ri、VTi**

Sモードスイッチを押したときに点灯します。

エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

モードスイッチ →92ページ

**Eモード表示灯****オートマチック車：Ri、VTi**

D/Eモードスイッチを押したときに点灯します。

エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

モードスイッチ →92ページ

**ECONO(エコノ)表示灯****VTi**

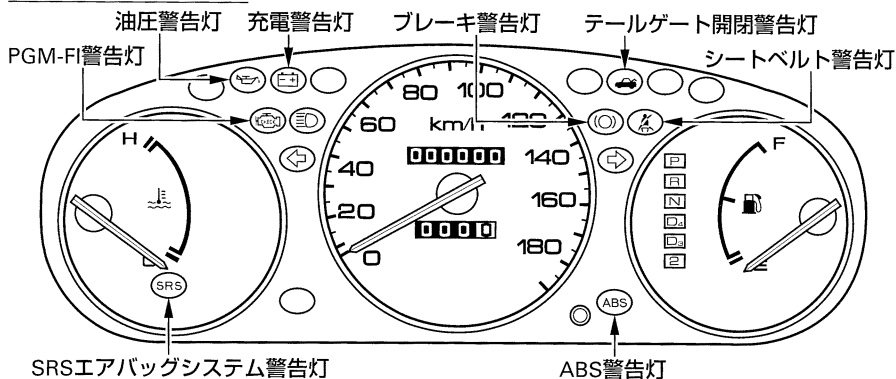
エンジンの燃費の状態が良いときに点灯します。

エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

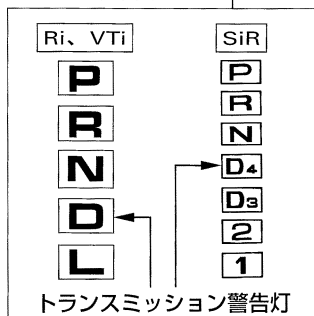
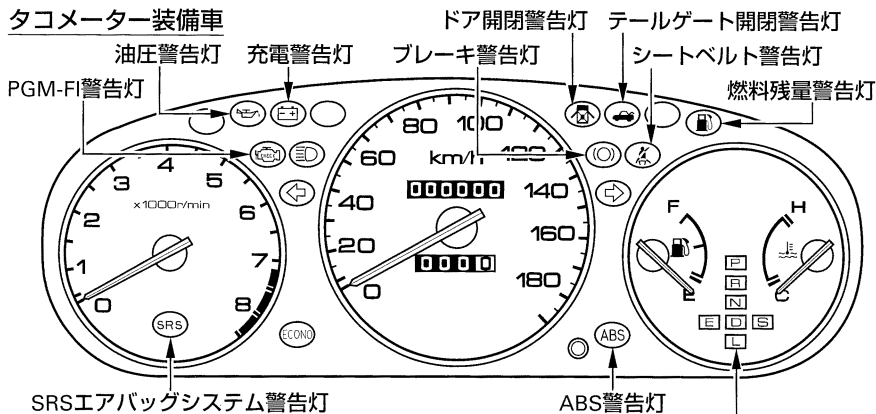
警告灯

イラストは代表例を掲載しています。

タコメーター非装備車



タコメーター装備車





警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ			
	EL	Ri	VTi	SiR
 油圧警告灯	○	○	○	○
 ブレーキ警告灯	○	○	○	○
 充電警告灯	○	○	○	○
 PGM-FI警告灯	○	○	○	○
 (SiR) トランスミッション 警告灯 ※		○	○	○
 (Ri) (セレクトポジション (VTi) 表示灯兼用)				
 シートベルト警告灯	○	○	○	○
 燃料残量警告灯			○	○
 ドア開閉警告灯				○
 テールゲート開閉警告灯	○	○	○	○
 SRSエアバッグシステム 警告灯	○	○	○	○
 アンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯	○	○	○	○

○：標準装備

※：オートマチック車



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



点灯したときは

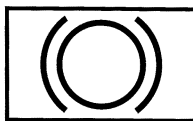
エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダプリモ店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキレバーが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。

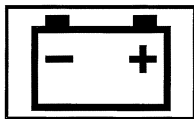


点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダプリモ店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダプリモ店で点検を受けてください。



充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。

(Ri、VTi)



(SiR)



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

オートマチック車：Ri、VTi、SiR

トランスミッションが異常のときに点滅します。



点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。

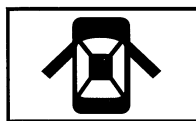


燃料残量警告灯

VTi、SiR

燃料タンク内のガソリン残量が6.5ℓ前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →38ページ



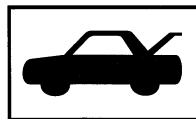
ドア開閉警告灯

SiR

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドアを完全に閉めてください。



テールゲート開閉警告灯

テールゲートが完全に閉まっていないときに点灯します。



テールゲートを完全に閉めてください。

**SRSエアバッグシステム警告灯**

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

→113ページ

**アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯**

ABSが異常のときに点灯します。

→115ページ

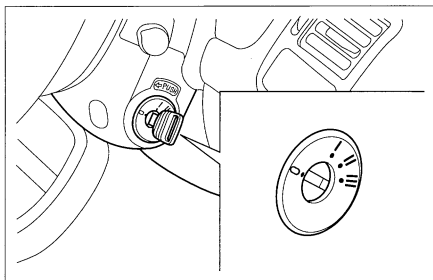
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、ホンダプリモ店へご連絡ください。

- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯
(パーキングブレーキレバーを完全に戻すと消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- トランスミッション警告灯
(数秒後消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約 6 秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯
(数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリーを使用するときの位置です。

II

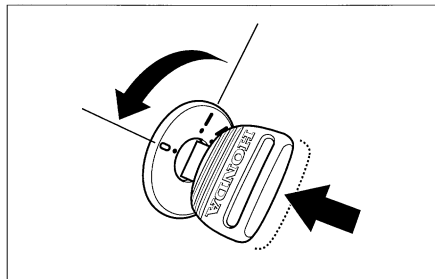
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

キーを抜くとき

- ・オートマチック車は、セレクトレバーを回に入れます。
- ・“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



知 識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。

● オートマチック車

セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

“0”から“I”にキーが回らないとき

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



⚠ 警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。
マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

🎓 知識

- エンジンを止めた状態で“II”のまま、長時間放置しないでください。バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

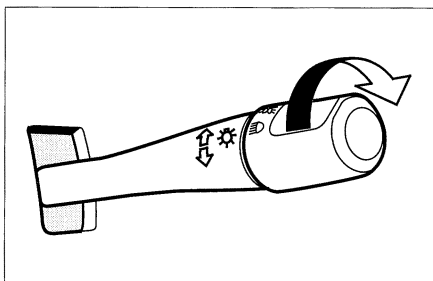
●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“I”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	点灯	消灯
ヘッドライト	—	点灯
計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

🎓 知 識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。



●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

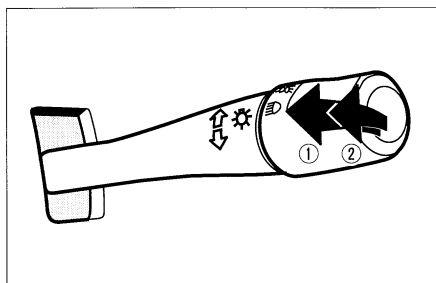
レバーを①の位置まで引くと上向き下向きの切り換えができます。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)

表示灯

→68ページ



🎓 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

レバーを軽く②の位置まで引いている間、上向きが点灯します。

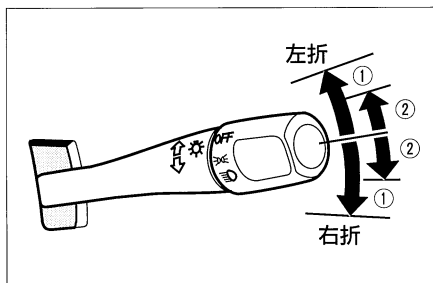
方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

ふだんは①の位置で使います。

この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。

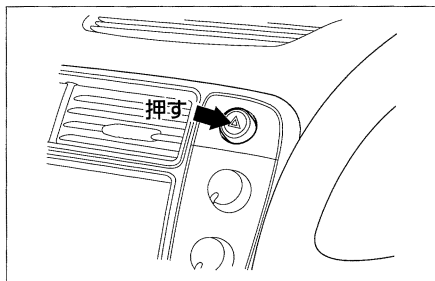
車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するとき使います。



知 識

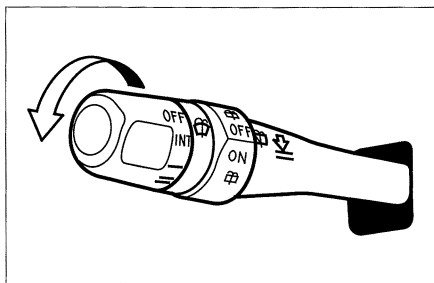
- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ

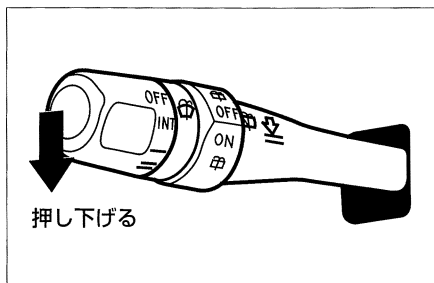


OFF …………… 停止

INT(間欠) …………… 雨量の少ないとき

—(低速) …………… 普通雨量のとき

= (高速) …………… 雨量の多いとき



レバーを押し下げている間、高速で作動します。

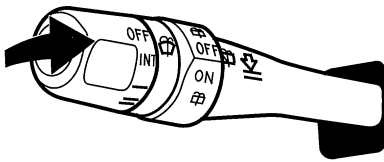
霧や小雨のときなどに使うと便利です。



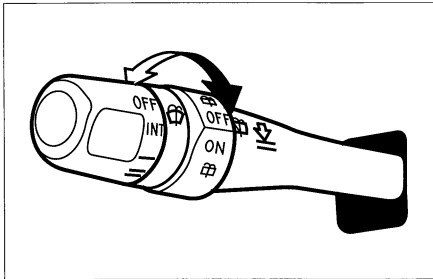
ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。

手前に引く



●リヤガラス



- OFF 停止
 ON ワイパーが作動します。
 スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知 識

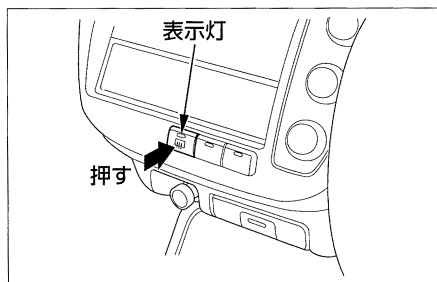
- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないままで動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。
デフロスター →128、133ページ

リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。



エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。



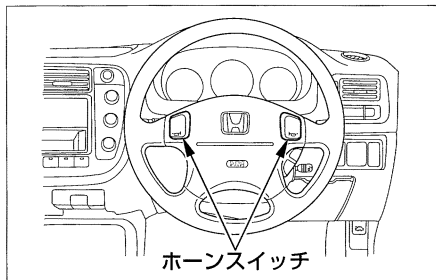
知 識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。



ホーンスイッチ

ハンドルにあるスイッチを押すとホーンが鳴ります。



運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

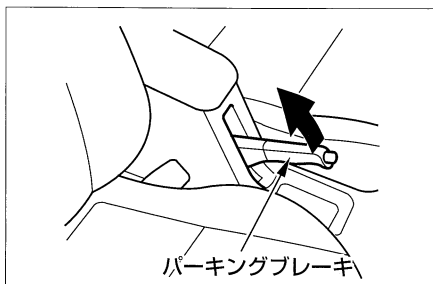
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- **マニュアル車**
窓越しにエンジンをかけないでください。
チェンジレバーがN(ニュートラル)以外に入っていると車が急に動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダプリモ店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

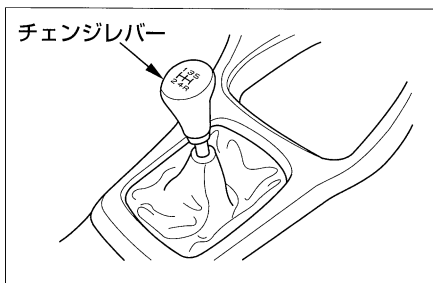
パーキングブレーキの操作 →86ページ



- ② **マニュアル車**

チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

チェンジレバーの操作 →88ページ





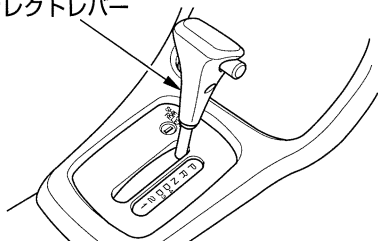
オートマチック車

セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

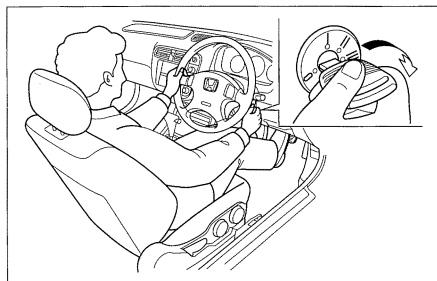
セレクトレバーの操作

→90、94ページ

セレクトレバー



- ③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
マニュアル車は、クラッチペダルもいっばいに踏み込んで行います。
- ④アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



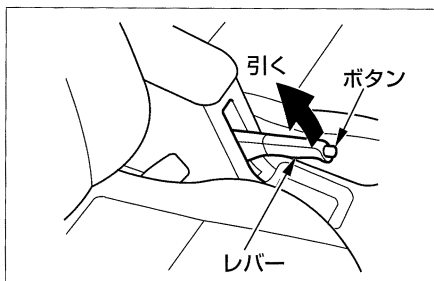
知 識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

パーキングブレーキ

かけるとき

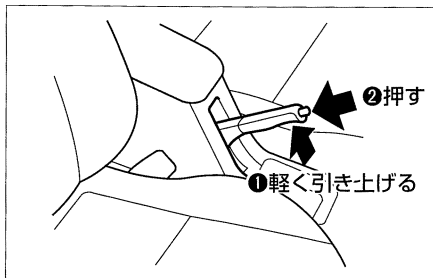
ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



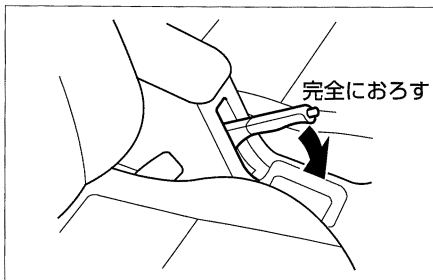
後輪ブレーキがききます。

解除するとき

①レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。



②ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。





⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

🎓 知識

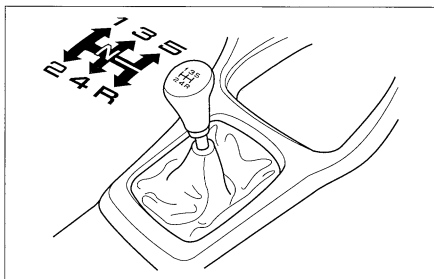
- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの取り扱い →225ページ

チェンジレバーの操作

マニュアル車

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

Rに入れるとき

誤操作を防ぐために、5 からRへは直接入れられません。一度Nへ戻してからRに入れてください。



アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0 ～50km/h
2	15～90km/h
3	25～130km/h
4	35km/h～
5	40km/h～



⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の车速には十分注意してください。

🚗 アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

タイプ	限界回転数 (rpm)
Ri	6,800
VTi	7,200
SiR	8,200

🎓 知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

セレクトレバーの操作

オートマチック車：Ri、VTi
(ホンダマルチマチック車)

●それぞれの位置のはたらき



パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。



知 識

- セレクトレバーがR以外の場合は、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。



リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。



ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)



ドライブ

通常の走行をする位置。

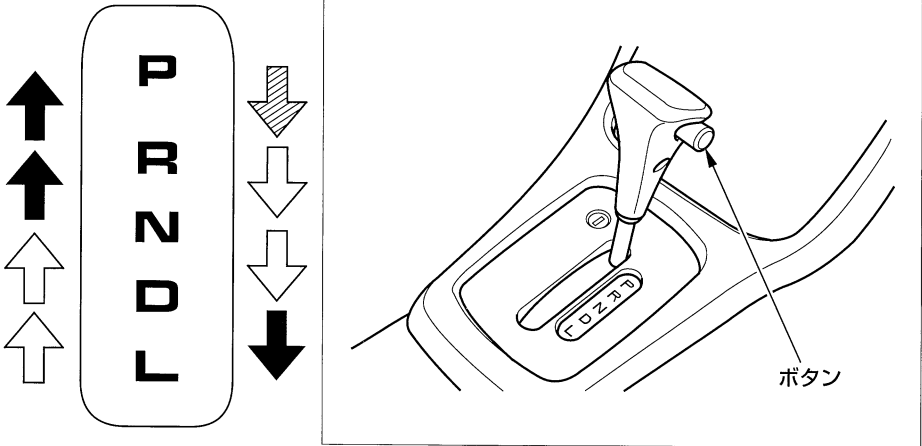


□ー

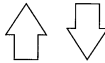
エンジンブレーキが必要なときに使う位置。



●セレクトレバーの動かし方



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

知 識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- 回るときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反して回回回に入れてしまうおそれがあります。

↑ ↓ の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

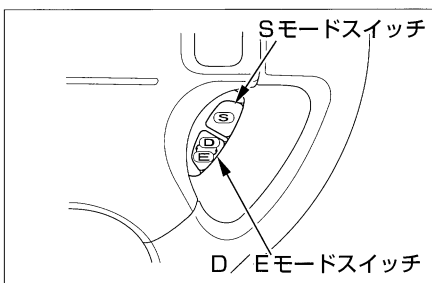
●モードの切り換え

セレクトレバーが回のときに、モードスイッチで3つのモードを選択できます。



Sモードスイッチを押すと、Sモードに切り換わります。

D/Eモードスイッチは押すたびに、D→E→D…と切り換わります。



Sモード、Eモードを選択すると、メーター内の表示灯が点灯します。

Sモード表示灯 →69ページ

Eモード表示灯 →69ページ

各モードは、それぞれ次のようなときに使用します。

- Dモード
(通常の走行をする位置)
- Sモード
(上り坂、下り坂に使う位置)
- Eモード
(経済的な運転をする位置)

Sモードにすると高回転領域を有効に使用でき、Eモードにすると低回転領域を有効に使用できます。

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🎓 知識

- SモードまたはEモードのときにエンジンスイッチを“I”にすると、自動的にDモードになります。
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。

2.車を運転するときに

運転のしかた



セレクトレバーの操作

●それぞれの位置のはたらき

オートマチック車：EL、SiR

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。



知 識

- セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)

D₄

通常の走行をする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)

ドライブ

D₃

上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)

2

セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままで変速されません。)

1

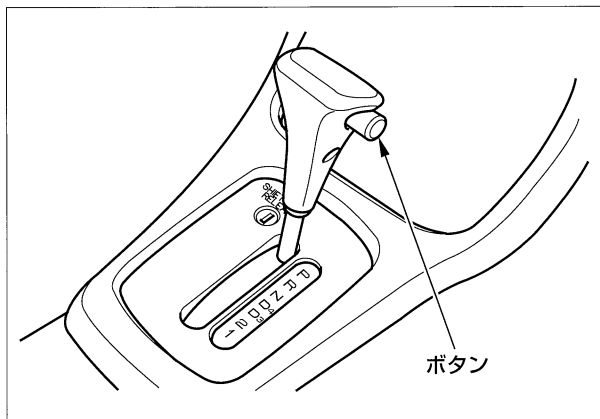
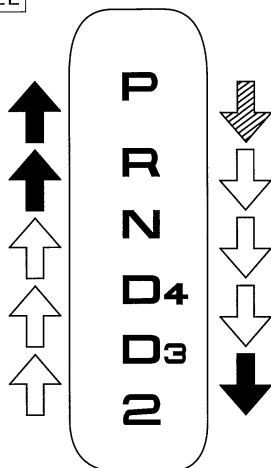
□—
(SiR)

強力なエンジンブレーキが必要なときに使う位置。
(1速のままで変速されません。)



●セレクトレバーの動かしかた

EL



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。

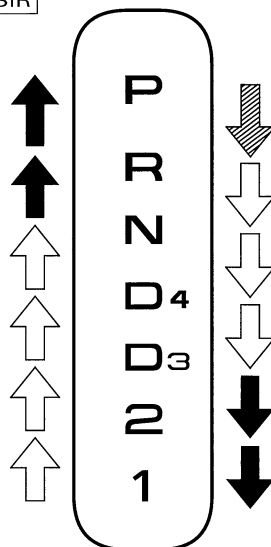


ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

SiR



知 識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- のときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでもから他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反してに入れてしまうおそれがあります。
 の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速 度 範 囲	変 速 範 囲
	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 速
	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 速
	0 ～100km/h	2 速固定
 (SiR)	0 ～60km/h	1 速固定*

*：急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため50km/h以上でへ切り換えた場合は、一旦2速に入ります。

⚠注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🎓知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

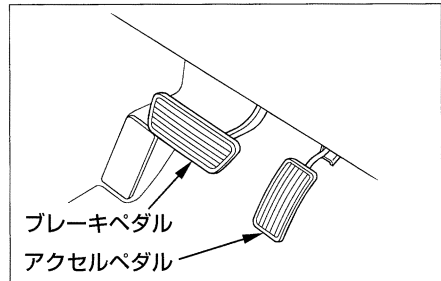


オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知 識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。

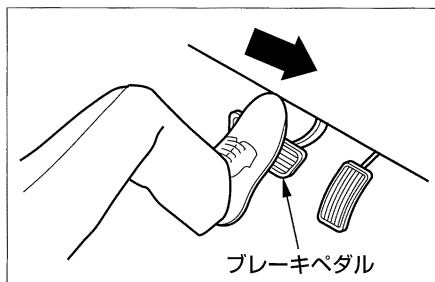
エンジン始動

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ②セレクトレバーがRに入っていることを確認。

知識

- Rでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるRで行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

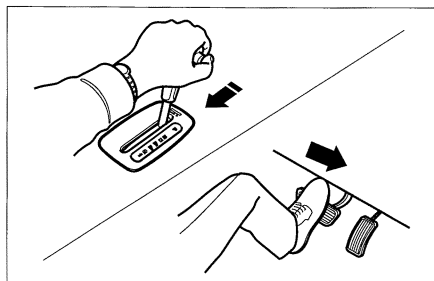


知識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はR(Ri、VTiタイプはD)、後退はNに入れる。



注意

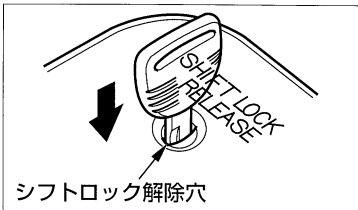
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

- ②レバーの位置を目で再確認。
- ③パーキングブレーキをもどす。
- ④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→72ページ)
- ⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。



知 識

- セレクトレバーを $\square$ 以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がリ、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- 万一、ブレーキペダルを踏んでも $\square$ から他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



知 識

- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。

坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・パーキングブレーキをもどして発進。

知 識

- ホンダマルチマチック車(Ri、VTiタイプ)は、燃費向上や停車時の振動およびブレーキ踏力の低減のため、ブレーキペダルを踏んでいるときのクリーブ力を弱く設定しています。また、後退時のクリーブ力も弱く設定しています。坂道での発進は必ずパーキングブレーキを併用し、車が後退しないように先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキをもどしてください。

走行

走行中はセレクトレバーをⅡにしないでください。

知識

- Ⅱにするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため思わぬ事故の原因になります。
またⅡにしても燃費の差はほとんどありません。

通常走行

D4 or D

上り坂走行
下り坂走行

D3, 2 or L



注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱してききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →16ページ

Ri、VTi

(ホンダマルチマチック車)

通常走行

セレクトレバーをⅡにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、低速から高速まで自動的に変速されます。

・モード切り換え

Ⅱのときに、Sモードにすると高回転領域を有効に使用でき、Eモードにすると低回転領域を有効に使用できます。

→92ページ

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、Sモードにするか、セレクトレバーをⅡにしておくと、より力強い走行ができます。

下り坂走行

下り坂をⅡのまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、Sモードにするか、セレクトレバーをⅡにします。



EL、SiR

(4速オートマチック車)

通常走行

セレクトレバーをⅧにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

⚠ 注意

- 高速走行中にⅡまたはⅢに入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、タイヤがスリップしたり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーをⅧまたはⅡにしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

下り坂走行

下り坂をⅧのまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーをⅧまたはⅡにします。

SiRタイプはⅢにするとさらに強力なエンジンブレーキが得られます。

停車

- ① ㊦ (Ri、VTiタイプは㊦)のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で㊦㊦以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。



知識

- 上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが㊦㊦以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを㊦に入れる。

⚠ 注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが㊦㊦以外
のとき、思わぬ急発進の原因になります。



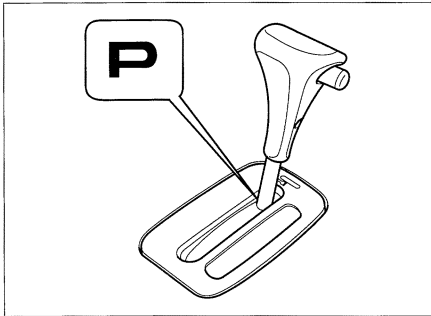
知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが㊦または㊦にあることを確認してください。
- セレクトレバーが㊦でもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。



駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

3

安全装備

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

しくみ 106

作動するとき、しないとき 108

SRSエアバッグシステムの

効果を十分に発揮させる

ために 110

お子さまを乗せるときは 111

取り扱いについて 112

●アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ 114

運転のしかた 114

取り扱いについて 115

●リミテッドスリップデフ (LSD)

LSDのしくみ 116

取り扱いについて 116

●その他の安全装備 117

SRSエアバッグシステム

(運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、エアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略で補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、エアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

⚠ 注意

- エアバッグが膨らんだ直後は、エアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知識

- エアバッグは非常に速い速度で膨らむため、エアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだエアバッグはすぐにしぼみます。視界をさまたげません。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダプリモ店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



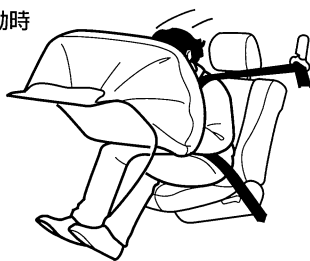
作動後



助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



作動後

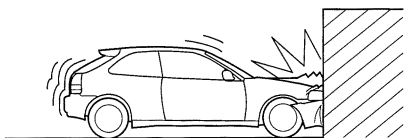


作動するとき、しないとき

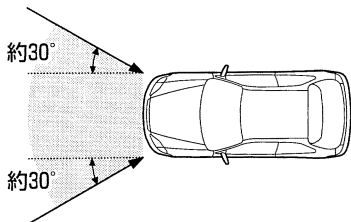
●作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

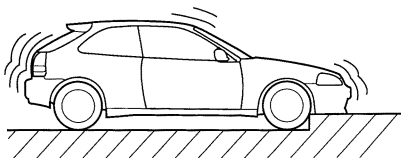


知 識

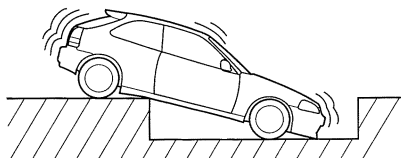
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、エアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

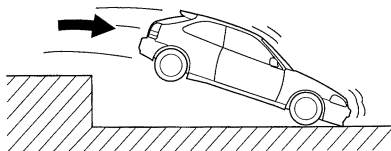
縁石などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



高いところから落ちたとき

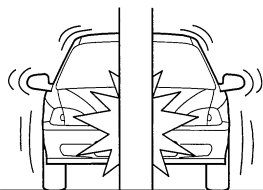




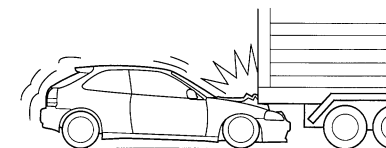
●作動しにくいとき

次のような場合、作動しないことがあります。

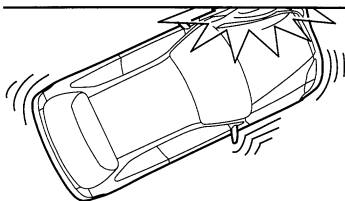
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



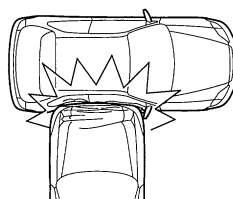
知 識

- エアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので車両の損傷状態の大小とエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

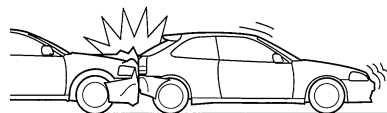
●作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないので作動しません。ただし、状況によっては、エアバッグが作動することがあります。

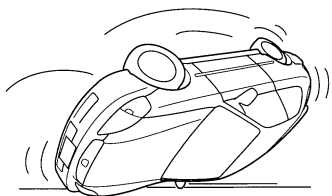
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆

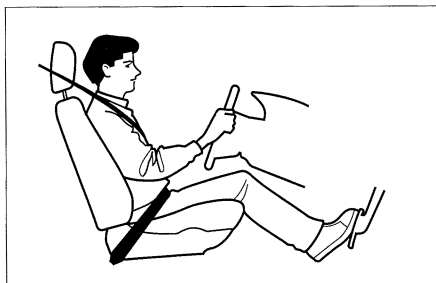


SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。

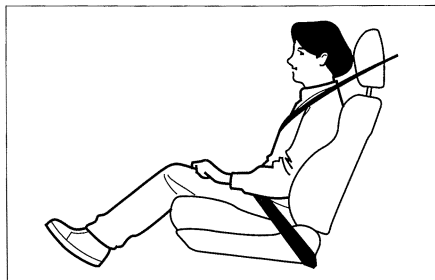


⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



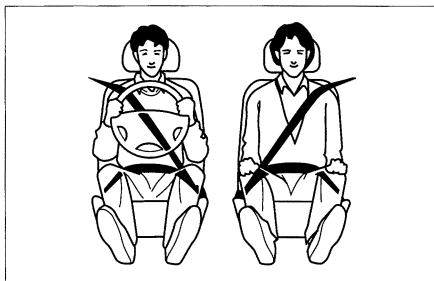
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

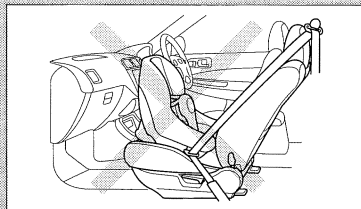
正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートなどをお使いください。

●チャイルドシートなどの取り付けについて

⚠ 警告

- 助手席にはベビーシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

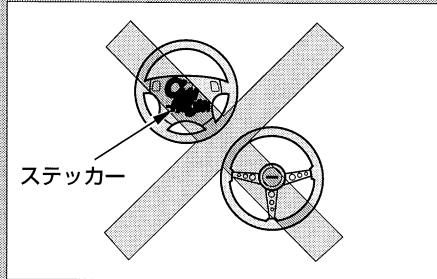
また、やむをえず前向きに取り付ける場合は、エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



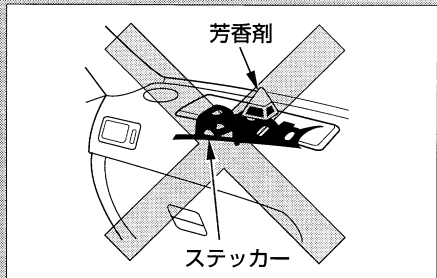
取り扱いについて

⚠ 注意

- エアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。
フロントガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
また、エアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。



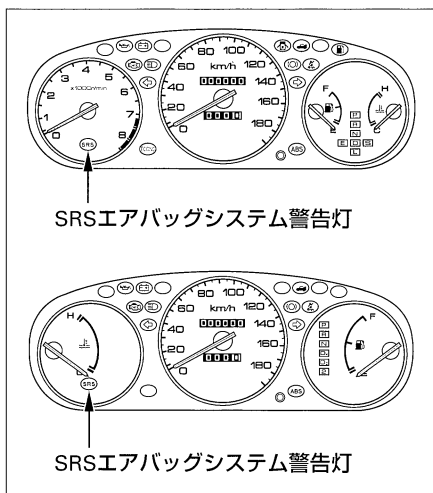


知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダプリモ店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダプリモ店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとエアバッグの誤作動につながります。(ホンダ純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダプリモ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにエアバッグが膨らまないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

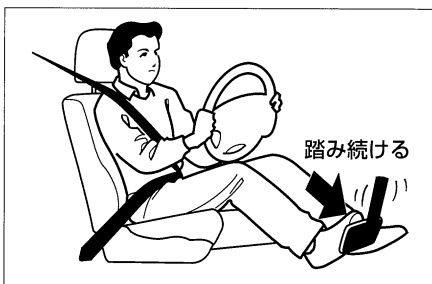
ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



- 低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

🎓 知 識

- エンジン始動時や、エンジンが冷えているときの発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

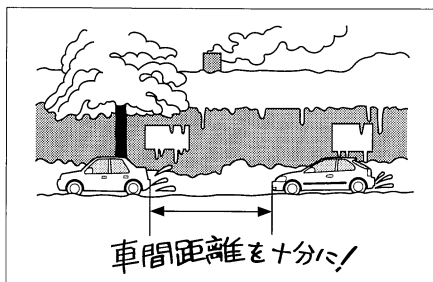
運転のしかた

- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。

- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。

このような道路条件では速度は控えめにし、車間距離を十分にとって運転してください。





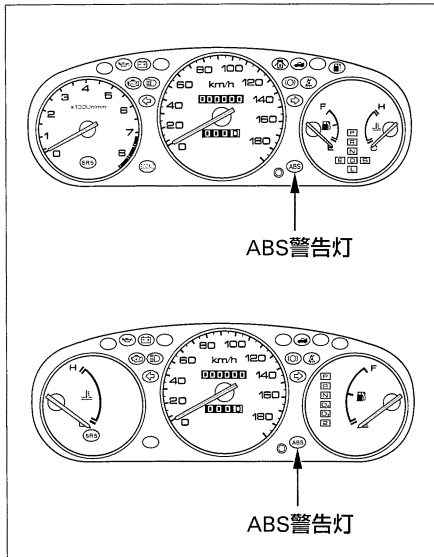
取り扱いについて

知識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

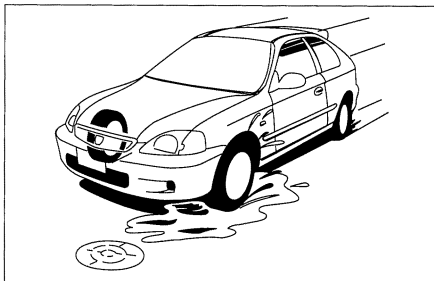
- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダプリモ店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

リミテッドスリップデフ(LSD)

タイプ別注文装備

LSDのしくみ

LSDは駆動力を左右輪に最適配分し、有効に伝達するための装置です。



取り扱いについて

アドバイス

- 前輪は左右共、同一サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとLSDに悪影響をあたえます。

知 識

- 前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した標準タイヤを前輪に取り付けてください。



その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→21ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席(外側2座席)にも採用しています。
(→56ページ)

●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。
(→74ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→81ページ)

4

ドライブを快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節	121
アッパーベンチレーション	122
エアコンインデックス	123
オートエアコン	124
ヒーター・マニュアル式 エアコン	130

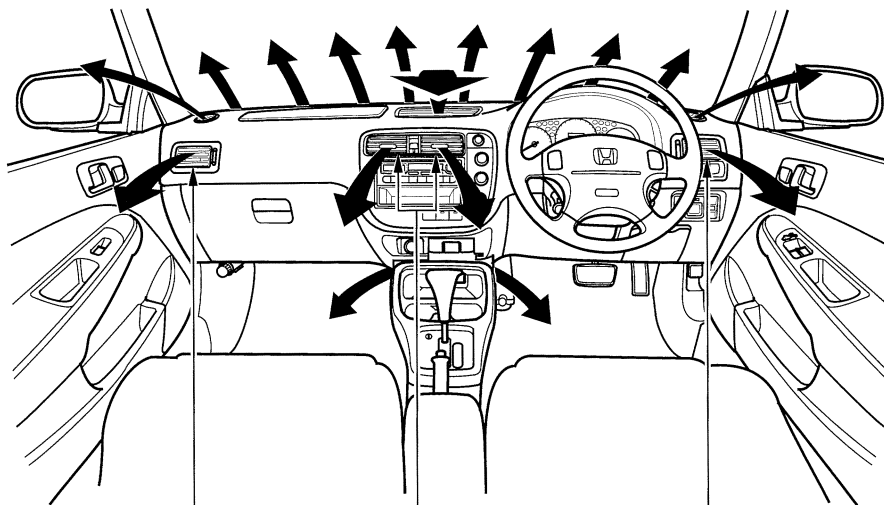
●オーディオ

上手な使いかた	136
アンテナ	138
オーディオインデックス	139
AM/FMラジオ一体式 カセットステレオ	140・150

●室内装備品

室内灯	160
スポットランプ	160
トランクルーム照明灯	160
シガレットライター	161
灰皿	162
サンバイザー リヤシェルフ (トランクカバー)	163 164
小物入れ	165
カードホルダー	166
カップホルダー	166

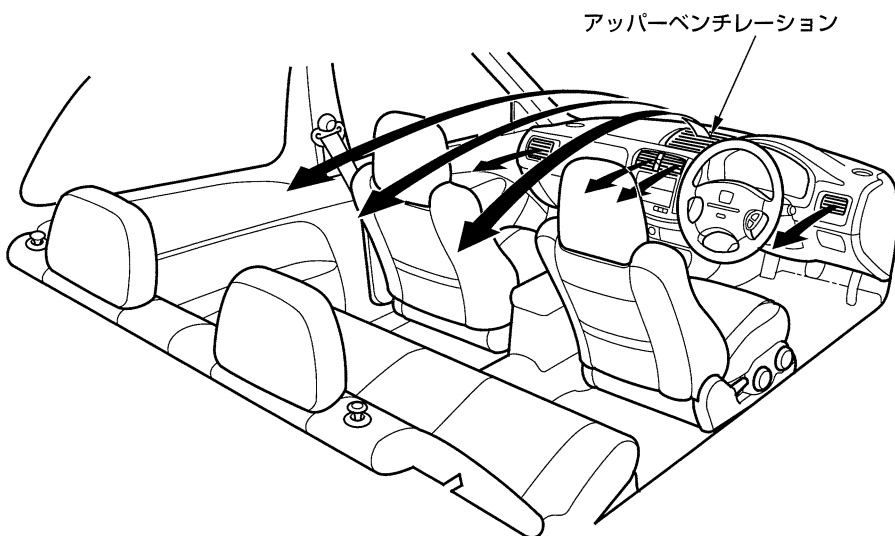
エアコン



側面吹き出し口

中央吹き出し口

側面吹き出し口



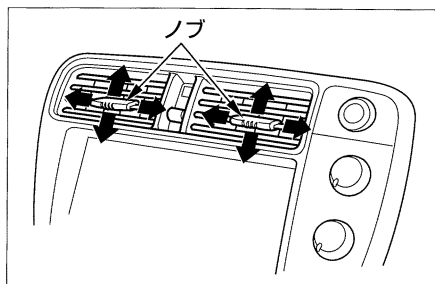
アッパーベンチレーション



吹き出し風の調節

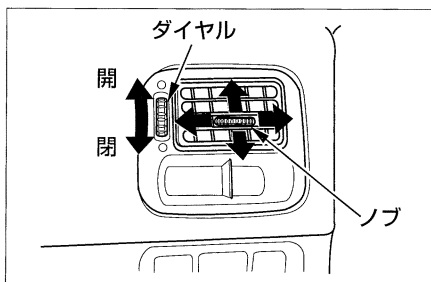
ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

・中央吹き出し口



・側面吹き出し口

送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。



🎓 知識

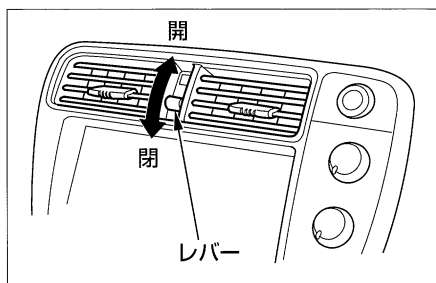
- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

アッパーベンチレーション

ファンが作動中に、“”または“”のモードを選択し、レバーを上
に動かすと、風が吹き出します。この場
合、中央の吹き出し口からの送風は弱く
なります。

知 識

- 冷房時、後席へ冷風を効果的に送
りたいときや、中央の吹き出し口
からの冷風を強く身体に当てたく
ないときなどにお使いください。



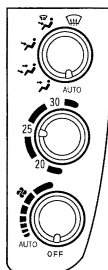
吹き出し風の向きは調節できません。



エアコンインデックス

オートエアコン

タイプ別装備



- オートエアコンを使うとき 124
- マニュアルで使うとき 126
- 前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) 128
- 急速に霜を取りたいとき 128
- エアコンを常用しないとき 129
- 温度感知装置 129

ヒーター・マニュアル式エアコン

タイプ別装備



- 暖房するとき 132
- 急速に車内を暖めたいとき 132
- 曇り止め暖房をしたいとき 132
- 前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) 133
- 急速に霜を取りたいとき 133
- 梅雨時などの湿度の高いとき 133
- 冷房するとき 134
- 急速に車内を冷やしたいとき 134
- エアコンを常用しないとき 135

オートエアコン

タイプ別装備

●オートエアコンを使うとき

エンジンをかけた状態で使います。

吹き出し口切り換えダイヤル

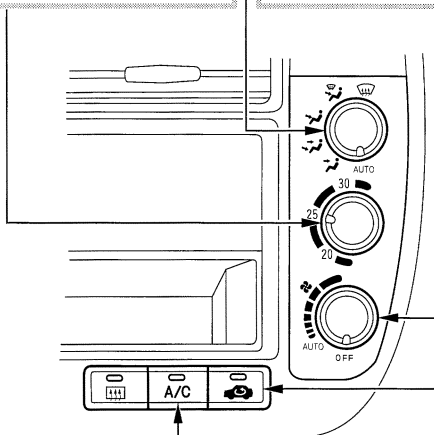
ダイヤルを“AUTO”にすると吹き出し口の切り換えが自動制御されます。

温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して温度を設定します。
表示温度は室温設定時のめやすとなります。

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルを“AUTO”にすると風量が自動制御されます。



エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、エアコンが作動します。(表示灯点灯)
冷房や除湿暖房をするときに使います。

内外気切り換えボタン

ボタンを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。
トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。



通常の使いかた

- ①ファンスピード切り換えダイヤルを**AUTO**にします。
- ②吹き出し口切り換えダイヤルを**AUTO**にします。
- ③温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。
- ④冷房や除湿暖房をするときは、エアコンスイッチを入れます。

停止するときはファンスピード切り換えダイヤルを**OFF**にします。

知 識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

●マニュアルで使うとき

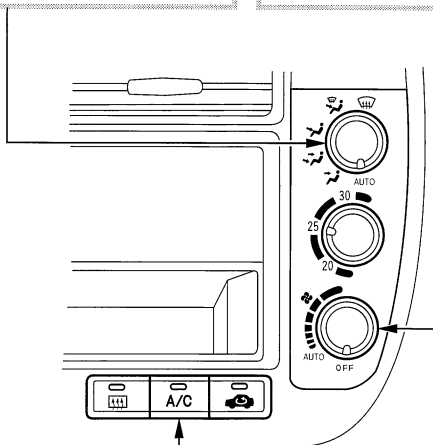
各ボタン、ダイヤルを組み合わせる使えます。

吹き出し口切り換えダイヤル

ダイヤルを回すと吹き出し口が切り換わります。(右ページ参照)

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルの位置	OFF	AUTO	■■■■■
風量	停止	自動切換	弱↔強



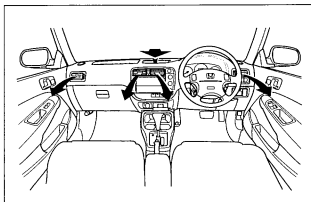
エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、エアコンが作動します。(表示灯点灯)
冷房や除湿暖房をするときに使います。

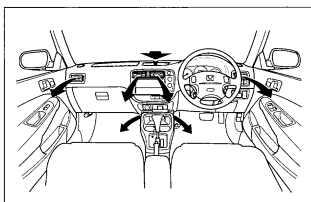
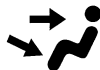


吹き出し口切り換えダイヤル

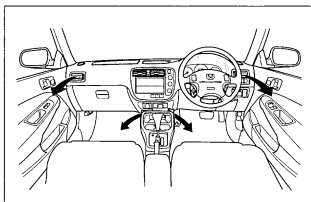
上半身に送風したいとき



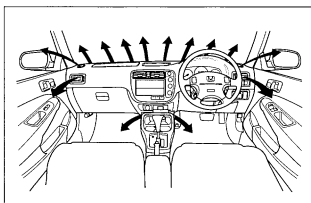
上半身、足元に送風したいとき



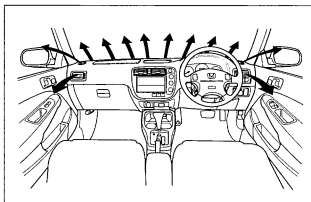
足元に送風したいとき



足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



窓ガラスの曇りを取りたいとき

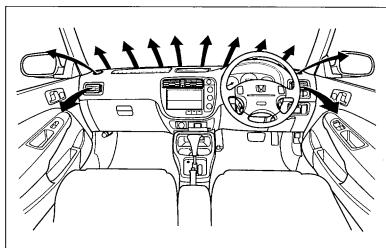


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

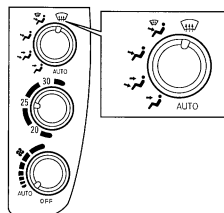
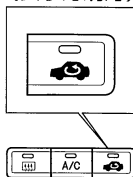
- ①内外気切り換えボタンを押して外気導入(表示灯消灯)にします。
- ②ファンスピード切り換えダイヤルを“AUTO”にします。
- ③吹き出し口切り換えダイヤルを“”にします。

デフロスター

ガラスの曇り取りなどに使用します。
ダイヤルを“”にすると吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。



外気導入
(表示灯消灯)

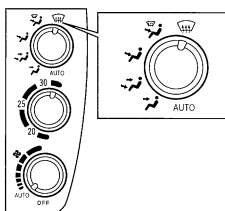
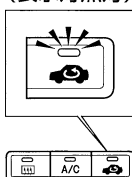


知 識

- エアコンスイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。

急速に霜を取りたいとき

内気循環
(表示灯点灯)



知 識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。



●エアコンを常用しないとき

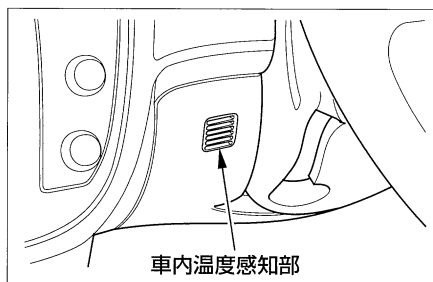
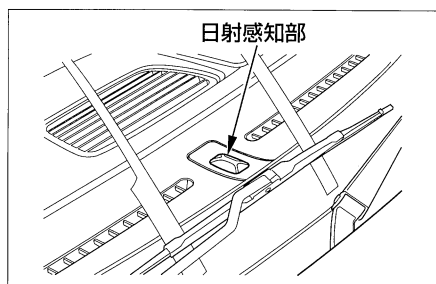
装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



ヒーター・マニュアル式エアコン

タイプ別装備

エンジンをかけた状態で使います。

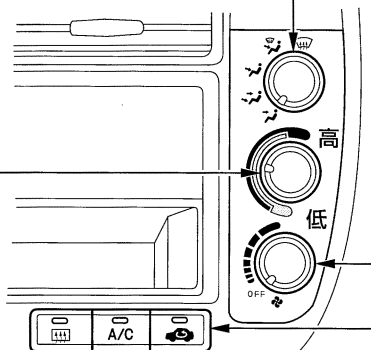
温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して吹き出し風の温度を調節します。

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルの位置	OFF	■■■■■
風量	停止	弱↔強

吹き出し口切り換えダイヤル



エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、エアコンが作動します。(表示灯点灯)
冷房や除湿暖房をするときに使います。

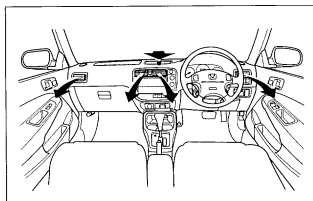
内外気切り換えボタン

ボタンを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。
トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

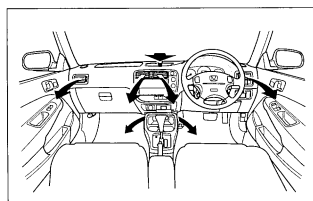


吹き出し口切り換えダイヤル

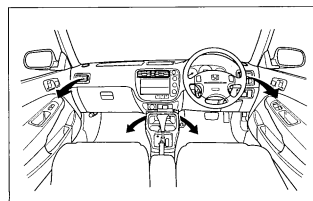
上半身に送風したいとき



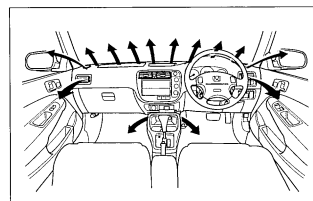
上半身、足元に送風したいとき



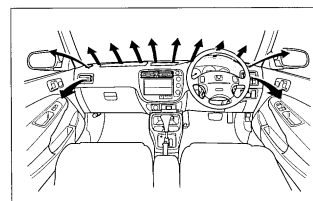
足元に送風したいとき



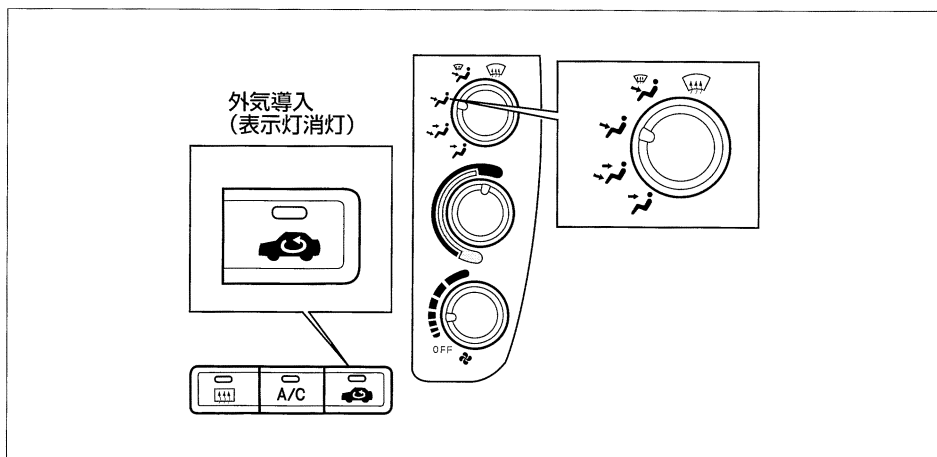
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



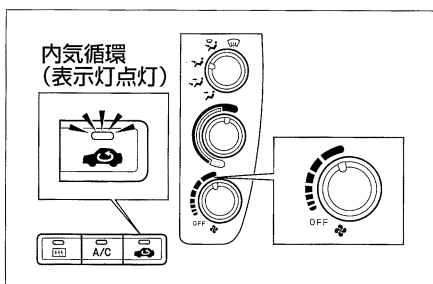
窓ガラスの曇りを取りたいとき



●暖房するとき



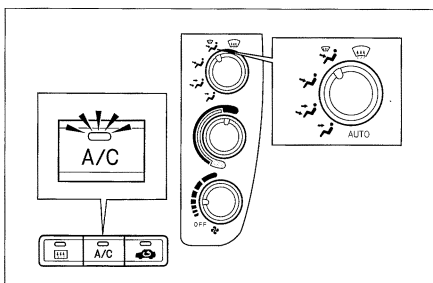
急速に車内を暖めたいとき



知 識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまざまな妨げになります。一度暖めた後は外気導入で使ってください。

曇り止め暖房をしたいとき

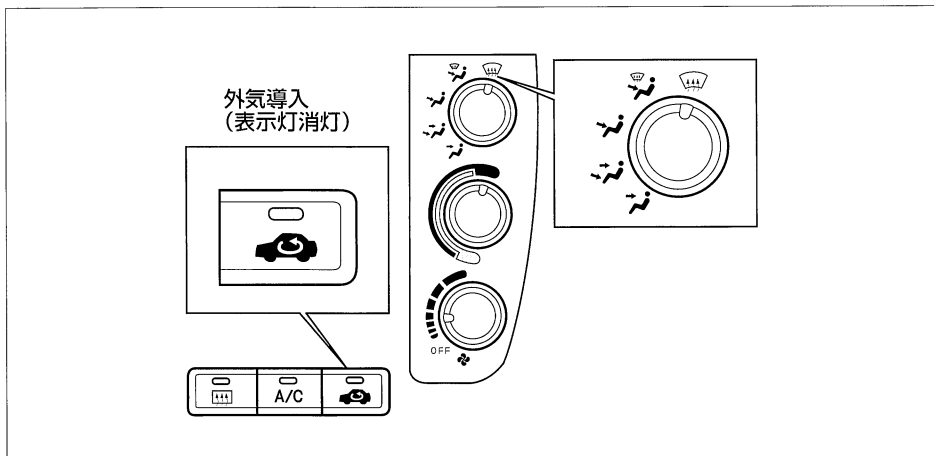


エアコンスイッチを入れると除湿暖房ができます。

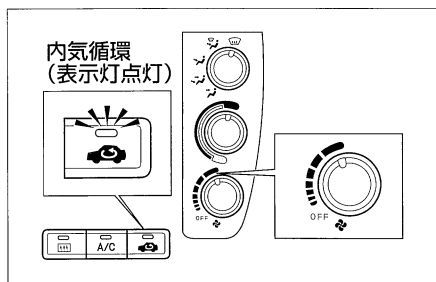
春、秋などの雨天でガラスが曇りやすいときに使います。外気が除湿され、乾燥した空気で暖めますので、曇り止めに役立ちます。



● 前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)



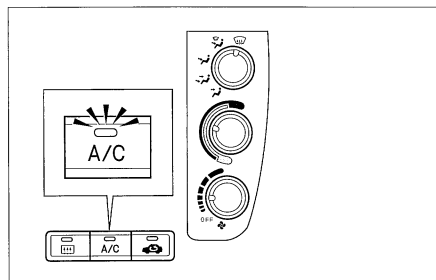
急速に霜を取りたいとき



知 識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

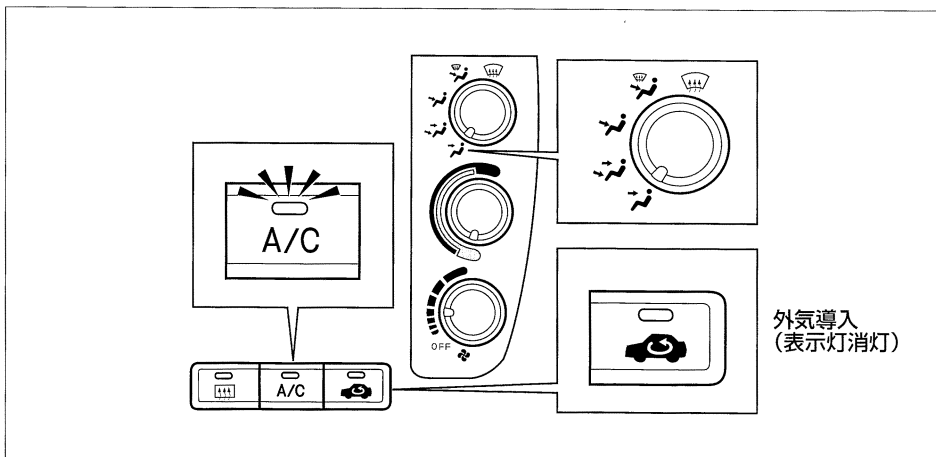
梅雨時など湿度の高いとき



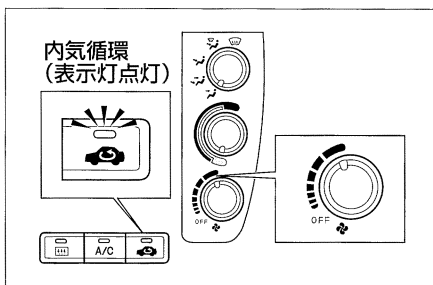
知 識

- エアコンスイッチを入れているときは、温度調節ダイヤルを最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇り、視界のさまたげになります。

●冷房するとき



急速に車内を冷やしたいとき



知 識

- 急速冷房で車内が冷えたら外気導入にしてください。内気循環のまま長時間使うと車内の空気が汚れます。

知 識

- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。



●エアコンを常用しないとき

装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

オーディオ

上手な使いかた

知 識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

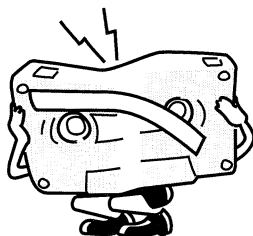
●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●カセットについて

次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ・ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。



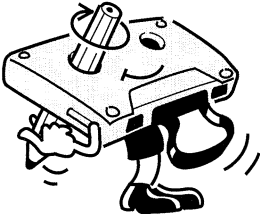
- ・120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。





カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

●CDについて

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。



ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

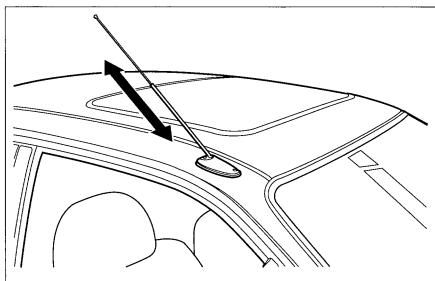
知 識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

アンテナ

●マニュアルアンテナ

ラジオをきくときはアンテナをいっぱいまで伸ばします。



知 識

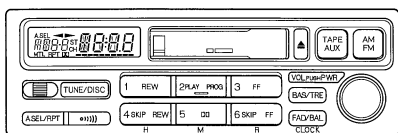
- 屋根の低い場所、洗車場などではアンテナを伸ばしたままにしないでください。
アンテナを曲げたりすると伸縮性を損ないます。



オーディオインデックス

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

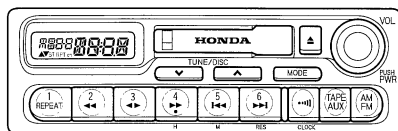
タイプ別装備



- 電源の入れかた 140
- 音量調節のしかた 140
- 音質、バランス調節のしかた 141
- モードの切り換えかた 141
- ラジオの使いかた 142
- カセットプレーヤーの使いかた 144
- CDチェンジャーコントローラー等
（CD/MDチェンジャー、CD/MDプレーヤー等の接続時）
 使いかた 146
- 時計 148
- エラーコード 149

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

タイプ別装備



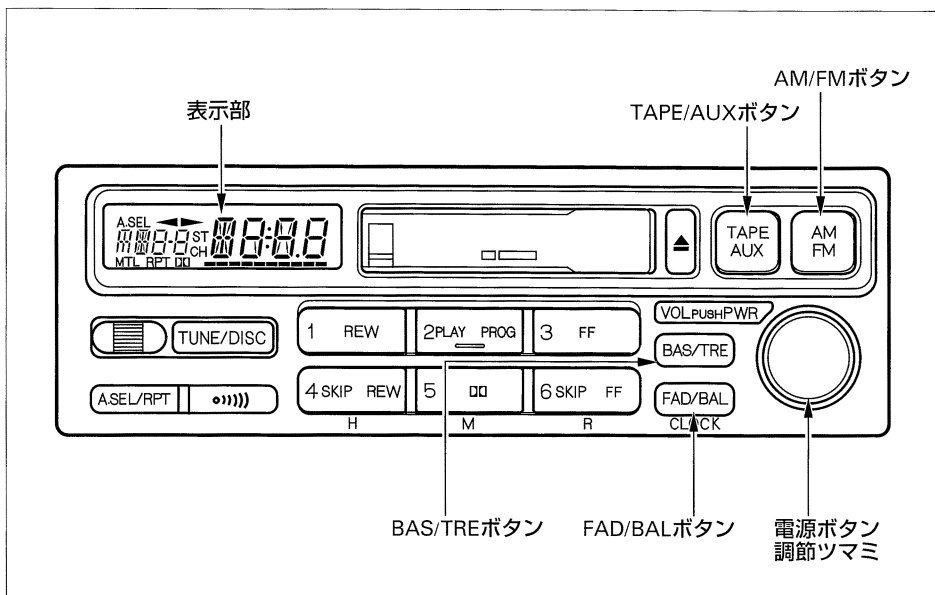
- 電源の入れかた 150
- 音量調節のしかた 150
- 音質、バランス調節のしかた 151
- モードの切り換えかた 151
- ラジオの使いかた 152
- カセットプレーヤーの使いかた 154
- CDチェンジャーコントローラー等
（CD/MDチェンジャー、CD/MDプレーヤー等の接続時）
 使いかた 156
- 時計 158
- エラーコード 159

ナビゲーションシステム装備車のテレビ・ビデオ(VTR)の取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

タイプ別装備

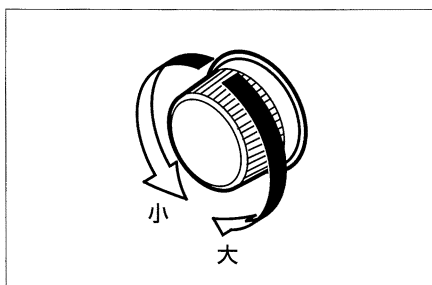
エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



●電源の入れかた

電源ボタンを押して、電源を入れます。
押すたびに“ON” ↔ “OFF” になります。
また、AM/FMボタン、TAPE/AUXボタンを押して、電源を“ON”にすることもできます。

●音量調節のしかた





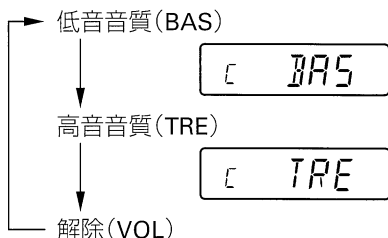
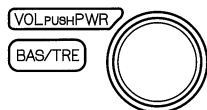
●音質、バランス調節のしかた

知 識

- 調節後約 5 秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“C”(センター)を表示します。

音質調節

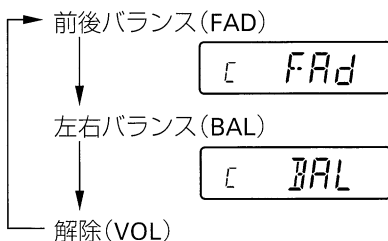
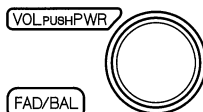
BAS/TRE ボタンを押して切り換え、調節ツマミ(VOL)で調節します。



BAS/TRE ボタンを押すたびに切り換わります。

バランス調節

FAD/BAL ボタンを押して切り換え、調節ツマミ(VOL)で調節します。



FAD/BAL ボタンを押すたびに切り換わります。

●モードの切り換え

- ・AM/FMボタン



ラジオに切り換わります。

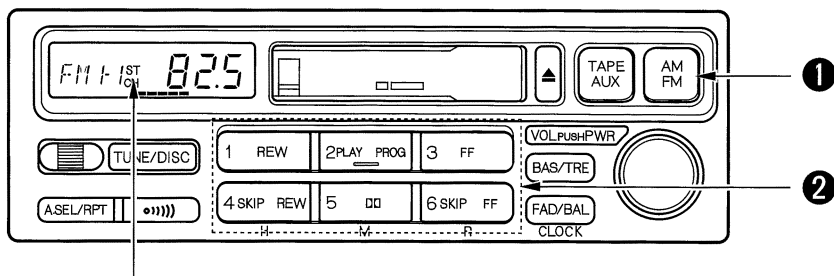
- ・TAPE/AUXボタン



カセットテープが入っているときに押すと、テープ演奏に切り換わります。

別売のCD/MDチェンジャーやCD/MDプレーヤー等を接続しているときに押すと、それらのディスク演奏に切り換わります。

●ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた



FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。

①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMボタン)

ボタンを押して、AM/FM1/FM2を選びます。

②選局する(ワンタッチ選局ボタン)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

AM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶できます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

オートセレクトボタンを押します。(“A.SEL”が点滅)

ASEL/RPT

自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局ボタンにAM 6局、FM 6局まで自動的に記憶され“A.SEL”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、ボタンをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局ボタンの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知識

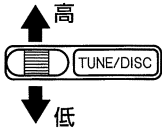
- 放送局が6局にみえない場合、残りのボタンには何も記憶されません。記憶されていないボタンを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

①AM/FMボタンでAM/FM1/FM2を選びます。

②選局スイッチで選局します。



- 短く押すと、押すたびに受信周波数が少しずつ変わります。(手動選局)
- “ピッ”という電子音がするまで押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

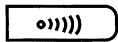
③ワンタッチ選局ボタンのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

知識

- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

交通情報をきくとき

交通情報ボタンを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。(“TI”が点灯)
周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)



…選局スイッチを押します。

解除するとき

交通情報ボタンをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

知識

- 交通情報ボタンにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

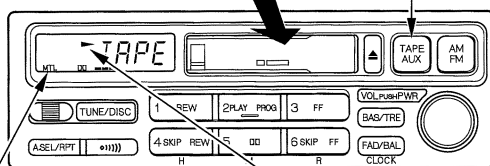
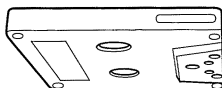
●カセットプレーヤーの使いかた

テープ演奏のききかた

テープを差し込む

または

TAPEボタンを押す
(テープが差し込まれているとき)



クロームテープ、メタルテープ
使用時は“MTL”が点灯

テープ演奏中は“◀”または“▶”の
テープ走行表示灯が点灯

走行方向を切り換えるとき

プログラムボタンを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わります。

テープを取り出すとき

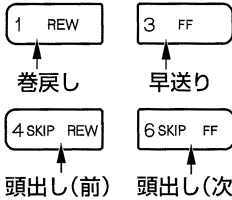
イジェクトボタンを押して、テープを取り出します。



テープ演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、イジェクトボタンを押せばテープを取り出すことができます。



早送り／巻戻し、頭出しをするとき



- FF/REWボタンを押すと、早送り／巻戻しになり、“FF/REW”が点灯します。
- SKIP FF/SKIP REWボタンを押すと、頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、“FF/REW”が点滅します。

早送り／巻戻しを止めるときは、ボタンをもう一度押すかPLAYボタンを押します。

知 識

- 曲間の無音部分が4秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が働かないことがあります。

演奏中の曲を繰り返し聞くととき(リピート)

リピートボタンを押します。(“RPT”が点灯)

ASEL/RPT

リピート機能を解除するときは、ボタンをもう一度押します。

ドルビーNRについて

ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

5 00

ドルビーNRボタンで、ドルビーNR再生およびその解除を行います。(ドルビーNR再生中は“00”が点灯)

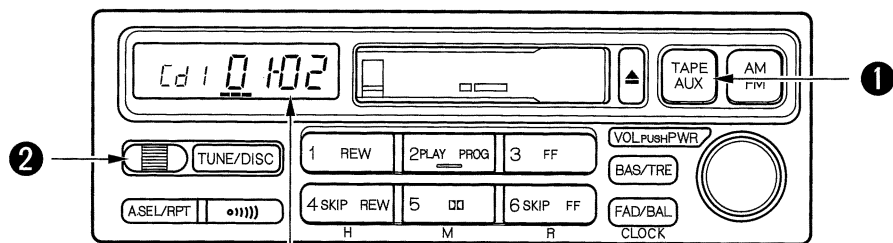
※ドルビーノイズリダクションシステムはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号 00 はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

●CD/MDチェンジャーコントローラー、CD/MDプレーヤーの使いかた

別売のCD/MDチェンジャー、CD/MDプレーヤー等の接続時

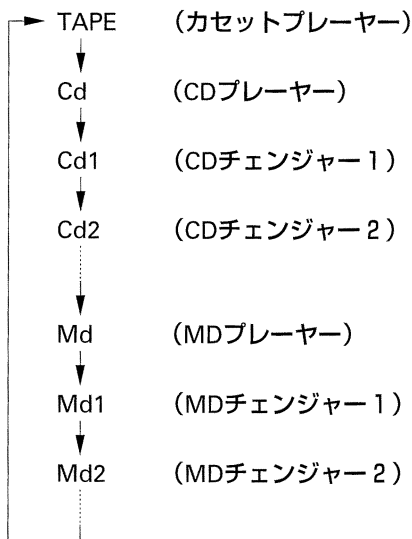
ディスク演奏のききかた



演奏中はディスク、トラックナンバーを表示

①切り換える(AUXボタン)

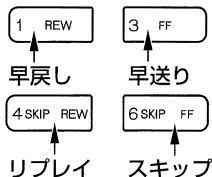
ボタンを押して、切り換えます。
ボタンを押すたびに接続されている
プレーヤー、カセットプレーヤーに
切り換わります。



②ディスクを選ぶ(ディスクスイッチ)

CD/MDチェンジャー接続時

スイッチを上または下に押すたびに切り換わります。
ディスクスイッチに続けてSKIP FF/SKIP REWボタンを短く押すと、トラックナンバーの指定もできます。

**早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき**

- FF/REWボタンを押すと、早送り／早戻しになります。
- SKIP FF/SKIP REWボタンを押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。

演奏中の曲を繰り返し聞くととき(リピート)

リピートボタンを短く押します。("RPT" が点灯)

A.SEL/RPT

リピート機能を解除するときは、ボタンをもう一度短く押します。

1 枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

オートセレクトボタンを約 2 秒押します。("A.SEL" が点灯)

A.SEL/RPT

ランダム演奏の機能を解除するには、ボタンをもう一度約 2 秒押します。

●時計

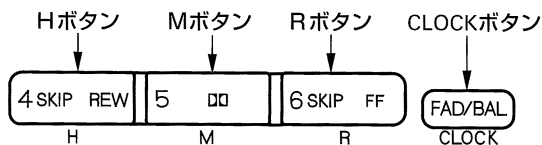
時計は、エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに表示されます。

表示の合わせかた

CLOCKボタンを時計表示が点滅するまで押します。

「時」の調整…Hボタンを押します。

「分」の調整…Mボタンを押します。



CLOCKボタンをもう一度押します。

時報合わせ…時計表示が点滅しているときに、時報と同時にRボタンを押します。

(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00

1:30 ~ 1:59の場合… 2:00



●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているディスクのプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、点検してください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。

エラーコードの種類を表します。

TA (本体カセットプレーヤー)

Cd (Cdプレーヤー)

Cd1 (Cdチェンジャー 1)

Cd2 (Cdチェンジャー 2)

Md (Mdプレーヤー)

Md1 (Mdチェンジャー 1)

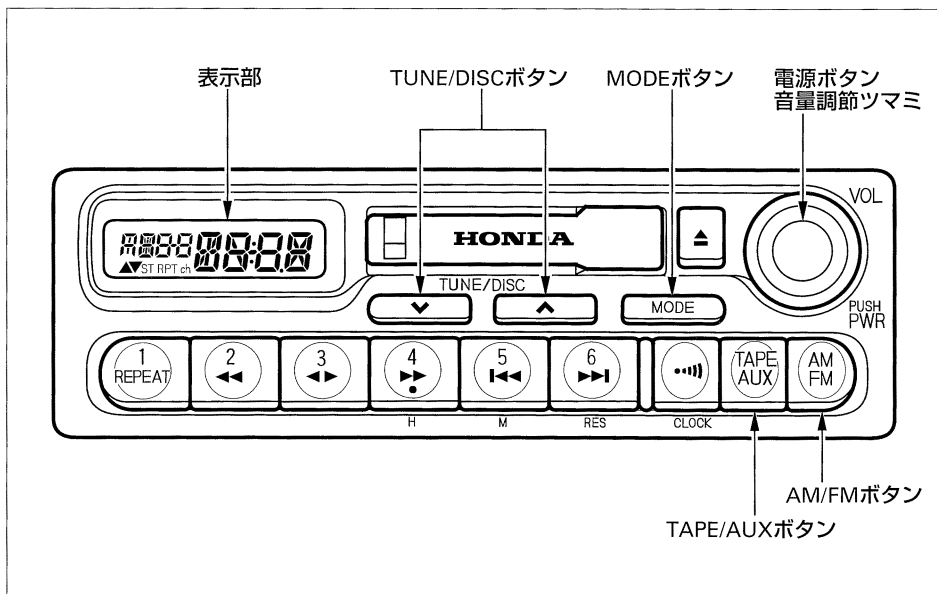
Md2 (Mdチェンジャー 2)

エラーコード	原因
Err	カセットテープの取り出しができない等、機械的な不具合 ディスクマガジンやディスクの装着や取り外しができない等、 機械的な不具合
Hot	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
d 15C	ディスクマガジンにディスクが入っていない

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

タイプ別装備

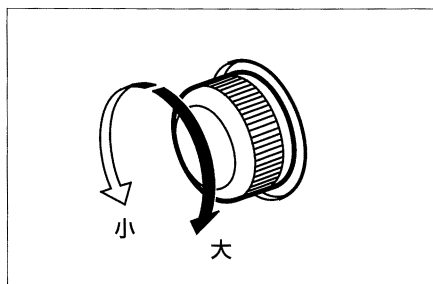
エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



●電源の入れかた

電源ボタンを押して、電源を入れます。
押すたびに“ON”⇄“OFF”になります。
また、AM/FMボタン、TAPE/AUXボタンを押して、電源を“ON”にすることもできます。

●音量調節のしかた



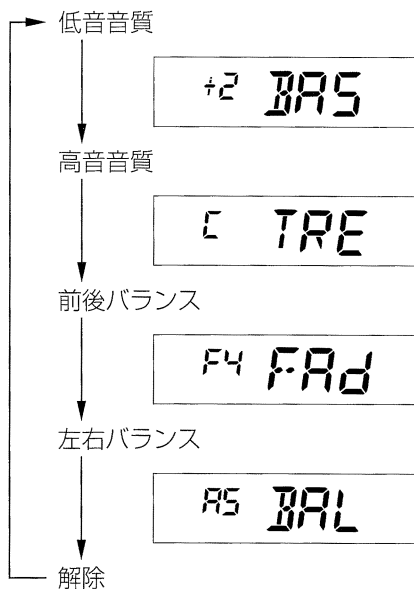
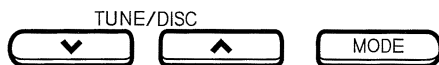


●音質、バランス調節のしかた

MODEボタンを押して切り換え、TUNE/DISC/DISCボタンで調節します。

知 識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“C”(センター)を表示します。



MODEボタンを押すたびに切り換わります。

(リヤ用スピーカーはタイプ別装備です。)

●モードの切り換え

- ・AM/FMボタン



ラジオに切り換わります。

- ・TAPE/AUXボタン



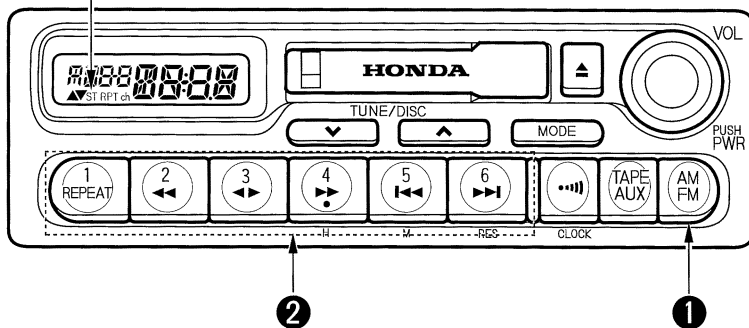
カセットテープが入っているときに押すと、テープ演奏に切り換わります。

別売のCD/MDチェンジャーやCD/MDプレーヤー等を接続しているときに押すと、それらのディスク演奏に切り換わります。

●ラジオの使いかた

ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMボタン)

ボタンを押して、AM/FM1/FM2を選びます。

②選局する(ワンタッチ選局ボタン)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

AM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶できます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

- ①AM/FMボタンでAM/FM1/FM2を選びます。
- ②選局ボタンで選局します。



- ・短く押すと、押すたびに受信周波数が少しずつ変わります。(手動選局)
- ・“ピッ”という電子音がするまで押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

- ③ワンタッチ選局ボタンのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

知識

- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

交通情報をきくとき

交通情報ボタンを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。(“TI”が点灯)



CLOCK

周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)

…選局ボタンを押します。

解除するとき

交通情報ボタンをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

知識

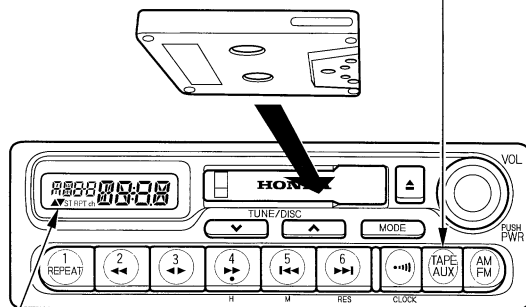
- 交通情報ボタンにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

●カセットプレーヤーの使いかた テープ演奏のききかた

テープを差し込む

または

TAPE/AUXボタンを押す
(テープが差し込まれているとき)



テープ演奏中は“▲”または“▼”のテープ走行表示灯が点灯

走行方向を切り換えるとき

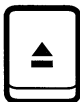
プログラムボタンを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わりま
す。

テープを取り出すとき

イジェクトボタンを押して、テープを取り出します。

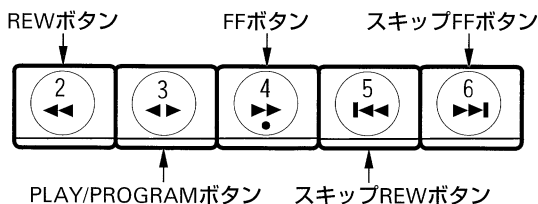


テープ演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、
イジェクトボタンを押せばテープを取り出すことができ
ます。



早送り／巻戻し、頭出しをするとき

- FF/REWボタンを押すと、早送り／巻戻しになり、“FF/REW”が点灯します。
- スキップFF／スキップREWボタンを押すと、頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、“FF/REW”が点滅します。



早送り／巻戻しを止めるときは、ボタンをもう一度押すかPLAY/PROGRAMボタンを押します。



知 識

- 曲間の無音部分が4秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が働かないことがあります。

演奏中の曲を繰り返し聞くととき(リピート)

リピートボタンを押します。(“RPT TAPE”が点灯)

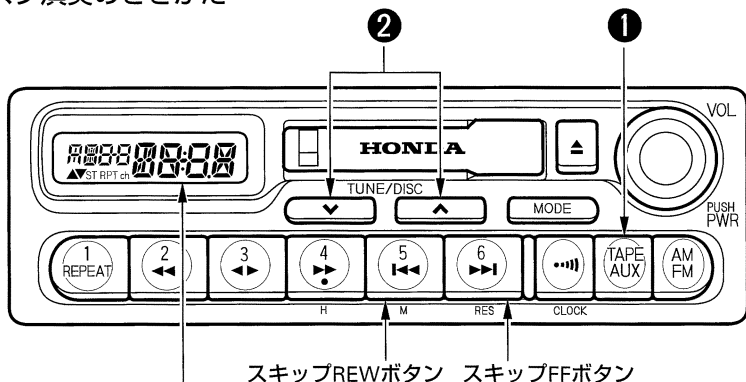


リピート機能を解除するときは、ボタンをもう一度押します。

●CD/MDチェンジャーコントローラー、CD/MDプレーヤーの使いかた

別売のCD/MDチェンジャー、CD/MDプレーヤー等の接続時

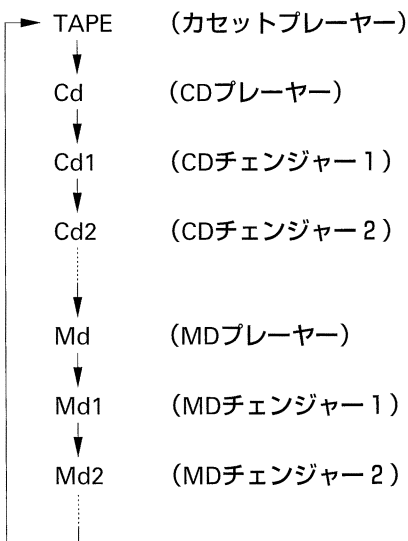
ディスク演奏のききかた



演奏中はディスク、トラックナンバーを表示

①切り換える(TAPE/AUXボタン)

ボタンを押して、切り換えます。
ボタンを押すたびに接続されている
プレーヤー、カセットプレーヤーに
切り換わります。



②ディスクを選ぶ(ディスクボタン)

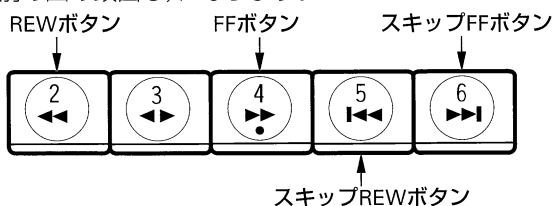
ボタンを押すたびに切り換わります。

ディスクボタンに続けてスキップFFまたはスキップREWボタンを押すと、トラックナンバーの指定もできます。

CD/MDチェンジャー接続時

**早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき**

- FF/REWボタンを押すと、早送り／早戻しになります。
- スキップFF／スキップREWボタンを押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。

**演奏中の曲を繰り返し聞くととき(リピート)**

リピートボタンを短く押します。("RPT" が点灯)



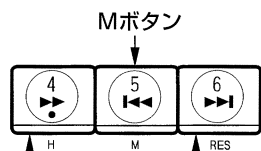
リピート機能を解除するときは、ボタンをもう一度短く押します。

●時計

時計は、エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに表示されます。それぞれのボタンを操作すると各動作状態を表示し、動作停止後、時計表示に戻ります。

表示の合わせかた

時計表示中にCLOCKボタンを押しながら調整します。



「時」の調整……Hボタンを押します。

「分」の調整……Mボタンを押します。

Hボタン

RESボタン

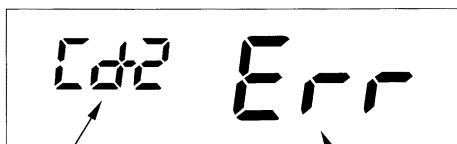
時報合わせ……時報と同時にRESボタンを押します。

(例) 1 : 01 ~ 1 : 29の場合…… 1 : 00
 1 : 30 ~ 1 : 59の場合…… 2 : 00



●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているディスクのプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、点検してください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。

エラーコードの種類を表します。

TAPE (本体カセットプレーヤー)

Cd (Cdプレーヤー)

Cd1 (Cdチェンジャー 1)

Cd2 (Cdチェンジャー 2)

...

Md (Mdプレーヤー)

Md1 (Mdチェンジャー 1)

Md2 (Mdチェンジャー 2)

...

エラーコード	原因
Err	カセットテープの取り出しができない等、機械的な不具合 ディスクマガジンやディスクの装着や取り外しができない等、 機械的な不具合
Hot	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
d15C	ディスクマガジンにディスクが入っていない

室内装備品

室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

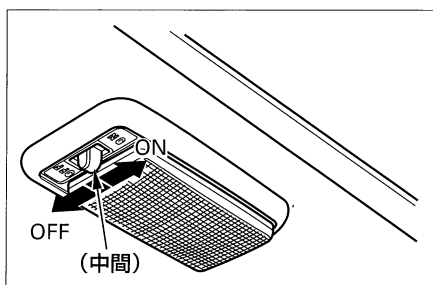
(中間)

ドアを開いたときのみ点灯します。

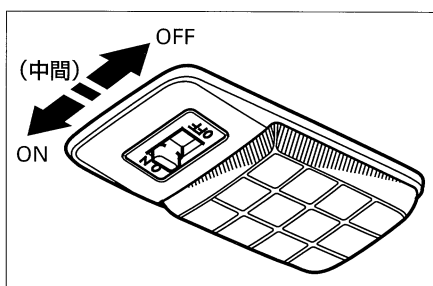
“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。

サンルーフ装備車



サンルーフ非装備車

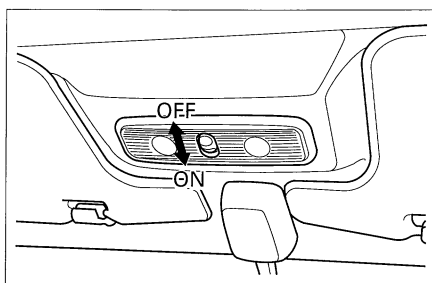


スポットランプ

タイプ別装備

スイッチを“ON”にすると点灯し、“OFF”にすると消灯します。

夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



トランクルーム照明灯

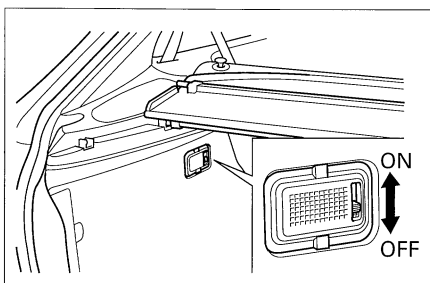
タイプ別装備

“ON”

テールゲートを開いたときのみ点灯します。

“OFF”

テールゲートの開閉に関係なく消灯します。



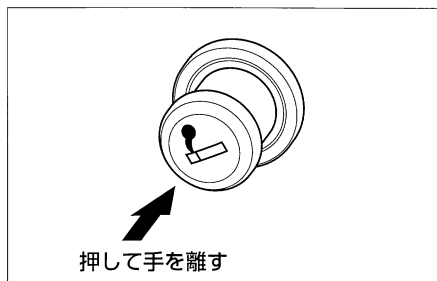


シガレットライター

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときだけ使えます。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。
ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

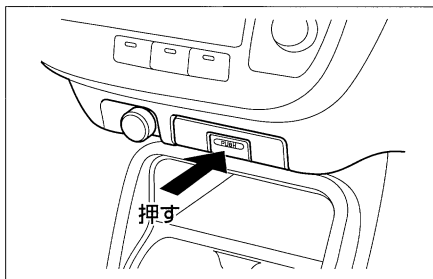
🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ ライターのさし込み口からは、ホンダ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダブリモ店で点検を受けてください。

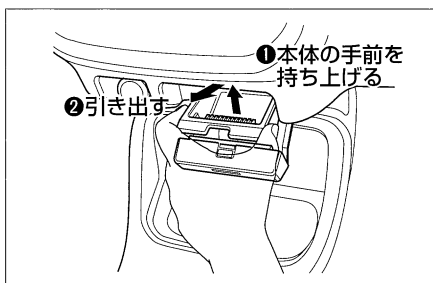
灰皿

●前席用

灰皿は矢印部分を押すと開きます。

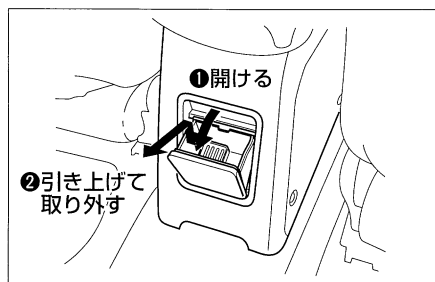


清掃するときは灰皿本体を引き抜けば、取り外すことができます。



●後席用

清掃するときは図の状態を取り外します。



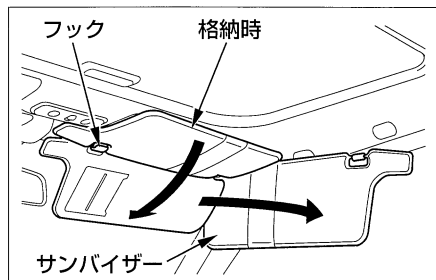
⚠ 注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。



サンバイザー

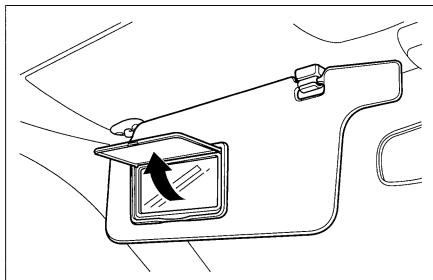
サンバイザーを横にするときには、フックから外して行います。



●バニティミラー(化粧鏡)

タイプ別装備

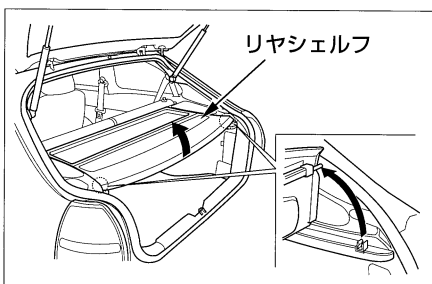
サンバイザーに鏡があります。
お化粧のときなどに便利です。



リヤシェルフ (トランクカバー)

●手荷物の出し入れ

リヤシェルフは後部を引き上げれば開けられます。



⚠ 注意

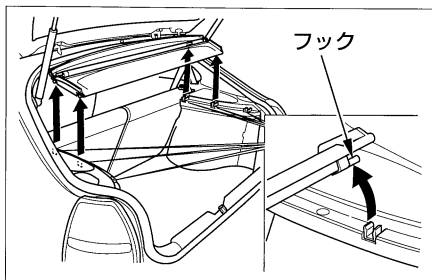
- 走行中は荷物の出し入れはしないでください。
急ブレーキなどのときに思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- リヤシェルフの上に物を置かないでください。
後方視界をさまたげるばかりでなく、急ブレーキなどのときにとび出すおそれがあります。
- テールゲートを閉めるまえに、リヤシェルフが閉まっていることを確認してください。

●取り外し

後部を引き上げてから前部のフックを外し、リヤシェルフを取り外します。

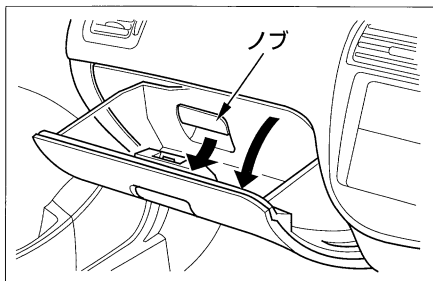




小物入れ

●グローブボックス

ノブを引くと開きます。

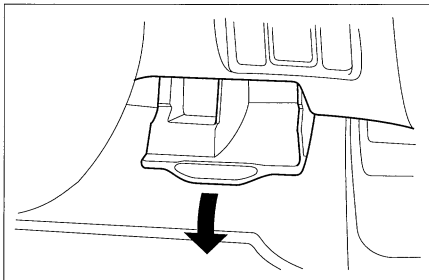


⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

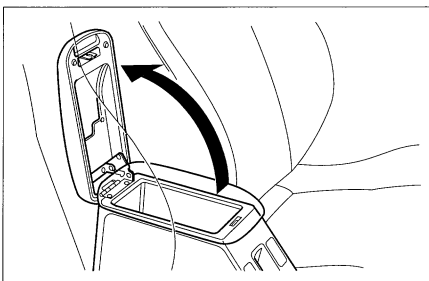
●コインポケット

ポケットの左側は、小銭入れとして使えます。



●コンソールボックス

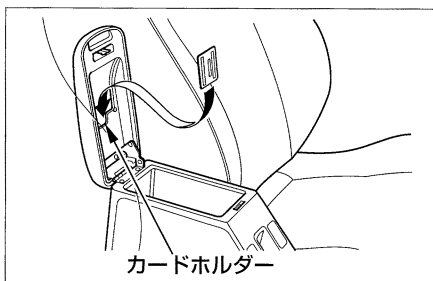
タイプ別装備



カードホルダー

タイプ別装備

コンソールボックスのふたにカードホルダーがあります。

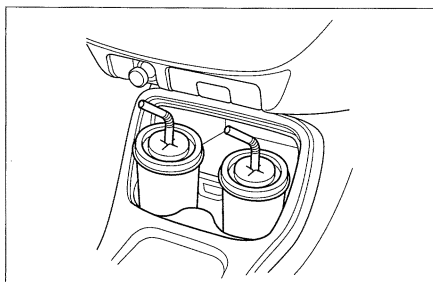


カップホルダー

カップなどを置くときに使います。

知 識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がオーディオ等にかかる、故障の原因となりますので注意してください。



5

万一のとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所	168
工具の種類	169
発炎筒について	169

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき	170
高速道路で故障したとき	170
道路で動けなくなったとき	171
故障の修理について	171

●事故が起きたとき

●けん引

けん引されるとき	
（ロープによるけん引）	174
故障車をけん引するとき	177

●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い	178
応急用スペアタイヤ	180
タイヤ交換	181

●オーバーヒートしたとき

	188
--	-----

●電気系統が異常のとき

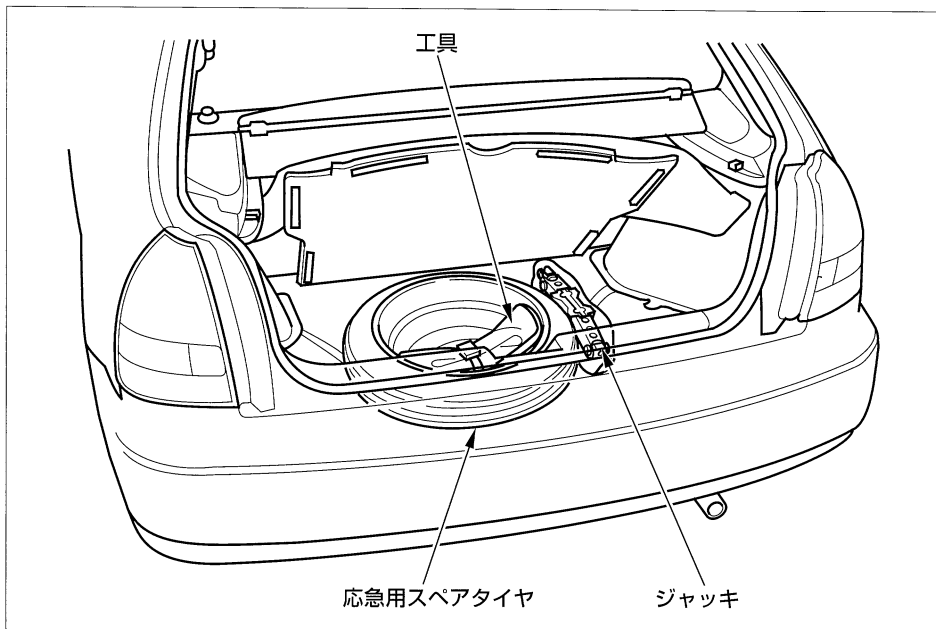
バッテリーあがりのとき	190
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	192
サンルーフが作動しないとき	203

*全国のホンダ販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覧」に記載してあります。

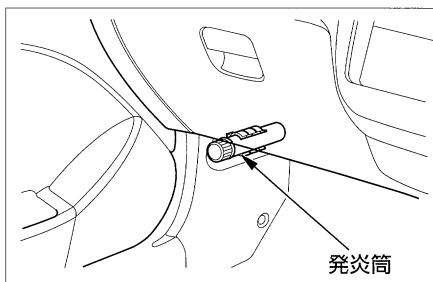
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ



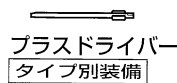
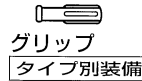
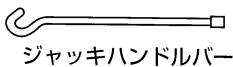
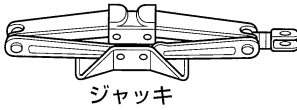
●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類



知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スベアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいもののそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

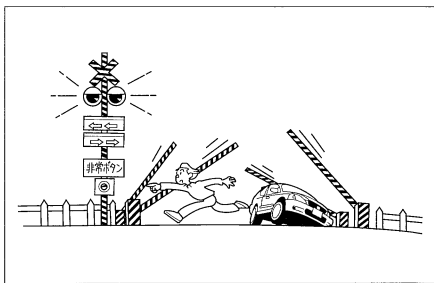
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故やけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けてとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

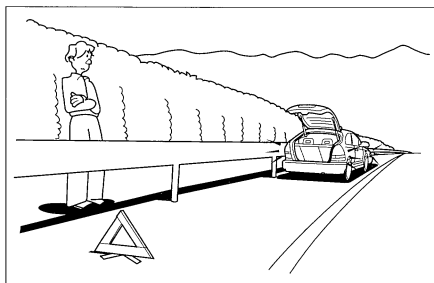
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。

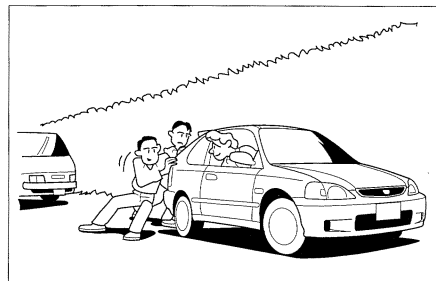


人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



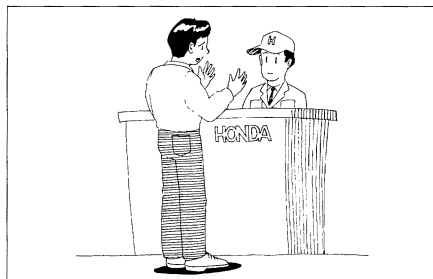
または、マニュアル車の場合は、ギヤを2に入れて、クラッチペダルを踏まずにスターターを回して移動します。

知識

- オートマチック車はスターターを回して車を動かすことはできません。

故障の修理について

ホンダプリモ店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもホンダ販売店へご連絡ください。

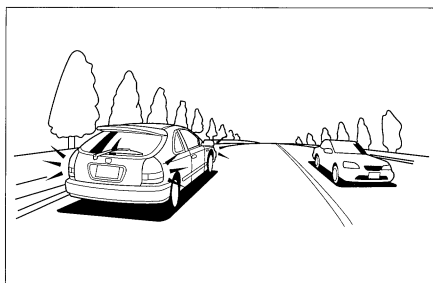
ホンダ販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通のさまたげにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



知 識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。



アドバイス

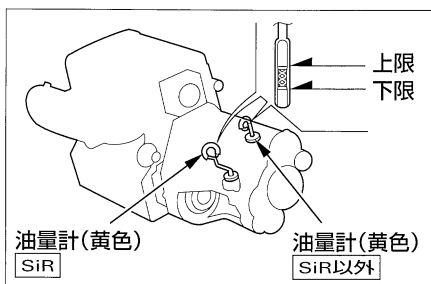
- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

① オートマチック車

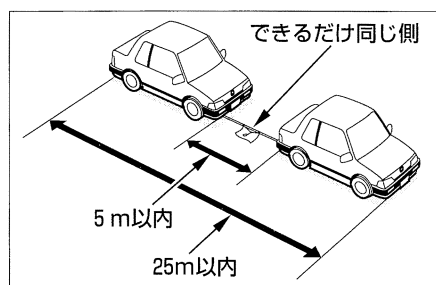
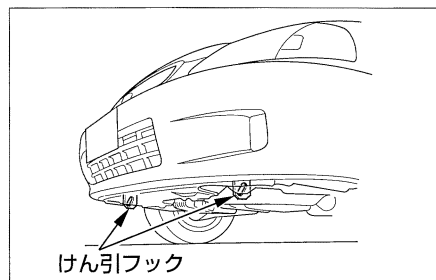
トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。



- ②ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ③チェンジレバーまたはセレクトレバーはN(ニュートラル)に、エンジンスイッチは“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。

- ④パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

⑤ **オートマチック車**

速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。



アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体に当たる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。
そのままけん引されると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。



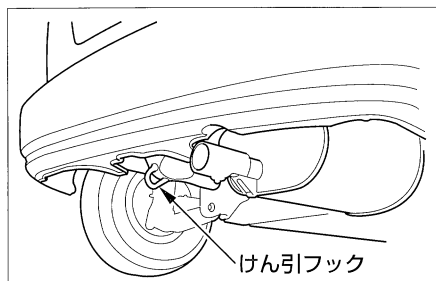
知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - ・マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、自車より重い車のけん引は避けてください。



アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引するときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引すると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

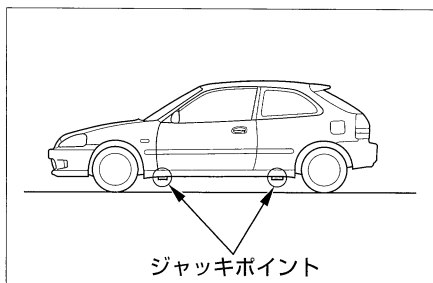
パンクしたとき

ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

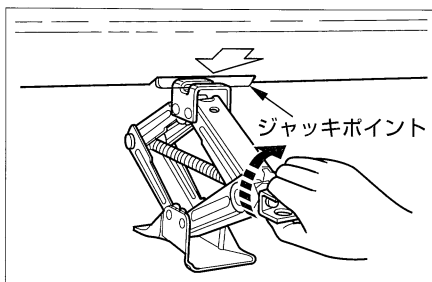
ジャッキをジャッキ袋から取り出します。ジャッキ使用後はジャッキ袋へ入れ、格納します。

●ジャッキをかける位置

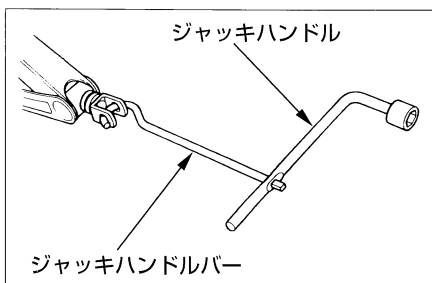


●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。





⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

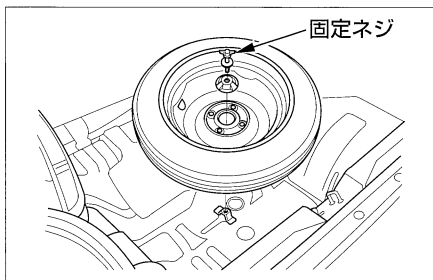
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・ エンジンをかけたままにしない。
 - ・ 地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・ 指定された位置以外にかけない。
 - ・ 人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・ タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓 知識

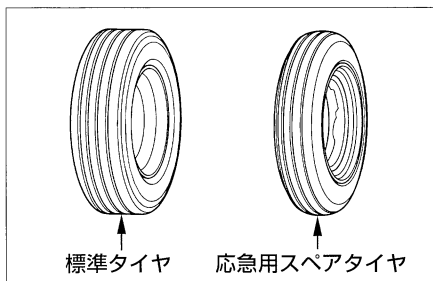
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

応急用スペアタイヤ

固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。



お使いになるときは次のことをお守りください。

知 識

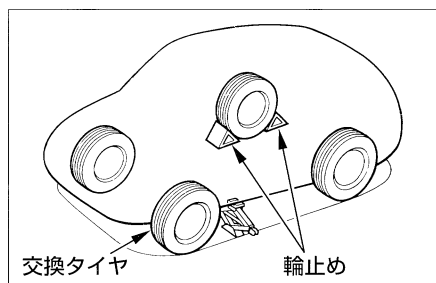
- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。
(指定空気圧：4.2kgf/cm²)
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかけないように注意してください。
(LSD装備車を除く)
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。
- **LSD装備車**
前輪に応急用スペアタイヤを装着しないでください。



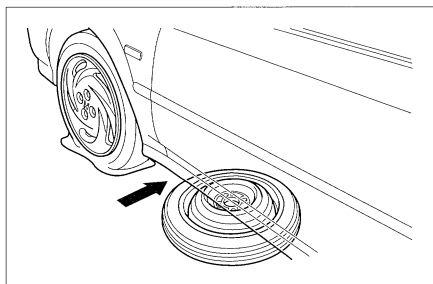
タイヤ交換

1 はじめに

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に停め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



- ③応急用スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。

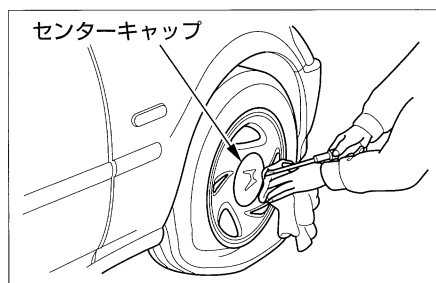


2 ジャッキで車体を上げる

① ジャッキをセットします。

→178ページ

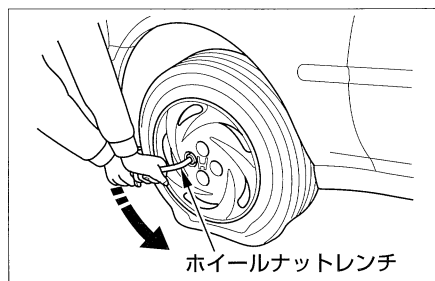
② センターキャップ付きのアルミホイール装備車は、センターキャップを外します。



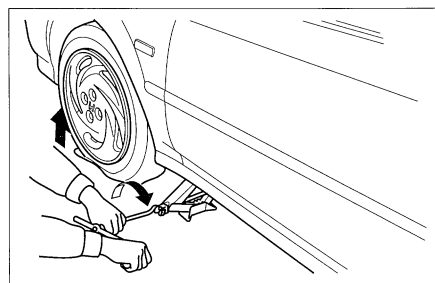
知 識

- ホイールの表面を傷つけないようにドライバーの先端に布等を巻いてください。
- センターキャップを取り外すときは、地面に落ちて傷つかないように手でささえてください。

③ ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。



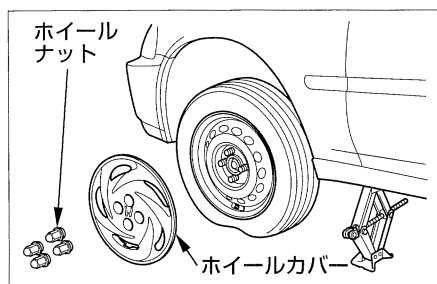
④ タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。





3 タイヤを交換する

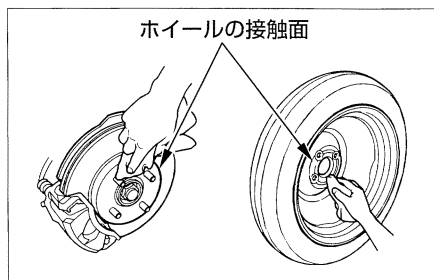
- ① ホイールナット、ホイールカバー(タイプ別装備)を外し、タイヤを外します。



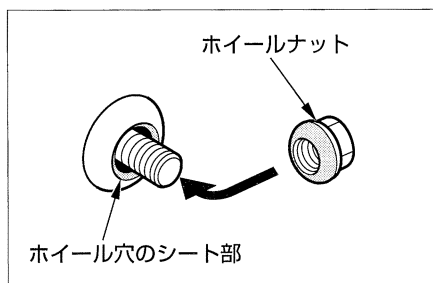
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ② 応急用スペアタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



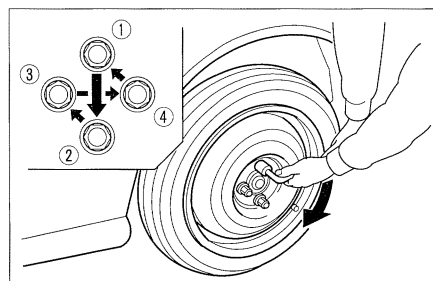
- ③ 応急用スペアタイヤを取り付けます。
④ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めめます。



- ⑤ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

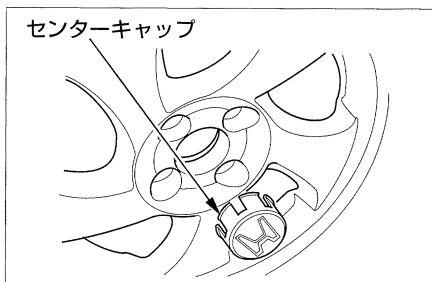
ホイールナット締め付けトルク:

10.0 - 12.0 kgf·m

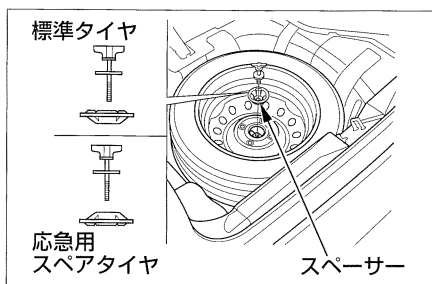


4標準タイヤを収納する

- ①パンクした標準タイヤにセンターキャップが付いているときは、センターキャップを外します。



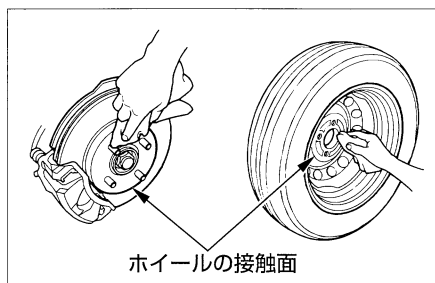
- ②パンクした標準タイヤをしまい、スペーサーを、応急用スペアタイヤを固定していたときとは逆向きにして固定します。





5 標準タイヤを取り付けるときは

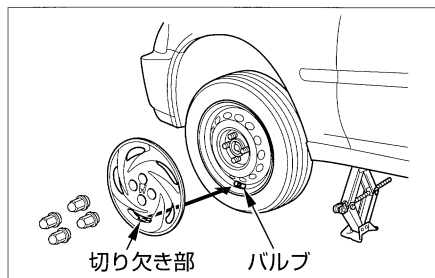
- ①標準タイヤのホイールの接触面のよ
これをふき取ります。



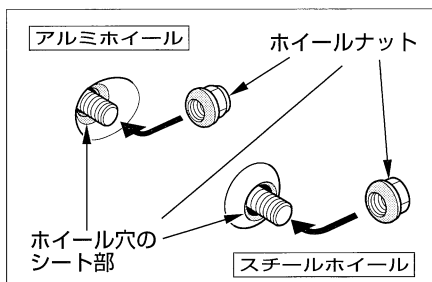
知 識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ②ホイールカバーを取り付けるときは、切り欠き部がバルブの位置にくるようにします。



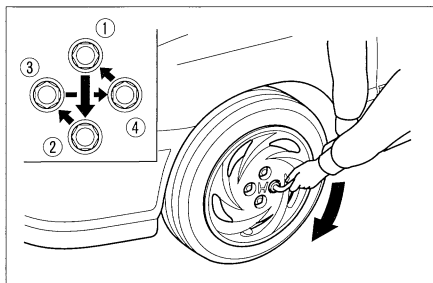
- ③ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ④ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

10.0－12.0 kgf・m



アドバイス

- LSD装備車の前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとLSDに悪影響をあたえます。

知 識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダプリモ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。
トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダプリモ店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。

タイヤの空気圧 →238ページ

● **ホイールカバー装備車**

ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。
ドライバーなどで無理にこじらないでください。

● **アルミホイール装備車**

パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

5. 万一のとき

パンクしたとき



オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計の針が“H”の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

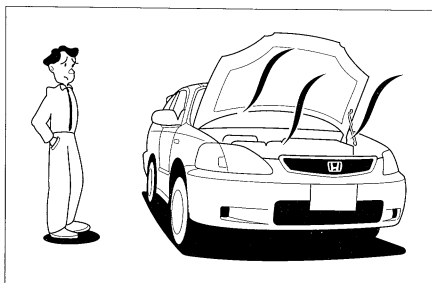
⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 処置のしかた

- ① 車を安全な場所に停めます。
- ② エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。



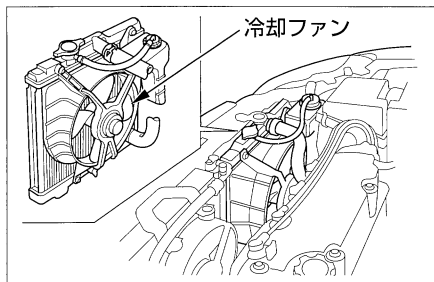
🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなったらボンネットを開け、エンジンをかけてください。



- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。

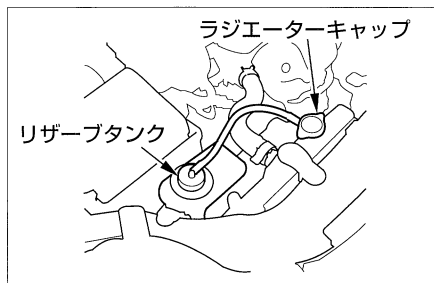
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダプリモ店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

警告

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。



アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。
冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くホンダプリモ店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

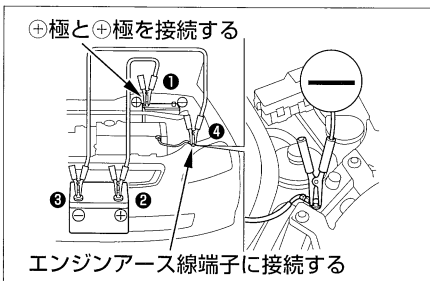
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1 本目

- ①自車のバッテリーの⊕端子
- ②救援車のバッテリーの⊕端子

2 本目

- ③救援車のバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース線端子



②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

③自車のエンジンをかけます。

④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑤ホンダ販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化の進行が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。
また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。

ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

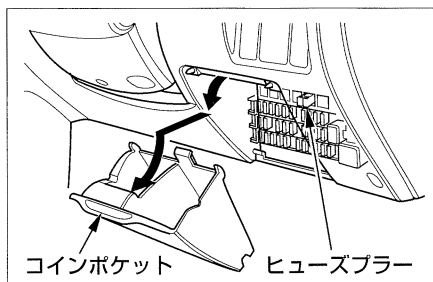
- ① エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ② ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③ 必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

●ヒューズの点検、交換

ヒューズボックスの位置

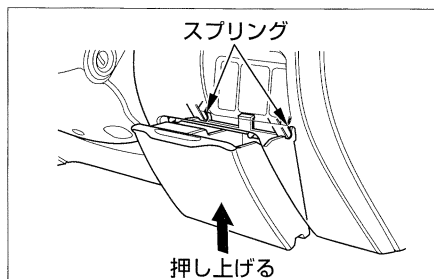
・運転席足元

コインポケットを開け、持ち上げながら手前に引いて取り外します。

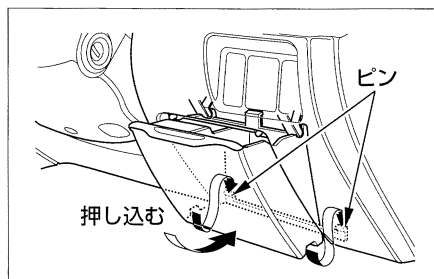


コインポケットを取り付けるときは、次の手順で行います。

- ① スプリングにポケットの溝を合わせて全体を押し上げます。



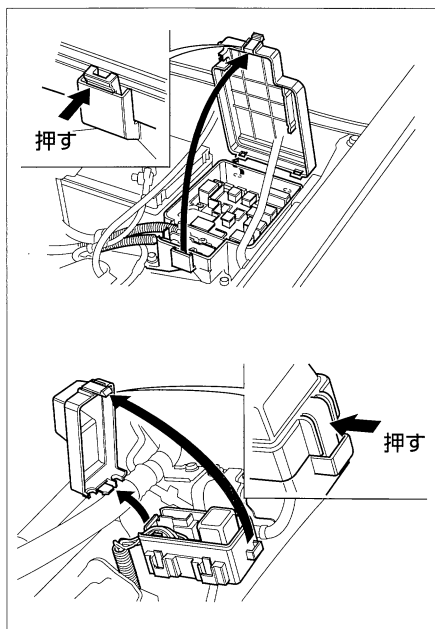
- ② 下側を押し込み、両側のピンをポケットの溝に確実にセットします。



- ③ コインポケットを閉めます。

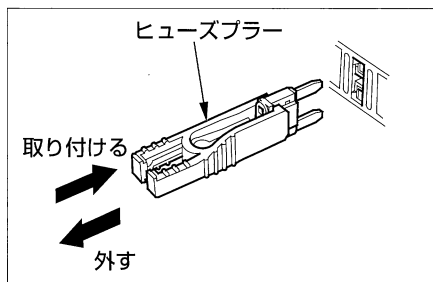


・エンジンルーム内

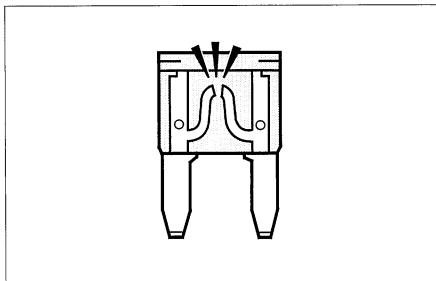


ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。



アドバイス

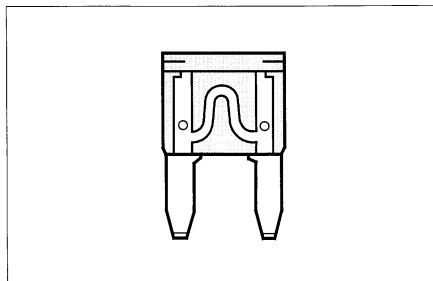
- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。



知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。



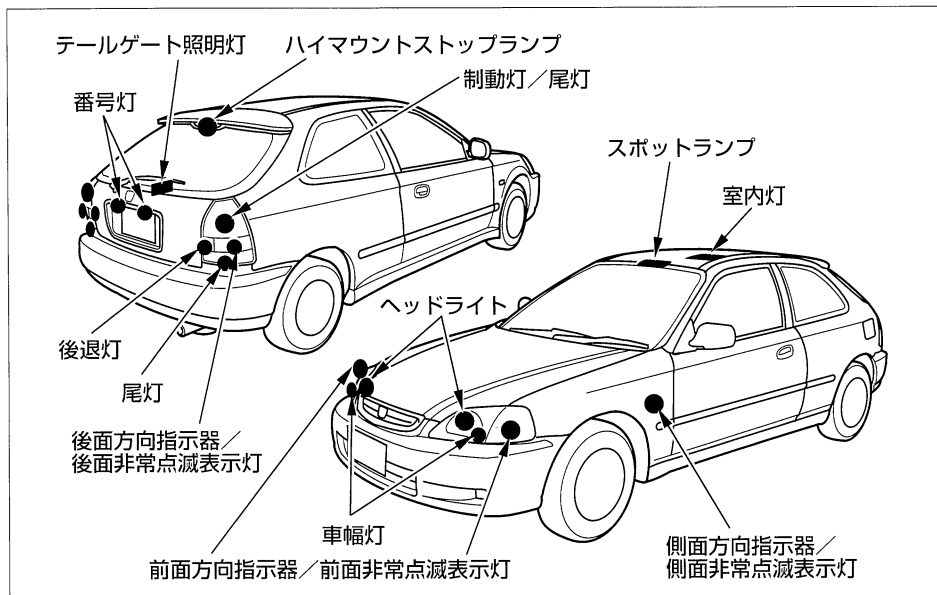
知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダプリモ店で点検を受けてください。



●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。



知 識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。

電球のワット数 →234ページ

- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。

取り扱いには十分に注意してください。

また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。

- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。

- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。

ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、ホンダプリモ店にご相談ください。



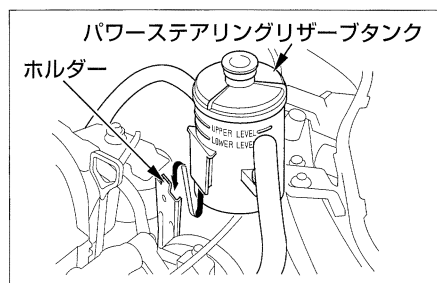
ヘッドライト

ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

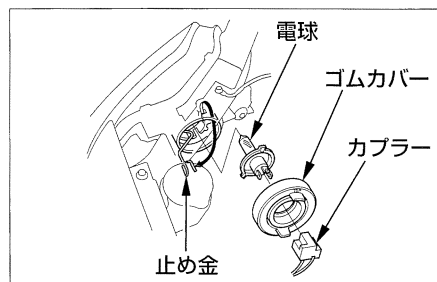
ハロゲンバルブ → 196ページ

・右側

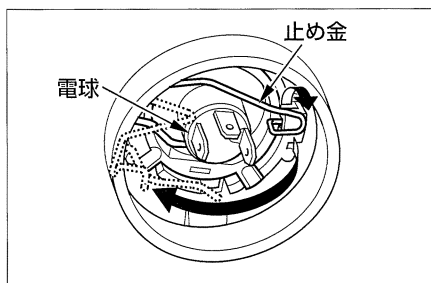
- ① パワーステアリングリザーブタンクをホルダーから外します。



- ② カプラーを抜きます。
- ③ ゴムカバーを外します。

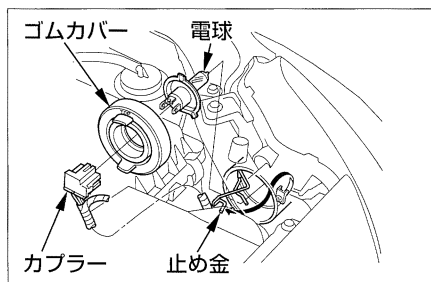


- ④ 止め金を外し、電球を外します。



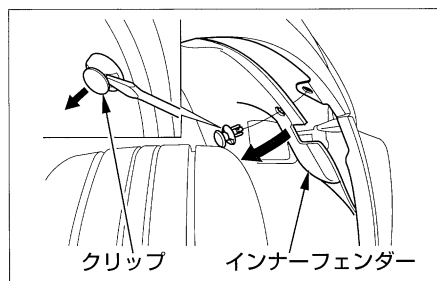
・左側

- ① カプラーを抜きます。
- ② ゴムカバーを外します。
- ③ 止め金を外し、電球を外します。

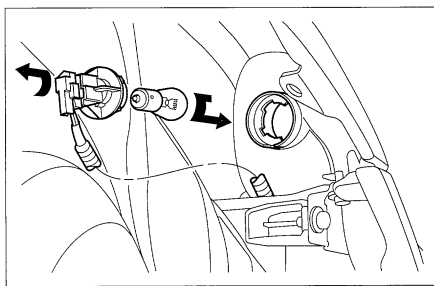


前面方向指示器／前面非常点滅表示灯

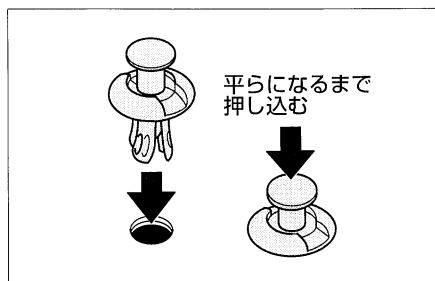
- ①交換する側と反対にハンドルをいっばいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



- ③ソケットを左へ回して外し、電球を押しながら左へ回して抜き取ります。

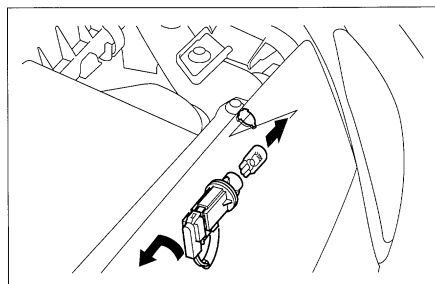


インナーフェンダーを固定するときは、クリップを中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



車幅灯

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

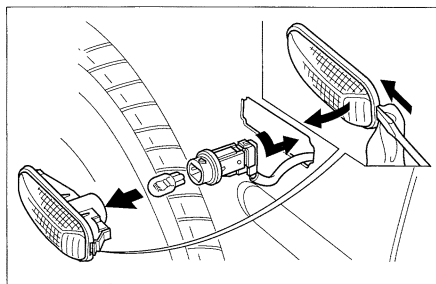




側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

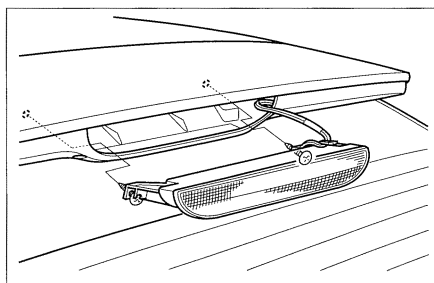
ドライバーの先端に布などを巻き、後方よりスプリングを押しながらランプ本体を外します。

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

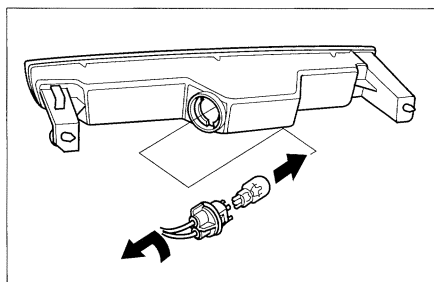


ハイマウントストップランプ

①ネジをゆるめてランプ本体を外します。

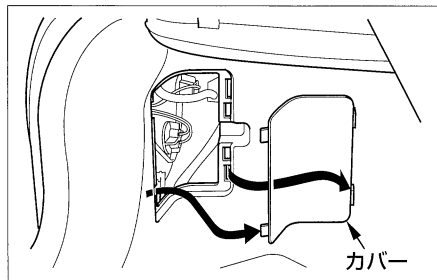


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

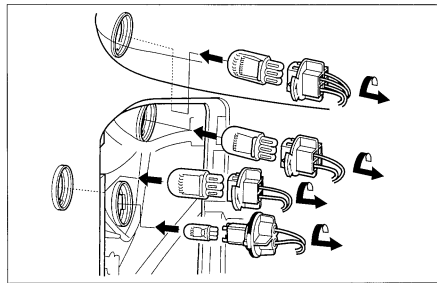


制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、尾灯、後退灯

①カバーを外します。

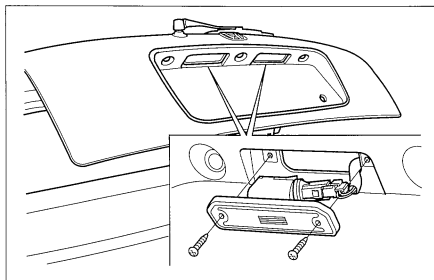


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

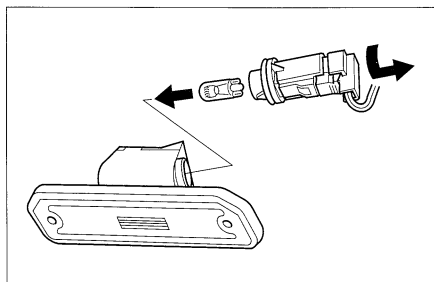


番号灯

①ネジを外し、ランプ本体を外します。

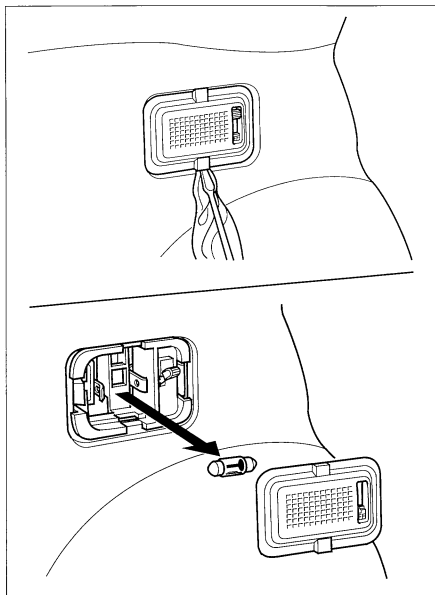


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

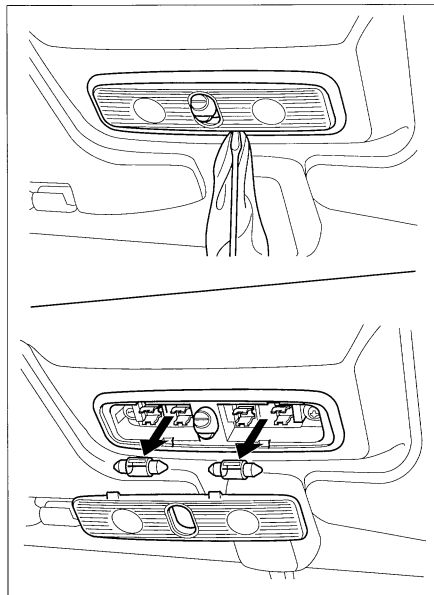


**トランクルーム照明灯****タイプ別装備**

レンズを外し、電球を抜き取ります。

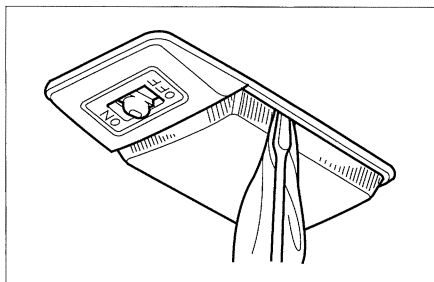
**スポットランプ****タイプ別装備**

レンズを外し、電球を抜き取ります。



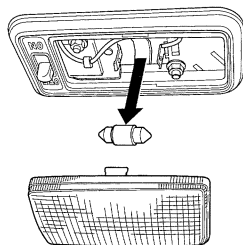
室内灯

①レンズを外します。

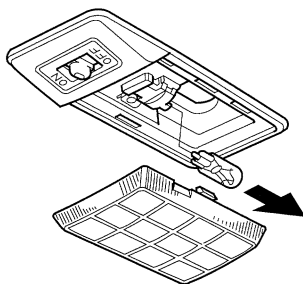


②電球を抜き取ります。

サンルーフ装備車



サンルーフ非装備車

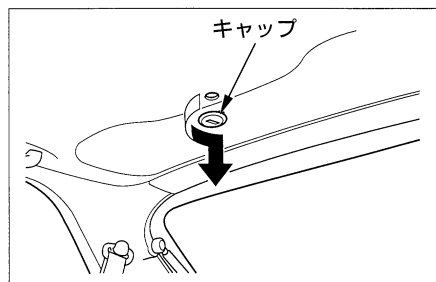


**サンルーフが作動しないとき****サンルーフ装備車**

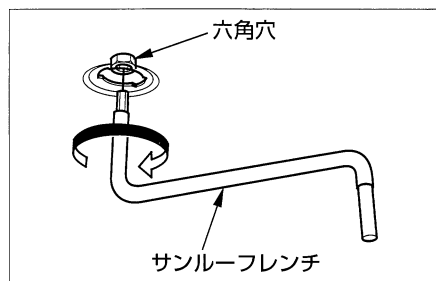
万一、電動でサンルーフが閉まらなくなった場合は、応急処置として工具袋内のサンルーフレンチを使って閉めてください。

工具 →169ページ

- ①後席ルーフ中央のキャップをコインなどで回し、キャップの溝が図のように前後を向いたところで取り外します。



- ②六角穴にサンルーフレンチを差し込んで回します。

**知 識**

- サンルーフが閉まった後もレンチを回し続けるとサンルーフ後部が持ち上がりますので、そのときはレンチを反対方向に回して正しい位置まで戻してください。
- 応急処置後はホンダプリモ店で点検を受けてください。

6

車の手入れ

●点検・整備について……206

●日常の手入れ

外装の手入れ……209

内装の手入れ……211

タイヤについて……212

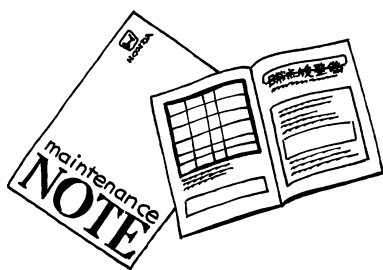
アルミホイールについて……214

●車にあった部品の使用……216

点検・整備について

車は走行するにしたがい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー（運転者）は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



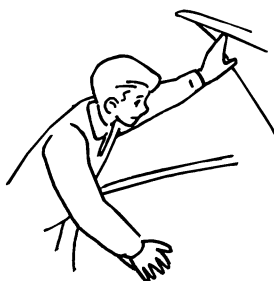
詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、ホンダが指定するものがあります。



その他

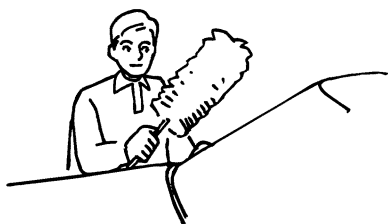
新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



日常の手入れ

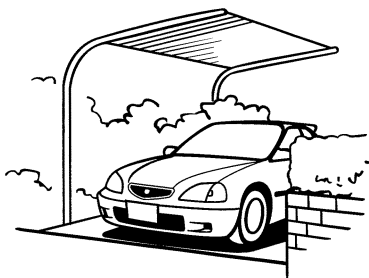
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、ホンダ純正ケミカル用品をお使いください。



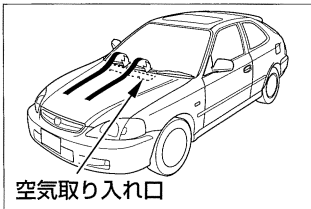


外装の手入れ

●洗車のしかた

- ・十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- ・塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- ・汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- ・水が乾かないうちに拭き取ります。

- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

- ・アンテナやドアミラーを格納して洗車してください。
- ・ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。

塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●樹脂塗装部品

(バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダプリモ店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



内装の手入れ

- ① 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ② 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③ 直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 室内に水をかけないでください。電気部品に水がかかると故障の原因となります。



● 液体芳香剤、

レザークリーナーについて

液体芳香剤、レザークリーナーはその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。
芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。
- レザークリーナーを使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。
また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。
コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

- 摩耗限度を超えたタイヤ
- 指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの空気圧

→238ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。

空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。

- LSD装備車の前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとLSDに悪影響を与えます。

摩耗限界表示

(ウェアインジケーター)

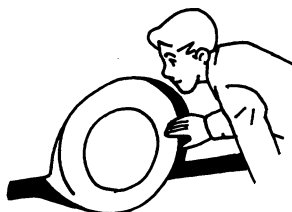
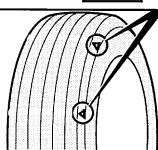
ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です



ウェアインジケーターが表れたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換



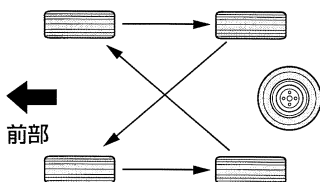


●位置交換 (タイヤローテーション)

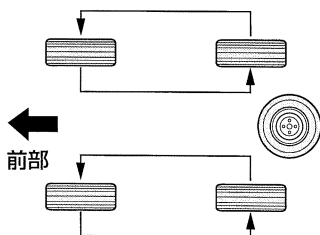
5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

- 同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

回転方向が指定されていない
タイヤの場合



回転方向が指定されている
タイヤの場合



- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。

- 185/65R14 86H

195/55R15 84V

のタイヤ装着車

前輪と後輪でタイヤの空気圧が異なるので、位置交換後は必ず空気圧を調整してください。

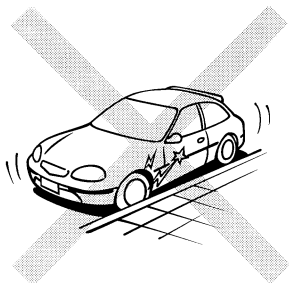
タイヤの空気圧 →238ページ

アルミホイール について

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダプリモ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはホンダ純正のアルミホイール専用品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹸や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きのもの）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

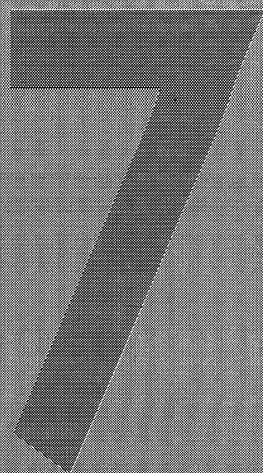
車の性能、品質を維持するために、ホンダ車に最も適したホンダ純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、ホンダプリモ店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



- ホンダ純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。



車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	218
運転するとき	220
駐車するとき	225
冬期の手入れ	226

●こんなときは

雨の日の運転	228
夏場の取り扱い	230
経済走行のために	231

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげとなり危険です。走行するまえに取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。

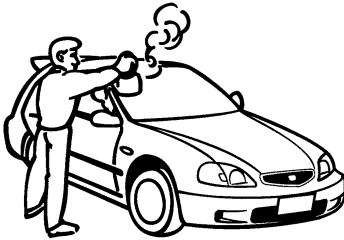


●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。

- ・ 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

チェーンサイズ →222ページ

タイヤチェーンの取り付けかた

→223ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなることがあります。

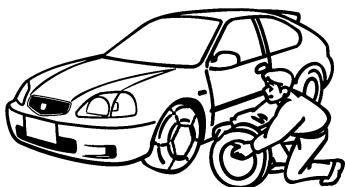
ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪につけてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



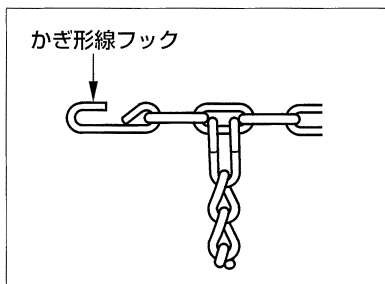
●タイヤチェーンのつけかた

チェーンサイズ

お求めはホンダプリモ店へお申し付けください。

タイヤサイズ	適合チェーンサイズ
175/70R13 82S	スチールチェーン 45181(新JIS)
185/70R13 86S	スチールチェーン 45191(新JIS)
185/65R14 86H 195/60R14 86H 195/55R15 84V	ホンダ純正スーパー グリップチェーン または同等品

スチールチェーンは内側のフック形状が、かぎ形線フックのものをお使いください。



- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。

推奨タイヤチェーン以外のものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

- 185/65R14 86H
195/60R14 86H
195/55R15 84V
のタイヤ装着車

スチールチェーンを装着すると、フェンダーやホイール表面を傷つけるおそれがあります。



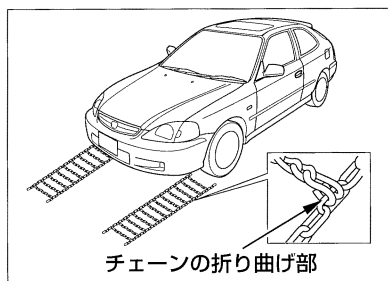
標準的なタイヤチェーンの 取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の前輪に装着してください。

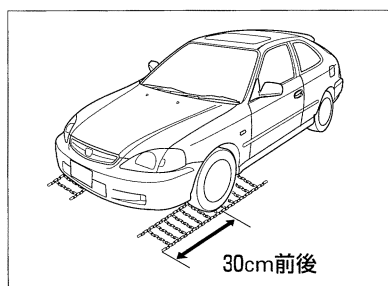
- スチールチェーン以外のタイヤチェーンをご使用になる場合は、タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

①前輪を直進状態にします。

②チェーンの折り曲げ部が下側になるようにしてチェーンを前輪のすぐ前に敷きます。

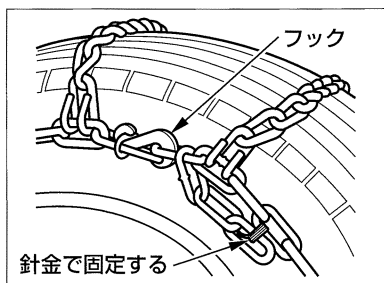


③先端のフックから30cm前後の位置まで前輪を移動させます。

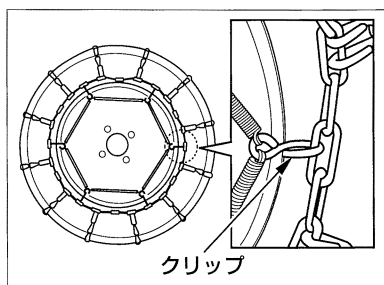


④チェーンをタイヤにまきつけていっぱい引き、内側のフックを先に連結して次に外側のフックを連結します。

⑤連結してチェーンが余った場合は、ボディなどに当たるのを防ぐために針金で固定します。



⑥チェーンバンドのクリップを外向きにしてチェーンをいっぱいに張ります。



⑦試走してチェーンのゆるみ、はずれなどがいないかを確認します。

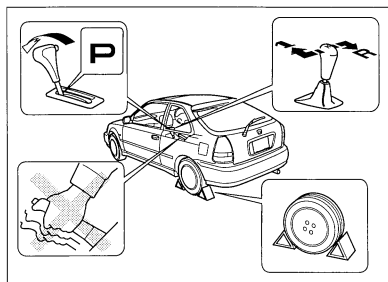


駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車はPに入れます。

石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

●エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。

・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。

●落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。

・車の屋根などがへこむことがあります。

●ワイパーアームは起こしてください。

・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

●長期間使わないで屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠ 注意

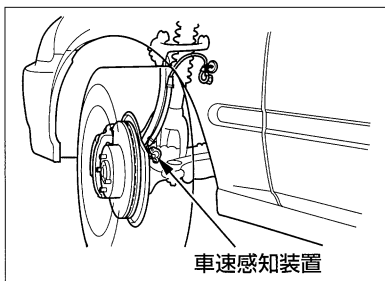
●格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。

そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- ・フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- ・積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

	濃度	凍結温度
寒冷地(冬期)	50%	約 -35°C
通常	35%	約 -20°C

・新車時は35%(寒冷地仕様車は50%)になっています。

(寒冷地仕様車は、エンジンルームに寒冷地仕様のラベルが貼ってあります。)

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダブリモ店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。



●**ガラスの曇りをとりたいとき**
ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

●**ガラスの油膜をとりたいとき**
油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。
ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

●**ワイパーのふきむらがあるとき**
ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界のさまたげとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。

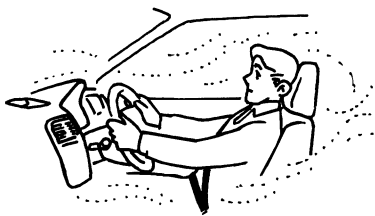


夏場の 取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- ・冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- ・室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- ・エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

- この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。
補充・交換が必要な場合は、ホンダブリモ店にご相談ください。



●炎天下に駐車するときは

- ・ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- ・走行中、水温計の針が“H”の目盛に入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→188ページ

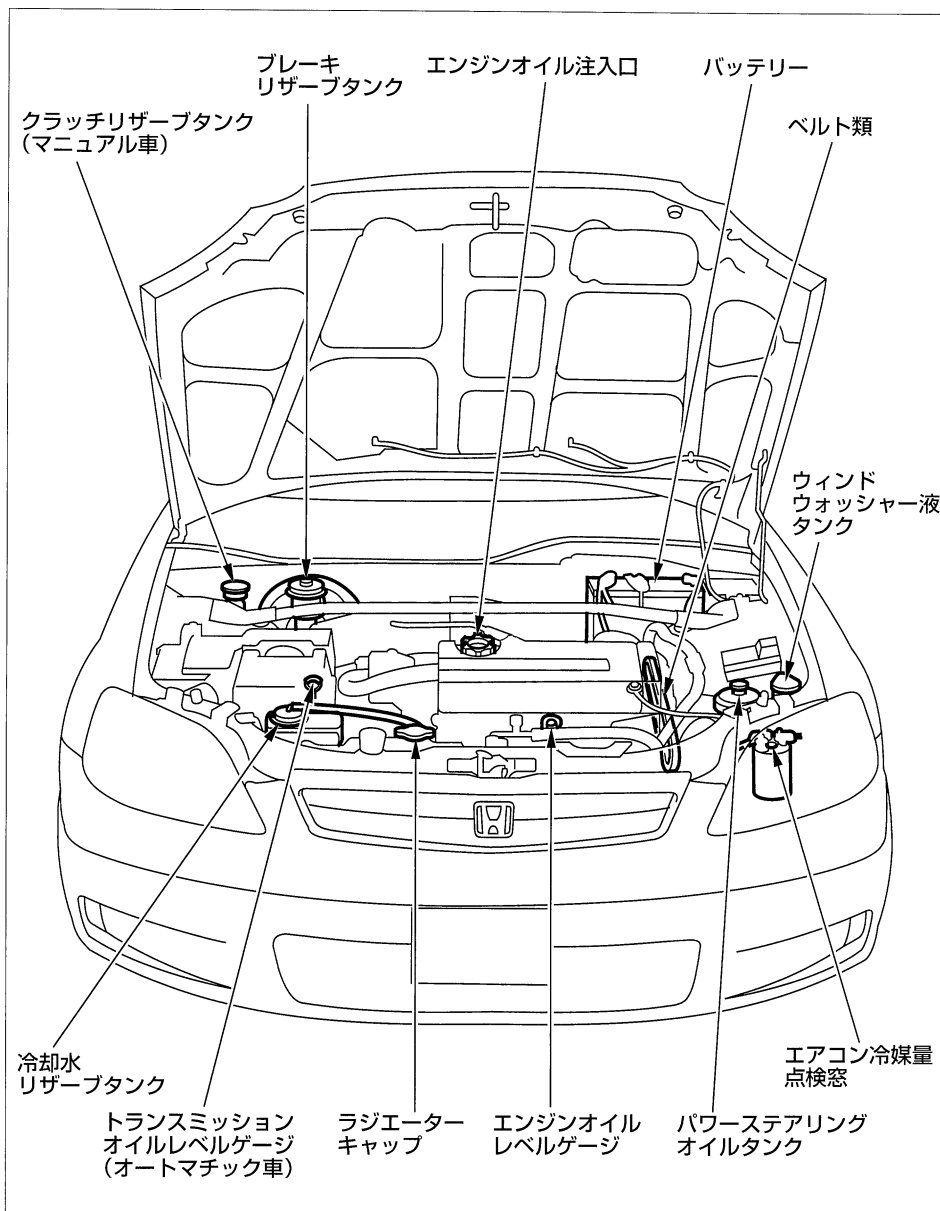


経済走行の ために

- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- マニュアル車のチェンジレバーの操作は、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでから確実に行ってください。
 - ・クラッチペダルの足のせ運転、半クラッチの連続使用はしないでください。
- 点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適性にしましょう。
- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 駐車時にはエンジンを止めましょう。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分にとり、不必要なブレーキをかけないようにしましょう。
- トランクルームには不必要な荷物は載せないようにしましょう。



サービスデータ



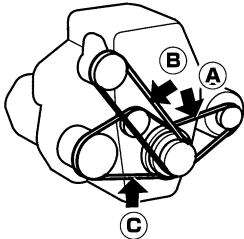
点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
点 火 プ ラ グ※1	タ イ プ	EL	NGK	BKR5E-11 BKR6E-11
			DENSO	K16PR-U11 K20PR-U11
		Ri※2	NGK	ZFR5J-11
			DENSO	KJ16CR-L11
		VTi※2	NGK	ZFR6J-11
			DENSO	KJ20CR-L11
		SiR	NGK	BKR6E-N11 BKR7E-N11
			DENSO	K20PR-L11 K22PR-L11
		電 極 の す き 間 1.0－1.1 mm		

 内は標準装備

※ 1：ISO(国際標準化機構)規格品を使用しています。のマークがついています。

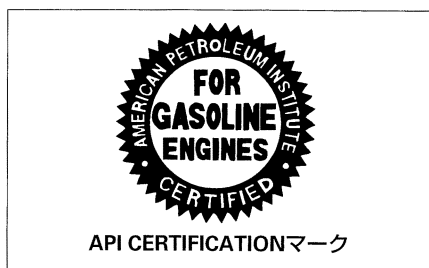
※ 2：突出しタイプのプラグを使用しています。のマークがついています。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量			
	①:発電機ベルト ②:パワーステアリングベルト ③:エアコンディショナーベルト		
	発 電 機 ベ ル ト	EL、Ri、VTi SiR	8.0－10.5 mm(約10kgの力) 7.0－10.5 mm(約10kgの力)
	パワーステアリング ベ ル ト	EL、Ri、VTi SiR	10.5－14.0 mm(約10kgの力) 7.5－11.0 mm(約10kgの力)
		エアコンディショナー ベ ル ト	EL、Ri、VTi SiR
	遊 び		1－5 mm
ブレーキペダル	床板とのすき間	マニュアル オートマチック	114 mm 以上(約20kgの力) 118 mm 以上(約20kgの力)
	カーペットとのすき間 (参考値)	マニュアル オートマチック	86 mm 以上(約20kgの力) 90 mm 以上(約20kgの力)
		遊 び	12－21 mm
	クラッチペダル	床板とのすき間	78 mm以上(クラッチが切れたとき)
カーペットとのすき間 (参考値)		47 mm以上(クラッチが切れたとき)	
パーキングブレーキ		引 き し ろ	6－9 回(約20kgの力)
バ ッ テ リ ー	容 量 / タ イ プ	36AH(5)／55B24R	
電 球 (バ ル ブ)	W(ワット)／C P (キャンドルパワー)数 [C P (キャンドル パワー) :光度の単位]	ヘッドライト(ハロゲンバルブ)・・・12V－60/55W	
		前面方向指示器／前面非常点滅表示灯・・12V－21W	
		車幅灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・12V－5W	
		側面方向指示器／側面非常点滅表示灯・・12V－5W	
		後面方向指示器／後面非常点滅表示灯・・12V－21W	
		番号灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・12V－5W	
		尾灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・12V－5W	
		制動灯／尾灯・・・・・・・・・・12V－21/5W	
		ハイマウントストップランプ・・12V－21CP(18W)	
		後退灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・12V－21W	
		室内灯(サンルーフ非装備車)・・12V－5W (サンルーフ装備車)・・・・12V－8W	
		スポットランプ・・・・・・・・・・12V－5W	
トランクルーム照明灯・・・・・・12V－3.4W			

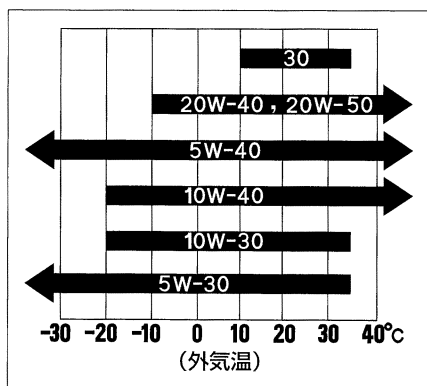
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
エアクリーナー エ レ メ ン ト	タ イ プ	湿式		
エンジンオイル	推 奨 オ イ ル	ホンダ純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラSG(SG級SAE 10W-30) ウルトラSUPER MILD SJ(API SJ/GF-2級SAE 10W-30) ウルトラLTD XJ(API SJ/GF-2級SAE 5W-30) ウルトラGOLD XJ(API SJ級SAE 5W-40)		
		オイル交換時	EL、Ri	3.3 ℓ
			VTi	3.0 ℓ
			SiR	3.7 ℓ
	規 定 量	オイル、オイルフィル ター同時交換時	EL、Ri	3.6 ℓ
			VTi	3.3 ℓ
			SiR	4.0 ℓ

推奨エンジンオイル

ホンダ純正エンジンオイルまたはAPI S G 級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



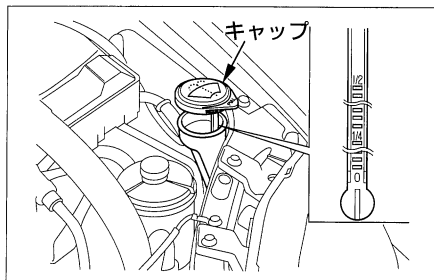
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
燃 料	使 用 燃 料	無鉛ガソリン SiRタイプは無鉛プレミアムガソリン(無鉛ハイオク)仕様車です		
	タ ン ク 容 量	45 ℓ		
トランスミッション オ イ ル	推 奨 オ イ ル	マニュアル	ホンダ純正オイルウルトラMTF-II	
	指 定 液	オートマチック	ホンダ純正ウルトラATF	
	規 定 量	マニュアル (交換時)	EL、Ri、VTi	1.8 ℓ
			SiR	2.2 ℓ
		オートマチック (交換時)	EL	2.4 ℓ
			Ri、VTi	3.9 ℓ
冷 却 水	指 定 液	ホンダ純正ウルトララジエーター液		
	規 定 濃 度	35%(通常) 50%(寒冷地)		
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.4ℓ含む)	マニュアル (交換時)	EL、Ri、VTi	3.1 ℓ
			SiR	4.3 ℓ
		オートマチック (交換時)	EL	3.0 ℓ
			Ri、VTi	3.2 ℓ
ブ レ ー キ 液	指 定 液	ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4		
ク ラ ッ チ 液	指 定 液	ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4		
パワーステアリング液	指 定 液	ホンダ純正ウルトラパワーステアリングフルード-Vまたは-II		
ウ ョ ッ シャ ー 液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ		

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



EL、Ri

項 目 タイヤサイズ		タイヤ空気圧 (空車時：kgf/cm ²)		リムサイズ [※]	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
標準タイヤ	175/70R13 82S	2.2	2.2	13×5J	13×5J
応急用スベアタイヤ	T115/70D14 88M	4.2		14×4T	

VTi

項 目 タイヤサイズ		タイヤ空気圧 (空車時：kgf/cm ²)		リムサイズ [※]	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
標準タイヤ	185/70R13 86S	1.9	1.9	13×5J	13×5J
	185/65R14 86H	2.1	2.0	14×5J	14×5½JJ
応急用スベアタイヤ	T125/70D14 93M	4.2		14×4T	

SiR

項 目 タイヤサイズ		タイヤ空気圧 (空車時：kgf/cm ²)		リムサイズ [※]	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
標準タイヤ	195/60R14 86H	2.0	2.0	14×5½JJ	14×5½JJ
	195/55R15 84V	2.2	2.1	15×5½JJ	15×6JJ
応急用スベアタイヤ	T125/70D14 93M	4.2		14×4T	
	*T135/70D15 99M			15×4T	

* :LSD装備車

タイヤの溝の深さ	1.6 mm以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000kmごと

※：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずホンダプリモ店にご相談ください。

名称	型式	エンジン型式	排気量 (cm³)	車体形状	乗車定員 (人)	タイプ
シビック	GF-EK2	D13B	1,343	2 ドア ハッチバック	5	EL
	GF-EK3	D15B	1,493			Ri
	GF-EK4	B16A	1,595		4	SiR

ア

アッパーベンチレーション	122
雨の日の運転	228
アルミホイール	214
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
警告灯	115
装置について	114
取り扱いについて	115
アンテナ	138

イ

イグニッション(エンジン)	
キー	30
スイッチ	76
Eモード	92

ウ

ウィンカー	
スイッチ	79
電球の交換	198・199・200
表示灯	68
ウィンドー	40
ウォークイン機構	48
ウォッシュ液	
スイッチ	81
タンクの容量	236
冬期の手入れ	227
運転のしかた	84

エ

エアコン	120
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ	
	140・150
LSD(リミテッドスリップデフ)	116
SRSエアバッグシステム	
お子さまを乗せるときは	111
警告灯	113
装置について	106
取り扱いについて	112
Sモード	92
エンジンオイル	
オイル量	235
冬期の手入れ	226
エンジンキー(キー)	30
エンジンスイッチ	76
エンジンのかけかた	84
エンジンブレーキ	16

オ

応急用スペアタイヤ	
格納場所	168
空気圧	238
サイズ	238
スペアタイヤについて	180
オーディオ	136
オートエアコン	124
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	97
オイル	236
セレクトレバー	90・94
マルチマチック	18・90
オーバーヒートしたとき	188
オドメーター	65
温度感知装置	129

カ

カードホルダー	166
外装の手入れ	209
カップホルダー	166
換気	13
寒冷時の取り扱い	218

キ

キー	30
キー抜き忘れ警告ブザー	77
キックダウン	18

ク

曇り取り(デフロスター)	128・133
クリープ現象	18
車にあった部品の使用	216
グローブボックス	165

ケ

警告灯	
警告灯類	70
電球切れの点検	75
経済走行	231
けん引	
けん引されるとき	174
故障車をけん引するとき	177

コ

コインポケット	165
工具(ツール)	
格納場所	168
種類	169
高速道路で故障したとき	170
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	200
故障したとき	170
故障の修理について	171
小物入れ	165
コンソールボックス	165

サ

サービスデータ	232
サンシェード(遮光板)	42
サンバイザー	163
サンルーフ	
作動しないとき	203
操作	42

シ

シート	46・49
シートベルト	54
警告灯	74
シガレットライター	161
事故が起きたとき	172
室内灯(ルームランプ)	
使いかた	160
電球の交換	202
シフトロック装置	21・90・94・99
霜取り・曇り止め	128・133
ジャッキの取り扱い	178
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	198
充電警告灯	73
樹脂塗装部品	210
ジュニアシート	14・56・57
純正部品	216

ス

水温計	65
スイッチの使いかた	76
スノータイヤ(冬期タイヤ)	220
スパークプラグ(点火プラグ)	233
スピードメーター	65
スペアタイヤ	
格納場所	168
空気圧	238
サイズ	238
スペアタイヤについて	180
スポットランプ	
使いかた	160
電球の交換	201

セ

制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	200
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	220
運転するまえ	218
駐車するとき	225
冬期の手入れ	226
セレクトレバー	
操作	90・94
ポジション表示灯	68
洗車	209
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	79
上向き表示灯	68
追い越し合図(パッシング)	79
スイッチ	78
電球の交換	197
W(ワット)数	234

ソ

速度計	65
速度範囲	88・96
その他の安全装備	117

タ

タイヤ

位置交換(ローテーション)	213
応急用スペアタイヤ	180
空気圧	238
交換	181
サイズ	238
スノータイヤ	220
チェーン	222
タコメーター	65

チ

チェーン	222
チェンジレバーの操作	88
チャイルドシート	14・56・57
チャイルドシート固定機構	60
駐車	
坂道	23
積雪・寒冷時の取り扱い	225
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	72
積雪・寒冷時の取り扱い	225
操作	86
チルトステアリング	50

テ

テールゲート

開閉	36
開閉警告灯	74
デフロスター	128・133
点火プラグ	233
電気系統が異常のとき	190
電気装置が作動しないとき	192
電球(バルブ)	
交換	195
W(ワット)数	234
点検・整備について	206
電動リモコンドアミラー	53

ト

ドア

開閉警告灯	74
施錠・解錠	30
積雪・寒冷時の取り扱い	219
ドアミラー	52
冬期の手入れ	226
道路で動けなくなったとき	171
トランクルーム照明灯	
使いかた	160
電球の交換	201
トランスミッション	
オイルの容量	236
警告灯	74
トリップメーター	65

ナ

内装の手入れ	211
夏場の取り扱い	230

ネ

燃料(ガソリン)	
使用燃料	38・236
タンク容量	38・236
燃料計	65
燃料残量警告灯	74
補給口	38

ハ

パーキングブレーキ	
警告灯	72
積雪・寒冷時の取り扱い	225
操作	86
灰皿	162
ハイドロブレーニング現象	228
ハイビーム表示灯	68
ハイマウントストップランプ	
電球の交換	199
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	80
電球の交換	198・199・200
発炎筒	
格納場所	168
発炎筒について	169
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	51
バッテリー	
冬期の手入れ	226
バッテリーあがり	190
容量	234
バニティミラー(化粧鏡)	163
パワーウィンドー	40
パワードアロック(オートドアロック)	30
パンク	
積雪・寒冷時の取り扱い	221
パンクしたとき	178
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	200

ヒ

PGM-FI警告灯	73
ヒーター・マニュアル式エアコン	130
吹き出し風の調節	121
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	80
電球の交換	198・199・200
尾灯	
電球の交換	200
ヒューズ	192
表示灯	66

フ

吹き出し風の調節	121
踏切で動けなくなったとき	170
フューエルリッド	39
プラグ	233
ブレーキ	
警告灯	72
積雪・寒冷時の取り扱い	221
倍力装置	16
フロントシート	46

ヘ

ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	79
上向き表示灯	68
追い越し合図(パッシング)	79
スイッチ	78
電球の交換	197
W(ワット)数	234
ヘッドレスト	47
ベビーシート	14・56・57

ホ

ホーンスイッチ	83
ホイールサイズ	238
芳香剤	211
方向指示器	
スイッチ	79
電球の交換	198・199・200
表示灯	68
ボンネット	34
ホンダマルチマチック	18・90

マ

マルチマチック	18・90
万ーのとき	167

ミ

ミラー	
ドアミラー	52
ルームミラー	51

ム

無線装置	25
------------	----

メ

メーター(計器類)	64
-----------------	----

ユ

油圧警告灯	72
-------------	----

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー	78
ライトスイッチ	78
ライト類が点灯しないとき	192

リ

リミテッドスリップデフ(LSD)	116
リムサイズ	238
リモートコントロールドアミラー	53
リヤシート	49
リヤシェルフ	164
リヤデフロスター	82

ル

ルームミラー(防眩式室内後写鏡)	51
------------------------	----

レ

冷却水(ラジエーター液)	
水量	236
冬期の手入れ	227
レザークリーナー	211

ワ

ワイパー
 スイッチ 80
 積雪・寒冷時の取り扱い 219・225
ワックスかけ 210

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	114
ABSのしくみ	114
警告灯	115
取り扱いについて	115
A/C(エアコン)	
アッパーベンチレーション	122
オートエアコン	124
ヒーター・マニュアル式エアコン	130
吹き出し風の調節	121
ベルト	234
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	97
オイル	236
セレクトレバー	90・94
マルチマチック	18・90

E

ECONO表示灯	69
Eモード(マルチマチック)	
モードの切り換え	92
表示灯	69

H

HFC-134a(エアコン冷媒)	230
------------------	-----

I

INT(間欠ワイパー)	80
-------------	----

L

LSD(リミテッドスリップデフ)	
LSDのしくみ	116
取り扱いについて	116

M

MT(マニュアルトランスミッション)	
オイル	236
チェンジレバー	88

P

PGM-FI警告灯	73
PRESS(シートベルトバックル)	58

S

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムのしくみ	106
お子さまを乗せるときは	111
警告灯	113
取り扱いについて	112

Sモード(マルチマチック)

モードの切り換え	92
表示灯	69

W

W数(ライト類の電球のワット数)	234
------------------	-----

お問い合わせ、ご相談は、お買い求めのプリモ店もしくは全国共通のフリーダイヤルまたは直通電話で下記のお客様相談センターがお受け致します。

フリーダイヤル	0120-112010
直通電話	03-3423-4211
FAXインフォメーション	03-3760-1900

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

受付時間 9:00～17:00(12:00～13:00昼休み)

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

販売店のご案内、カタログのご注文、車の手続き、税金、保険、車種別主要諸元、装備、価格についてはホンダ24時間FAXインフォメーションをご用意しておりますのでご利用ください。

こんなことでお困りのとき

●キーが回せない

“0”から“1”に回らないとき

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →76ページ

“1”から“0”に回らないとき **オートマチック車**

- ・セレクトレバーがⅡに入っていますか。

キーを抜くとき →76ページ

●エンジンがかからない

- ・オートマチック車は、セレクトレバーがⅡかⅢに入っていますか。
- ・ガソリンが入っていますか。(メーター内の燃料計で確認してください。)
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →190ページ

●セレクトレバーがⅡから動かさない **オートマチック車**

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
(操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。)

セレクトレバーが動かないとき →99ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →21ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →77ページ

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →78ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・ホンダ販売店またはJAFへご連絡ください。

●水温計の針が“H”の目盛に入った

●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください)

オーバーヒートしたとき →188ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がある

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(ホンダブリモ店で点検を行ってください。)

